

アーキトレンドをはじめてお使いになる方へ

＼後で困らないための初めの1歩／



ARCHITREND ZERO 設定ガイド

～設定の根拠～ 自社仕様に合わせる極意！

本書をご覧いただくにあたって

【本書の解説内容について】

本書では、物件データを入力していく上で、建物仕様、図面仕様など押さえておくよい初期設定のポイントをご紹介します。これらのポイントを押さえて、物件マスタ、専用初期設定マスタを自社仕様用に構築することで、設定変更の手間を省くことができます。

●本書で解説する図面

平面図、立面図、平面詳細図、矩計図、図面印刷（図枠）

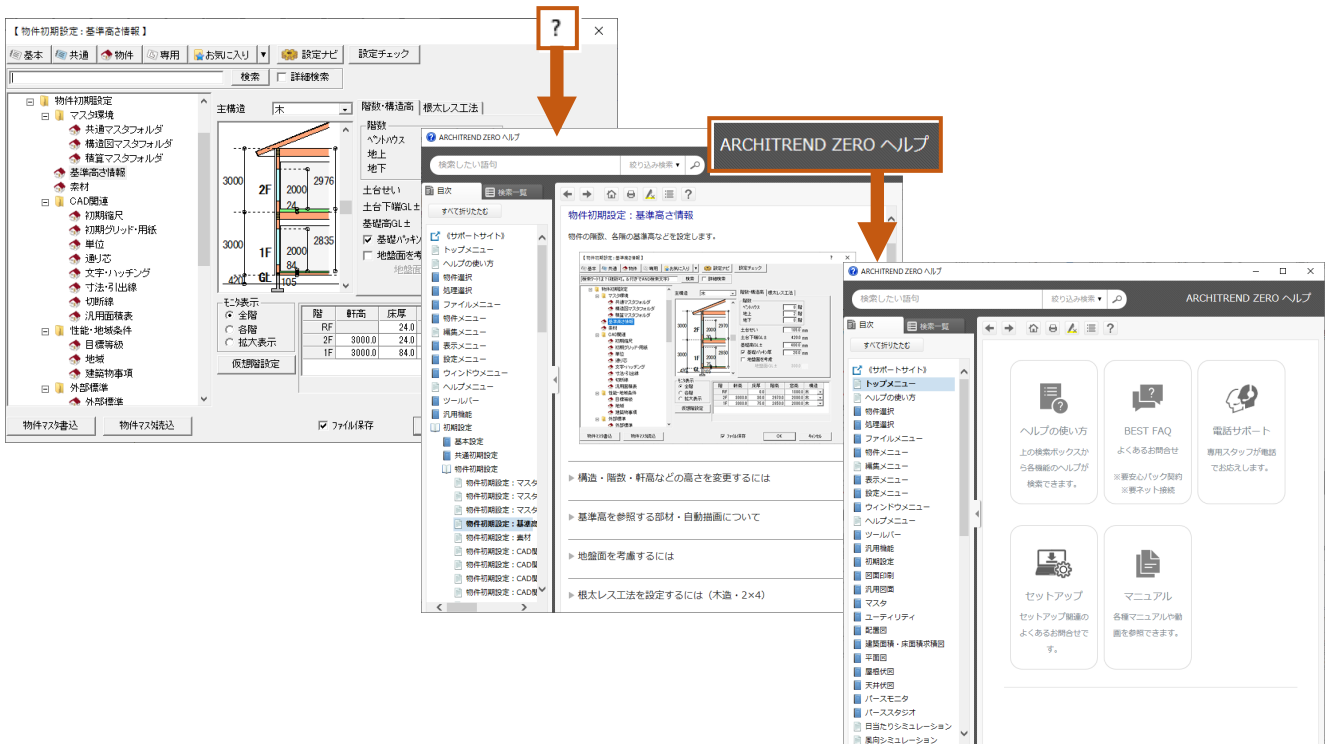
※ 平面図などのデータの入力方法や他図面の設定については、お客様サポートページの各操作ガイドをご覧ください。関連するマニュアルは本書内でもリンク先を掲載していますのでご参照ください。

<https://archi.fukuicompu.co.jp/user/products/architrendzero/manual.html>

※ 本書以外にも様々な設定がありますが、そちらについては ARCHITREND ZERO のヘルプをご参照ください。

●ヘルプの開き方

表示中のダイアログ右上の「？」をクリックする、またはコマンド実行中にキーボードの F1 キーを押すことで、関連ヘルプを確認することができます。また、「ARCHITREND ZERO のヘルプ」をクリックして、ヘルプのトップ画面を開くとその他の各種サポートコンテンツもご利用いただけます。



建物概要と解説一覧

本書では、物件データを入力していく上で、建物仕様、図面仕様など押さえておくよい初期設定のポイントをご紹介します。これらのポイントを押さえて、物件マスタ、専用初期設定マスタを自社仕様用に構築していくことで、設定変更の手間を省くことができます。

建物のサンプルプランを使って 1 章では建物概要の設定、2 章は内外装の仕上登録、3 章はメーカー建材・設備（3D カタログマスタ）の使用登録について解説します。該当する解説ページをご参照ください。



1-2 建物構造 P.6

構造：木造
階数：2 階建
モジュール：910mm



1-3 施主情報 P.7

氏名：福井花子
建設場所：福井県坂井市丸岡町磯部

●引き出し項目

章 No 項目名と掲載ページ
各項目の詳細

1-4 建物性能 P.7

長期優良住宅仕様



1-7 物件マスタの登録 P.10

プランの設定を初期値に登録

1-5 軒高 P.8

2 階：3000mm
1 階：3000mm

1-5 窓高 P.8

窓高：FL+2000mm

1-5 床厚 P.8

2 階：24mm
1 階：84mm

1-5 基礎 P.8

基礎高：GL+400mm
基礎パッキン厚：20mm

1-6 柱サイズ P.9

管柱：105mm
通し柱：120mm
隅柱：120mm

1-5 土台 P.8

土台せい：105mm

1-5 根太 P.8

根太せい：60mm

1-6 束 P.9

束タイプ：鋼製束



2-1~2-4

外装仕上の登録 P.16~P.21

2-1、2-5

内装仕上の登録 P.16、P.24~P.26

3-1、3-2

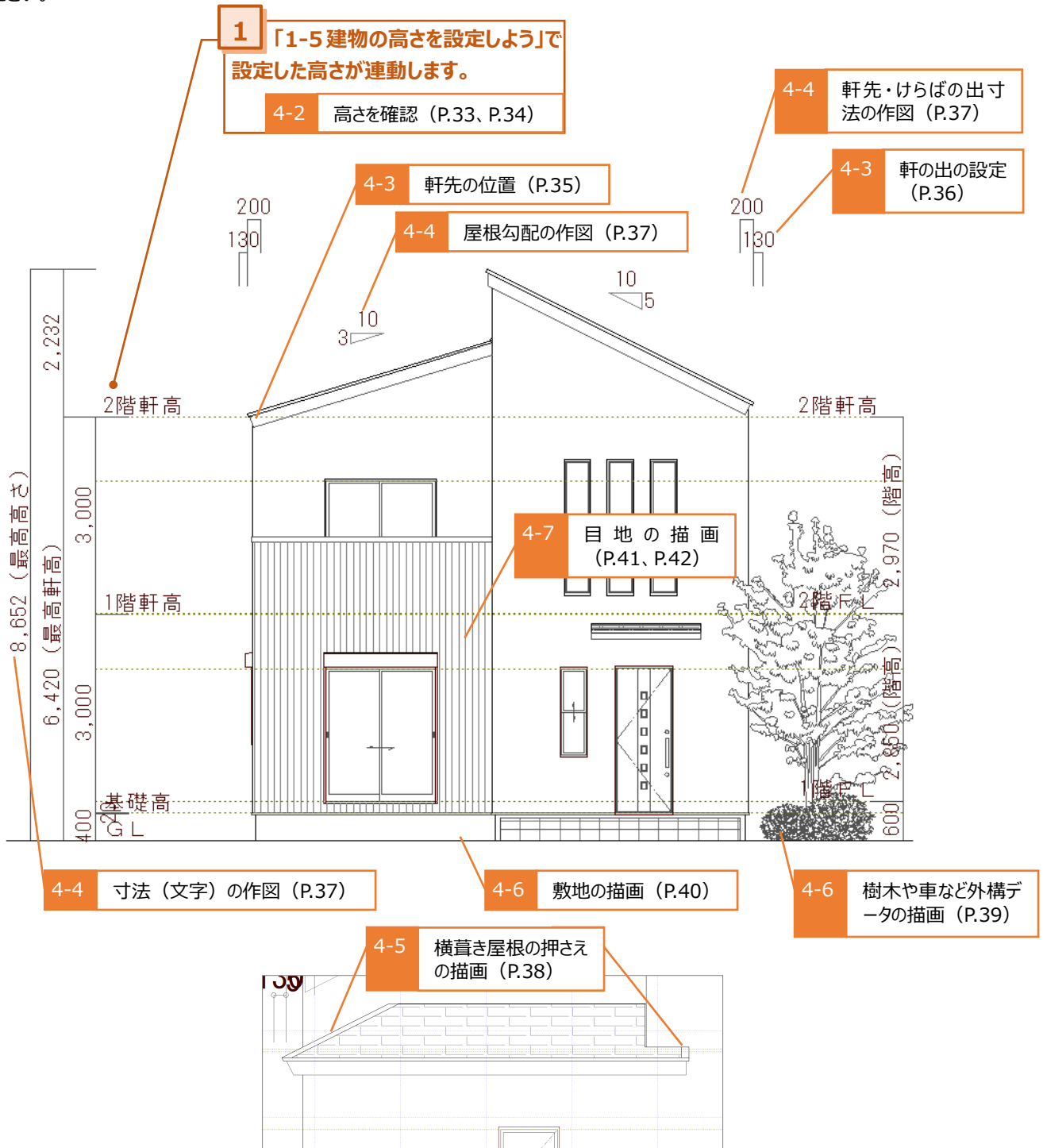
メーカー建材・設備 P.28~P.30

※ 本書では平面図などのデータの入力方法は解説していません。操作解説についてはお客様サポートページの各操作ガイドをご覧ください。

※ 本書以外の設定については ARCHITREND ZERO のヘルプをご参照ください。

立面図 サンプル

立面図のサンプルを使って「自動作成」で作図されるデータの設定や連動元などについて解説します。該当する解説ページをご参照ください。

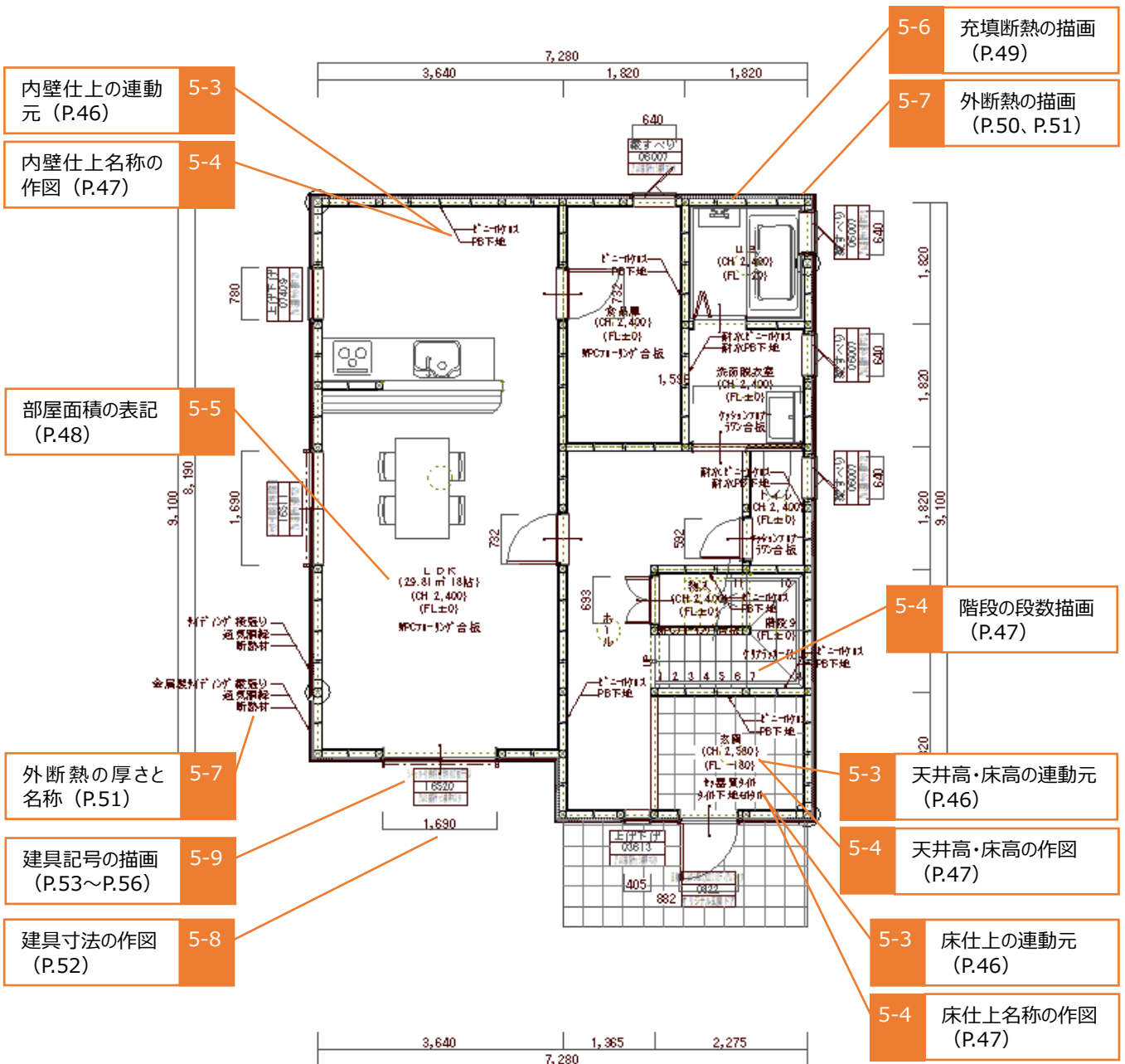


立面図専用初期設定・物件初期設定を変更した場合

- 設定を変更した場合は、立面図を再作成する必要があります。
- 設定を変更してその内容を自社用マスタとして登録する場合は、「自社用マスタの登録方法を確認しましょう」をご参照ください。
⇒ P.43、P.44 参照

平面詳細図 サンプル

平面詳細図のサンプルを使って「自動作成」で作図されるデータの設定や連動元などについて解説します。該当の解説ページをご参照ください。

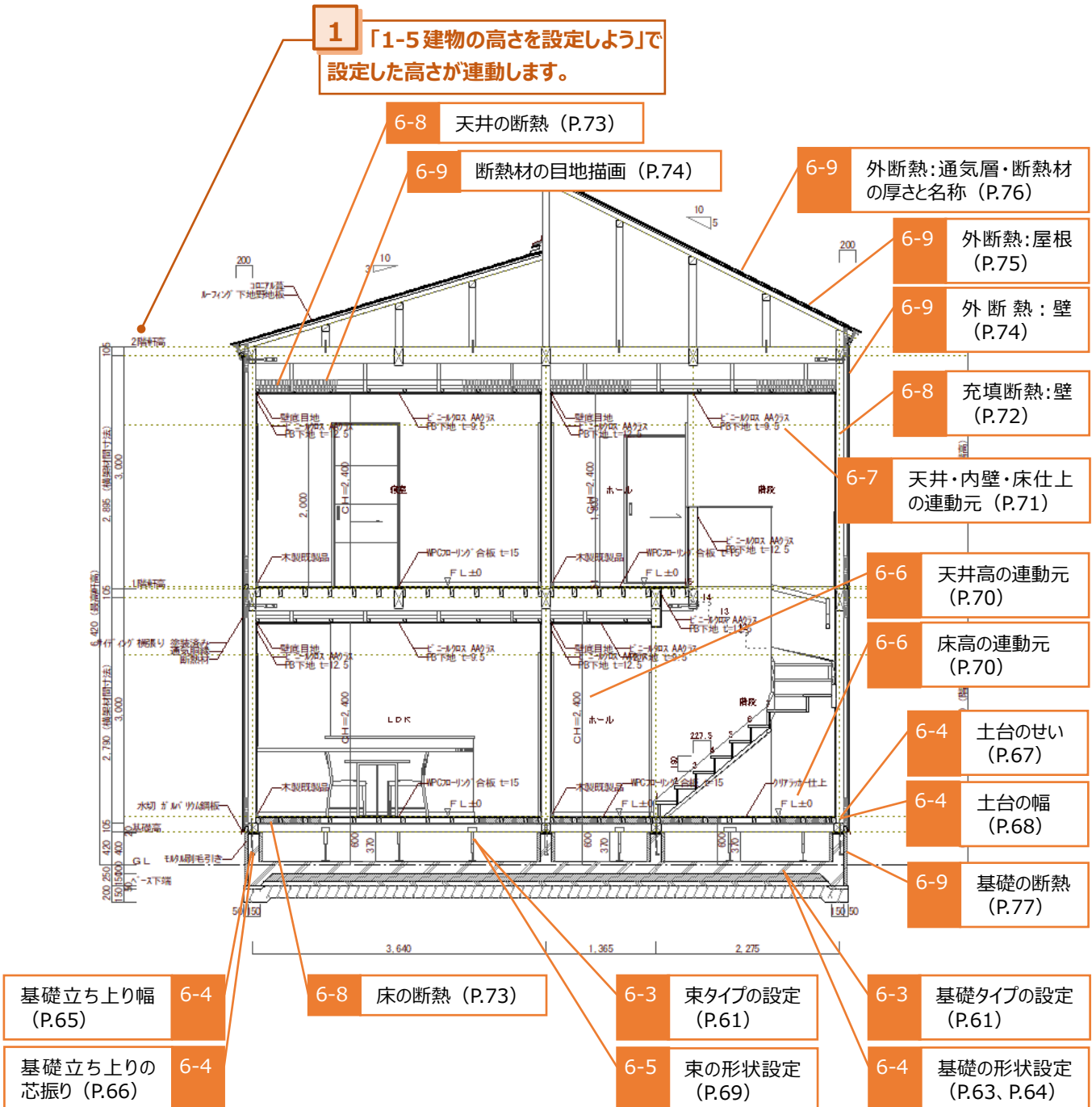


平面詳細図専用初期設定・物件初期設定を変更した場合

- 設定を変更した場合は、平面詳細図を再作成する必要があります。
- 設定を変更してその内容を自社用マスタとして登録する場合は、「自社用マスタの登録方法を確認しましょう」をご参照ください。
⇒ P.43、P.44 参照

矩計図 サンプル

矩計図のサンプルを使って「自動作成」で作図されるデータの設定や連動元などについて解説します。該当の解説ページをご参照ください。



矩計図専用初期設定・物件初期設定を変更した場合

- 設定を変更した場合は、矩計図を再作成する必要があります。
- 設定を変更してその内容を自社用マスタとして登録する場合は、「自社用マスタの登録方法を確認しましょう」をご参照ください。
⇒ P.43, P.44 参照

図枠 サンプル

図面印刷時の図枠の編集と登録、各図面項目の連動について解説します。

7-1 図枠作成モードに切り替える (P.79)

7-2 図枠の用紙サイズを設定しよう (P.80)

7-4 自社用の図枠を保存しよう (P.87、P.88)

7-3 物件名の連動元を確認する (P.86)

7-3 担当者を設定する (P.81、P.82)

7-3 会社情報の項目を設定する (P.84)
会社情報を登録する (P.85)

7-3 日付を設定する (P.82~P.84)

7-3 図面名の連動を確認する (P.86)

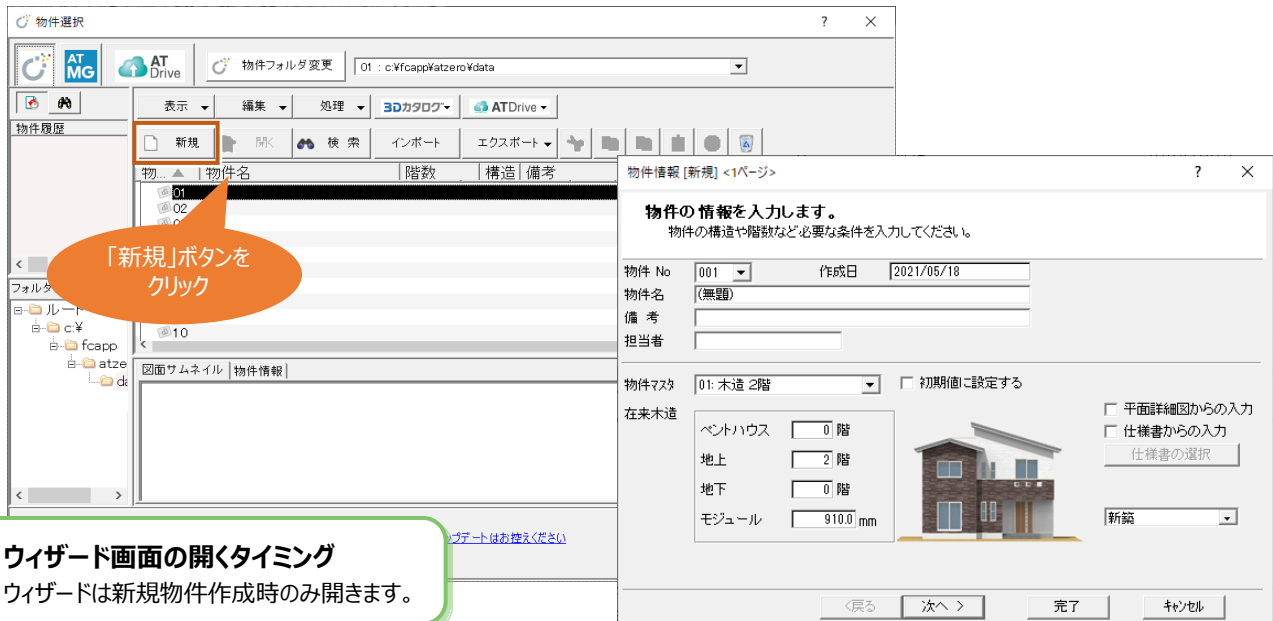
工事名 福井様邸新築工事	フクイホーム一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者 丸岡太郎	図面名 1階 平面図, 2階 平面図	図面No. 1
備考	福井県福井市〇〇1-1 TEL 0776-00-0000 FAX 0776-00-1111	日付	日付	日付 2021/06/18	縮尺 1/100	

1

建物概要の設定

1-1 ウィザードでプランを簡単に設定しよう

ウィザードは表示された画面に沿って進めていくだけで、簡単にプランの情報を設定できる機能です。ARCHITREND ZERO 起動後の物件選択画面にて「新規」をクリックするとウィザードが開きます。

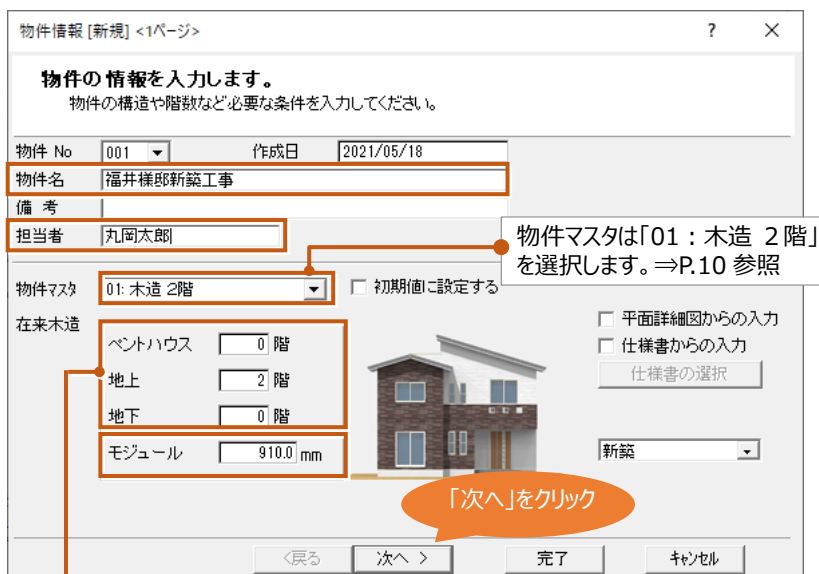


ウィザード画面の開くタイミング
ウィザードは新規物件作成時のみ開きます。

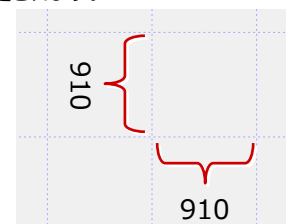
1-2 物件名、担当者、建物構造を設定しよう

物件名、担当者、物件マスタ、階数、モジュールを設定します。

ARCHITREND Managerの「お客様の登録」を入力済みの場合は、物件名、階数が連動するため、ここでの入力は不要です。

**モジュールの値について**

尺モジュール（910mm）やメーターモジュール（1000mm）など、柱や通り芯の基本となる寸法の間隔を設定します。設定したモジュールによって、図面を入力する際のグリッド（方眼のマス目）の間隔が設定されます。



(例) モジュール：910mm

地下 10 階、地上 100 階、ベントハウス 10 階までの建物を設計できます。

1-3 施主情報と建築物事項を設定しよう

住所や氏名など施主に関する情報と建設地の設定をします。

建築物の場所や工事種別と施主の情報を入力します。

物件情報 [新規] <2ページ>

物件の情報を入力します。
施主情報及び、その他の建築物事項を入力してください。

地名地番	福井県坂井市丸岡磯部
工事場所 / 住居表示	福井県坂井市丸岡磯部
工事種別	新築
施主氏名	福井花子
氏名カナ	フイハナコ
住所	福井県坂井市高木
電話番号	0776-12-8456

地域区分設定

建設可能建築率 60.00
建設可能容積率 100.00
建て方 一戸建ての住宅
積雪の地域 一般地域
積雪量 1.00 m
屋根重さ 重い屋根
地震地域係数 1.0
地域基準風速 30 m/s

防火地域 指定なし
敷地面積 0.00 m²
用途地域 第1種低層住居専用地域

目標等級確認 <現在選択中の等級> 性能表示

敷地面積は配置図入力後に、自動で取得できるため、こちらで入力する必要はありません。

工事場所から地域区分を設定する ? ×

以下の地域区分を割り当てますか？
省エネ地域 : 6地域
年間日射地域 : A3区分
暖房期日射地域 : H2区分
パッシブ地域 : い(旧)地域

※異なる地域区分が割り当てられる場合があります。
各地域区分は各県庁や国立研究開発法人建築研究所の資料を確認してください。

はい いいえ

設定した「工事場所/住居表示」から地域区分を自動取得できます。

工事場所 / 住居表示 地域区分設定 ? ×

工事場所 / 住居表示 福井県坂井市丸岡磯部

工事場所 / 住居表示から地域区分を設定する

地域区分
省エネ地域 6地域
年間日射地域 A3区分
暖房期日射地域 H2区分
パッシブ地域 い(旧)地域

物件情報 - [工事場所 / 住居表示]
物件初期設定 - [性能・地域条件(地域)] が変更されます。

OK キャンセル

建築物事項が影響する図面について
設定する条件により、他図面への連動や各種計算結果や判定に影響します。
⇒ヘルプ「物件初期設定：性能・地域条件－建築物事項」の「建築物事項を変更するには」参照

地域区分が影響する図面について
外皮性能計算、省エネナビ、パッシブデザインで使用する係数や基準値に影響します。

1-4 目標等級を設定しよう

「目標等級確認」をクリックして等級の設定を行います。

「性能表示」は物件マスタに登録されている目標等級が設定されます。「フラット35S」と「長期優良住宅」は、クリックで必要な等級に設定されます。「お気に入り」は自社用の等級パターンに登録して設定することができます。

目標等級設定 ? ×

<現在選択中の等級> 長期優良

性能表示 フラット35S 長期優良 お気に入り
(物件マスタ等級)

【1. 構造の安定】
耐震等級 2等級
耐風等級 1等級
耐降雪等級 1等級

【2. 火災時の安全】
感知警報装置設置等級 1等級
耐火等級(開口部) 1等級
耐火等級(開口部以外) 1等級

【3. 劣化の軽減】
構造躯体劣化対策等級 3等級

【4. 維持管理への配慮】
維持管理対策等級 3等級

【5. 温熱環境・エネルギー消費量】
断熱性能等級 3等級

【6. 空気】
換気等級 1等級

【8. 音環境】
透音損失等級
北 1等級 東 1等級
南 1等級 西 1等級

【9. 高齢者等への配慮】
高齢者等配慮対策等級 3等級
階段の勾配 22/21

性能ナビマスタ
1本連一戸建て住宅(2階建て)

【長期優良必要面積・高さ】
合計床面積 75.00 m² 以上
一階の床面積 40.00 m² 以上
床下空間有効高 330.00 mm 以上

OK キャンセル

「次へ」をクリック

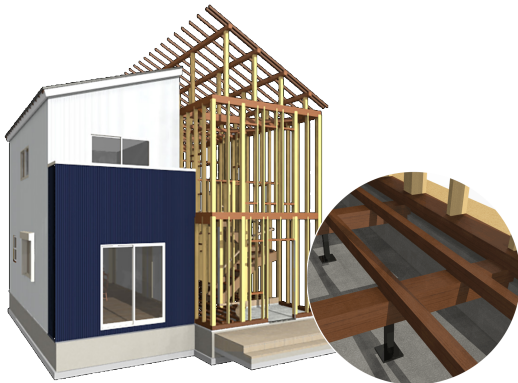
「長期優良」を選択

目標等級が未定の場合
目標等級が未定の場合は、設定せず進めても問題ありません。
後から、設定を変更することができます。⇒P.11～P.13 参照

目標等級が影響する図面について
設定する条件により、他図面への連動や各種計算結果や判定に影響します。
⇒ヘルプ「物件初期設定：性能・地域条件－目標等級」の「目標等級を変更するには」参照

1-5 建物の高さを設定しよう

軒高、窓高、2階以上の床厚、1階の床厚、基礎の高さを設定します。



【軒高】
2階：3000mm
1階：3000mm

【窓の取付高】
窓高：FL+2000mm

【土台】
土台せい：105mm

【基礎】
基礎高：GL+400mm
基礎パッキン厚：20mm

【床厚】
2階：24mm
1階：84mm（根太せい60mm含む）

物件情報 [新規] <3ページ> ? X

物件の情報を入力します。
図面入力の基本情報を入力してください。

階数 1階建 2階建 3階建

軒高の高さについて
2階軒高は「下階胴差上端～軒桁上端」、
1階軒高は「土台下端～胴差上端」の高さを設定します。

窓高の高さについて
窓高は窓を取り付ける基準位置の高さです。
「FL～窓上端」の高さを設定します。窓高を「2000mm」と設定した場合、FL+2000mmが建具の上端となります。

基礎高さについて
「GL～布基礎上端」の高さを設定します。
基礎パッキンを設定すると、断面図と矩計図において、土台と立ち上がりの間にパッキンが描画されます。

床厚の厚さについて
2階の床厚は「下階胴差上端～床仕上天端」、
1階の床厚は「土台上端～床仕上天端」の厚さを設定します。

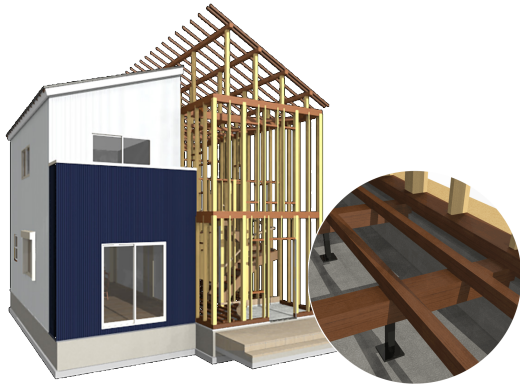
「次へ」をクリック

物件マスター書込 <戻る> 次へ <完了> キャンセル

高さ情報の設定について
建物高さの設定については、ヘルプに図解が掲載されています。
⇒ヘルプ「物件初期設定：基準高さ情報」の「構造・階数・軒高などの高さを変更するには」参照

1-6 柱のサイズ、基礎と束のタイプを決めよう

柱サイズ、基礎タイプ、束タイプを設定します。



【柱サイズ】
管柱：105mm 通し柱：120mm 隅柱：120mm

【基礎】
基礎タイプ：べた基礎

【束】
束タイプ：鋼製束

断面図および矩計図の基礎表現
 選択した基礎タイプは断面図および矩計図で描画されます
 ●断面図の場合（鋼製束）

【べた基礎・スラブオングレード】

【布基礎】

物件情報 [新規] <4ページ>

物件の情報を入力します。
 図面入力の基本情報を入力してください。

【基本モジュール】 910.0 mm

【柱サイズ】
 管柱 105.0 mm 通し柱 120.0 mm 隅柱 120.0 mm

【基礎タイプ】
 べた基礎・スラブオングレード (選択済み) 布基礎

【束タイプ】
 木製束 プラ束 鋼製束 (選択済み)

物件マスタ書込 <戻る 次へ> 完了

ウィザード 1 ページ目 (P.6) で設定した「モジュール」の値が連動します。

在来木造の壁は管柱の柱サイズと同じ厚さで配置されます。

断面図および矩計図の束表現
 選択した束タイプは断面図および矩計図で描画されます。
 ●断面図の場合（べた基礎）

【木製束】

【プラ束】

【鋼製束】

1-7 プランの設定を初期値に登録しよう

よく使用するプランの設定は「物件マスタ」に登録することで、次回以降新規物件を作成する際の初期値として利用できます。

物件マスタの新規保存について


物件マスタ書込で空欄を選択した場合、新規マスタとして保存できます。

登録した物件マスタを使用するには

新規物件作成時のウィザード画面、「物件情報 [新規]」ダイアログで物件マスタを選択します。

補足

設定の確認や変更したい場合

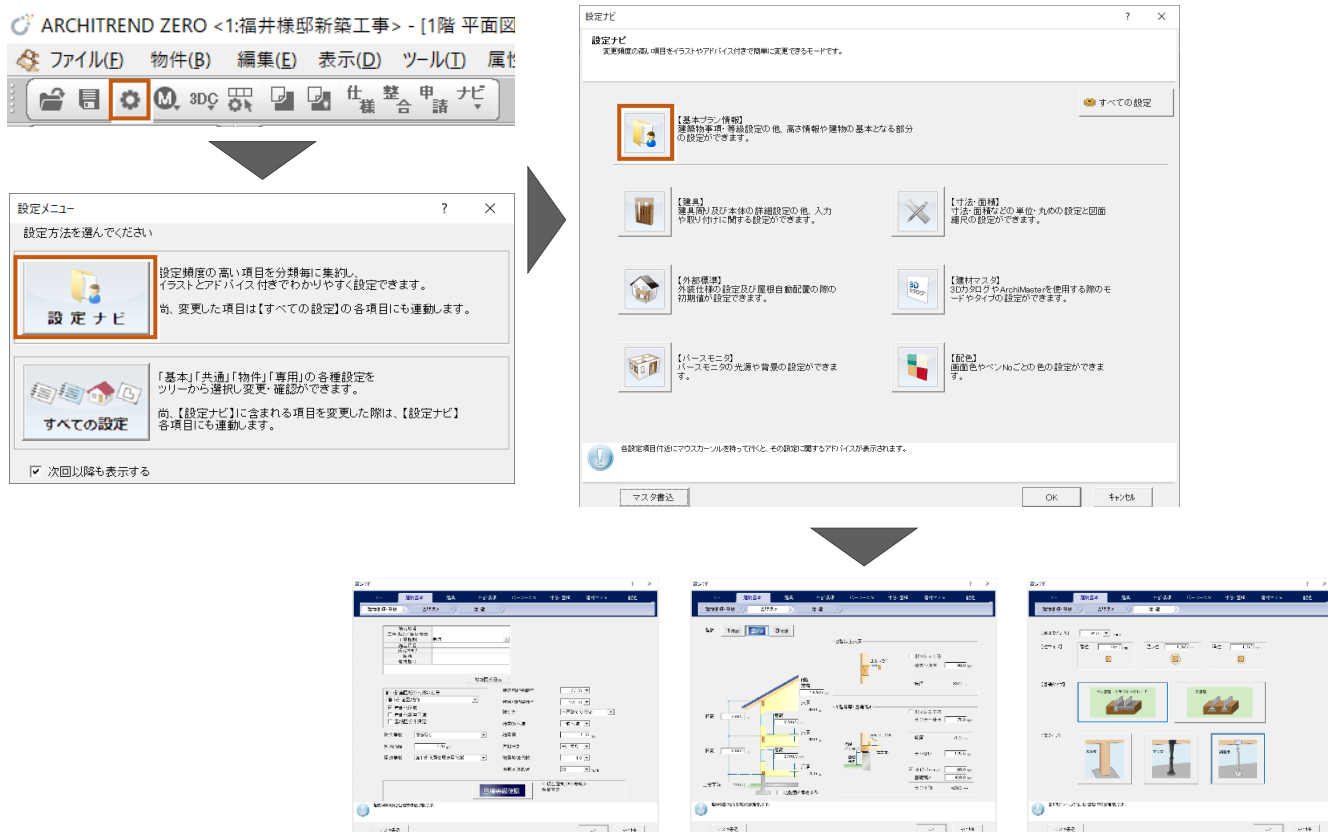
ウィザードの設定内容は、変更することができます。また、ウィザードの項目以外の設定もあり、これらを正しく設定しておくことにより、効率よく操作でき、図面作成時の作業の手間を軽減できます。設定方法は「設定ナビ」と「すべての設定」の2種類あります。どちらも ARCHITREND ZERO 起動後の  「設定」ボタンから開きます。

(一部の設定は「物件」メニューの「物件情報」から変更します。)

設定ナビを使用する方法

設定ナビは使用頻度が高い設定がまとめてあり、イラストとアドバイスを確認して設定できます。

「設定」の「設定ナビ」をクリックします。「基本プラン情報」を選択すると、ウィザードと同じ内容を確認、編集することができます。

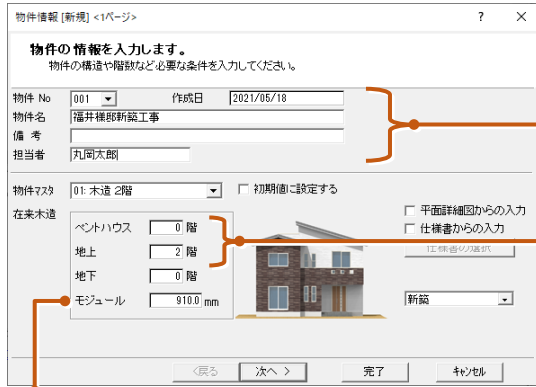


すべての設定を使用する方法

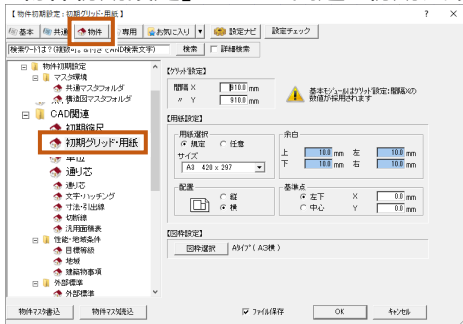
ウィザードの内容を含め CAD およびプランに関する設定が全て確認、編集できます。次ページはウィザードの設定内容の該当箇所になります。



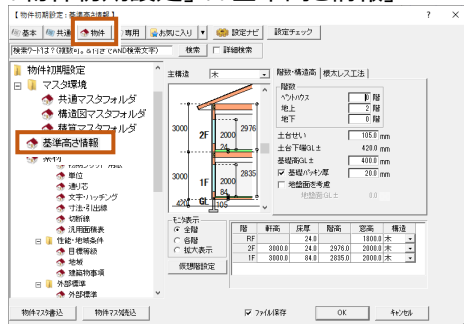
ウィザード：1 ページ目



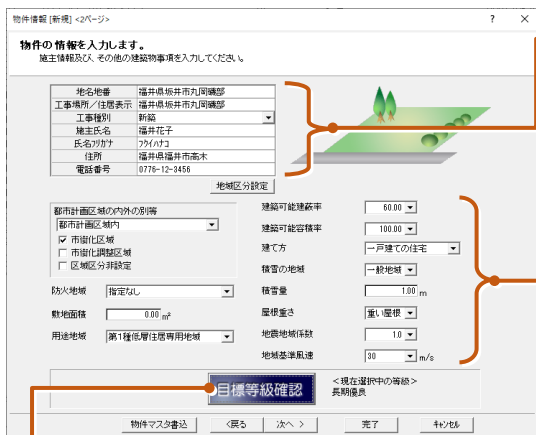
「物件初期設定」の「CAD 関連-初期グリッド・用紙」



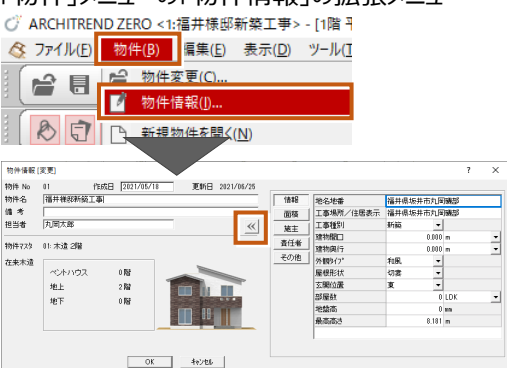
「物件初期設定」の「基準高さ情報」



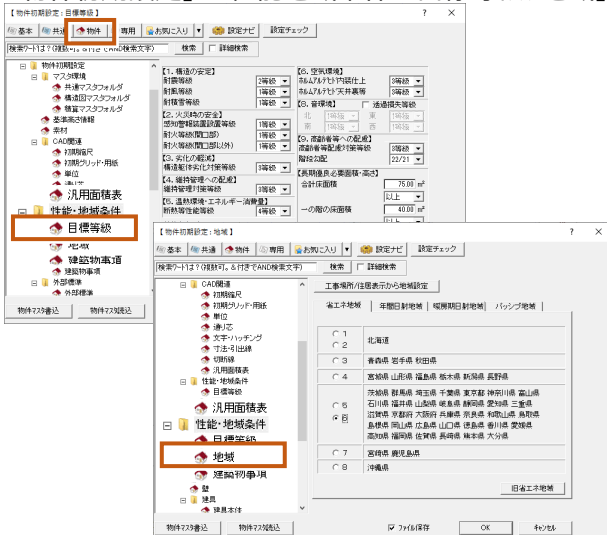
ウィザード：2 ページ目



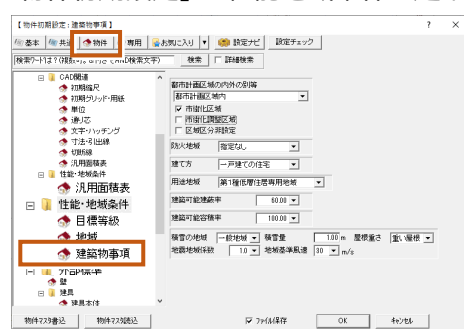
「物件」メニューの「物件情報」の拡張メニュー



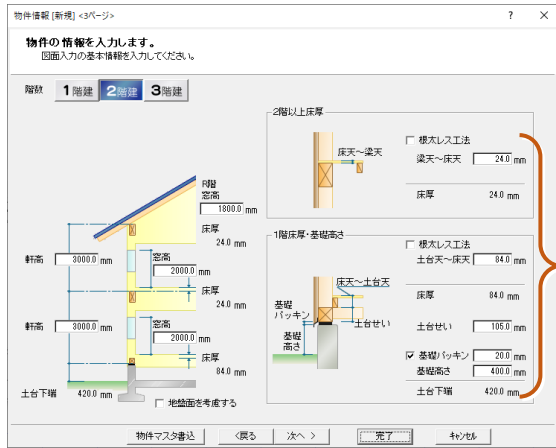
「物件初期設定」の「性能地域条件-目標等級、地域」



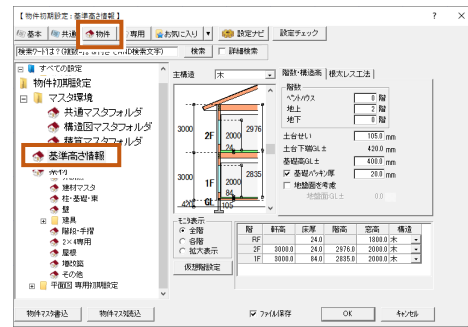
「物件初期設定」の「性能地域条件-建築物事項」



ウィザード : 3 ページ目



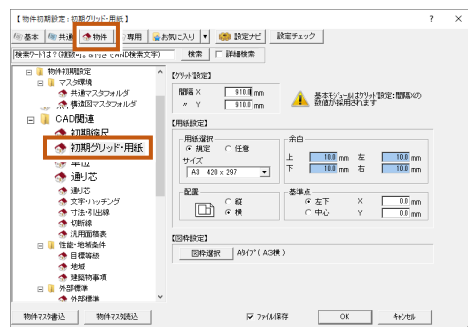
「物件初期設定」の「基準高さ情報」



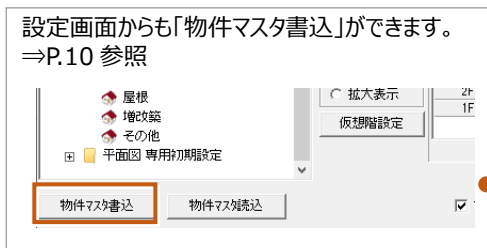
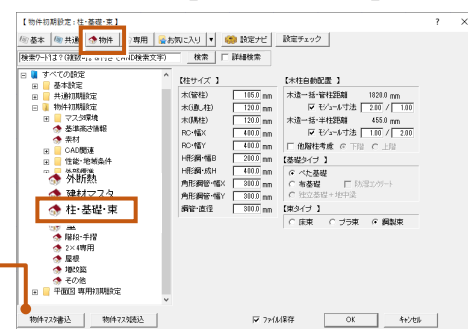
ウィザード : 4 ページ目



「物件初期設定」の「CAD 関連-初期グリッド・用紙」



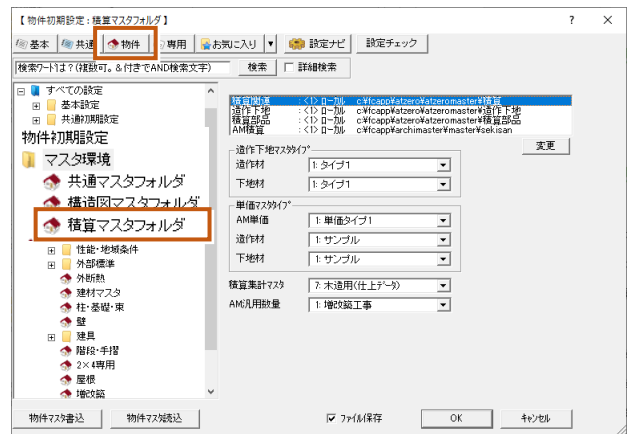
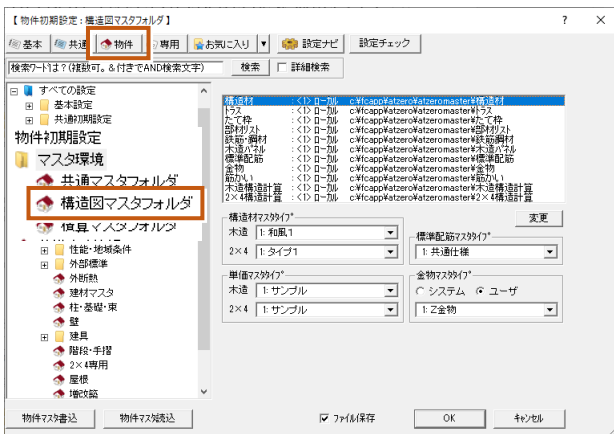
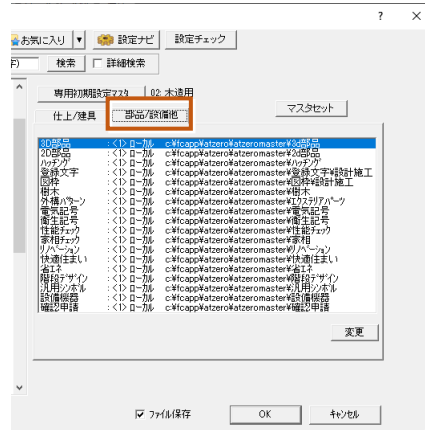
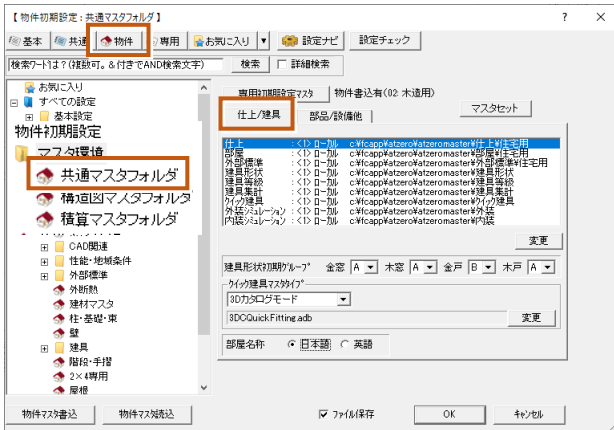
「物件初期設定」の「柱・基礎・束」



ZERO の仕組みについても併せてチェック！
 木造初級編 1-2 ZERO の特徴 P.2~P.6
<https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/uss/m-syokyu.html>

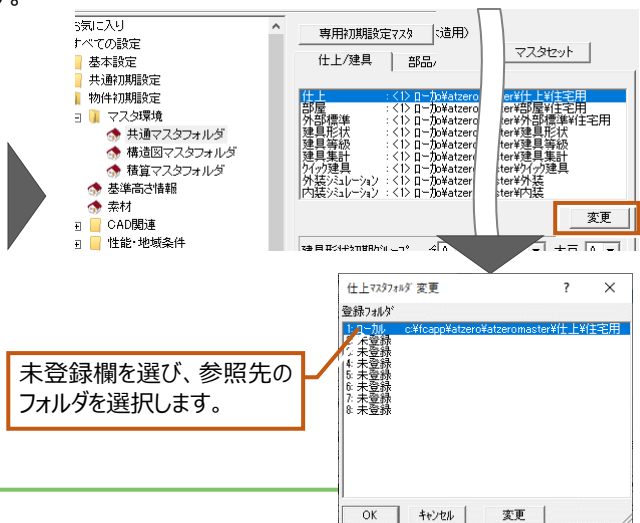
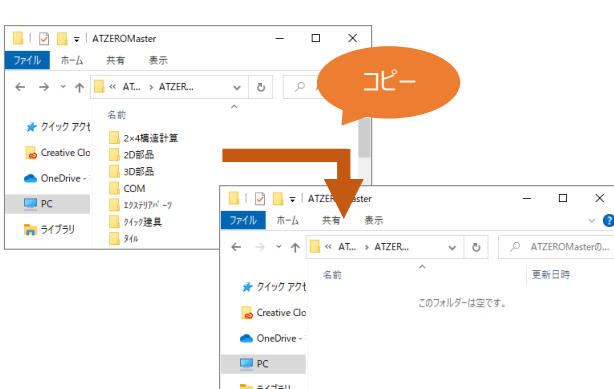
設定の保存先（マスタフォルダ）について

設定が保存されているフォルダを「マスタフォルダ」といいます。初期状態ではインストール時に設定したフォルダが保存先となります。マスタフォルダは「物件初期設定」の「マスタ環境-共通マスタフォルダ、構造図マスタフォルダ、積算マスタフォルダ」で確認・変更できます。



設定の保存先（マスタフォルダ）を変更する場合

マスタフォルダを変更する場合は、あらかじめエクスプローラー等で規定のフォルダから新しい参照先のフォルダにマスタファイルをコピーしておきます。この時、他のパソコンと設定を共有して ZERO を使用する場合、ネットワークでつながっている社内のファイルサーバーのフォルダにコピーしてください。その後、ZERO を起動し「物件初期設定」の「マスタ環境-共通マスタフォルダ、構造図マスタフォルダ、積算マスタフォルダ」の「変更」から参照先を選択します。



マスタのバックアップについて

マスタフォルダをエクスプローラーで編集する場合は、予期せぬファイル破損に備え、操作前のバックアップを推奨いたします。

⇒https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/log/uss/a_01ze/ze_01i_02_010.html P.12~P.13 参照

根太レス工法の場合の設定について

根太レス工法の場合は、ウィザードの高さ入力画面で「根太レス工法」をONにし、「床仕上+下地」、「構造用合板」の厚さを設定します。ウィザードで設定した根太レスの設定は、「物件初期設定」の「基準高さ情報」にある「根太レス工法」で確認変更できます。合わせて、「床仕上マスタ」にて設定した床厚になるように、仕上の厚さを設定します。

● ウィザード画面 ●

物件の情報を入力します。
図面入力の基本情報を入力してください。

階数 1階建 2階建 3階建

「根太レス工法」ON

「床仕上+下地」の厚さと「構造用合板」の厚さを設定します。これらの合計の厚さが「床厚」となります。

物件初期設定

主構造 木

階数・構造高 根太レス工法

根太レス工法

2階以上・地下階 構造用合板 28.0 mm

1階 構造用合板 28.0 mm

階	軒高	床厚	階高	窓高	構造
RF		40.0		1800.0	木
2F	3030.0	40.0	2990.0	1800.0	木
1F	3145.0	40.0	3045.0	1800.0	木

● 床仕上マスタ ●

ウィザードで設定した、「床仕上+下地」の厚さを、「床仕上マスタ」で設定します。

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 無垢材 摘要 t=12

下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要

根太

材質 木製 せい 60.0 mm ピッチ 303.3 mm

幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引

材質 木製 せい 105.0 mm ピッチ 910.0 mm

幅 105.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

OK キャンセル 上書 空気環境 積算名称取込 積算情報

床仕上マスタの「根太」について

床仕上マスタの「根太」のON・OFFに関わらず、「物件初期設定：基準高さ情報」で「根太レス工法」がONの場合、根太は配置されません。「根太レス工法」がOFFの場合にのみ、床仕上マスタの「根太」の設定で根太が配置されます。

仕上げマスタについて

仕上げマスタについては別ページで解説しています。
⇒P.16~P.27 参照

2

自社用の内外装仕上を登録しよう

思い通りの内装仕上、外装仕上にするためには「仕上マスタ」の作成が必要です。マスタの登録方法を覚えて、自社用のマスタを作成しましょう。

2-1 仕上マスタとは

外部標準マスタ

外装仕上には「屋根仕上」、「外部天井仕上」、「外壁仕上」の3つの仕上マスタがあります。それぞれで使用する仕上材や厚さなどを設定します。そして3つを組み合わせ「外部標準仕様」マスタを作成します。



●外部標準マスタ

【屋根仕上マスタ】

仕上名称：ガルバリウム鋼板
素材：ガルバリウム鋼板横葺 灰

【外部天井仕上マスタ】

仕上名称：軒天井ボード
素材：ケイカル板 ホワイト

【外壁仕上マスタ】

仕上名称：サイディング
素材：こて塗り柄 ホワイト

部屋マスタ

内装仕上には「内壁仕上」、「床仕上」、「内部天井仕上」の3つの仕上マスタがあります。それぞれで使用する仕上材や厚さなどを設定します。そして3つを組み合わせ「部屋マスタ」を作成します。



●部屋マスタ

【内部天井仕上マスタ】

仕上名称：クロス 木製
素材：キャンバス ベージュ

【内壁仕上マスタ】

仕上名称：ビニールクロス A
素材：キャンバス ベージュ

【床仕上マスタ】

仕上名称：無垢フローリング
素材：無垢フローリング カリン

仕上マスタの開き方

「仕上マスタ」は内外装の仕上の素材や厚さなどを登録するところです。あらかじめ自社でよく使用する仕上をマスタに登録しておくことで、ARCHITREND ZERO の自動作成機能によって、自動で登録した仕上マスタが割り当たり、効率的に作業が行えます。

「建材マスタ」メニューの「共通マスタ起動」をクリック

「内外装・部屋」を選択

【外部標準仕様】
屋根、外部天井、外壁の仕上を登録し、3 つを組み合わせて外部標準マスタを作成します。

【部屋】
内部天井、内壁、床の仕上を登録し、3 つを組み合わせて部屋マスタを作成します。

仕上マスタを編集する前に

ここでは、既存の仕上マスタを編集しています。仕上マスタを上書き保存した場合は、元に戻すことはできないためご注意ください。既存の仕上マスタを残しておく場合は、仕上マスタを複写して編集してください。

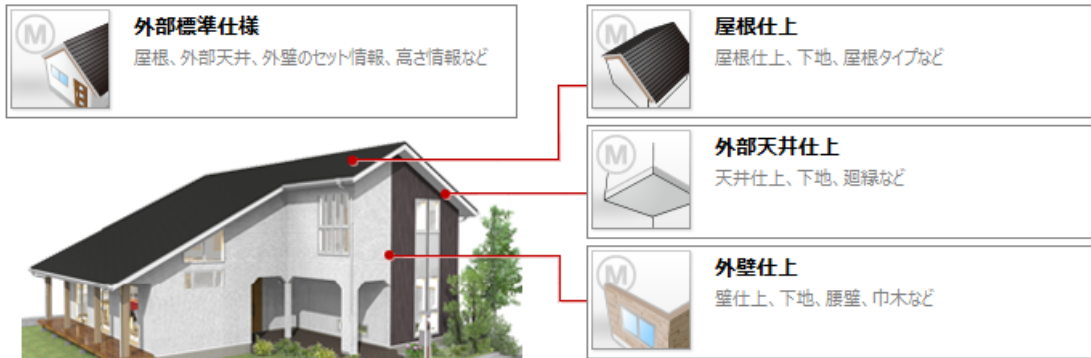
- ① 複写する仕上マスタを選択します。
- ② 「複写」の「複写」をクリックします。
- ③ 空欄を選択し、「選択」をクリックします。

No.	チェック	名称	壁	天井	床	見切	水切	タイプ	壁仕上 名称・摘要	厚み	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	サイディング						一般	サイディング こて塗り物	16.0	透気膜付
2	<input type="checkbox"/>	サイディング縦張り						一般	サイディング縦張り 塗膜済み	16.0	透気膜付
3	<input type="checkbox"/>	金属製サイディング縦張り						一般	金属製サイディング縦張り ガルバリウム鋼板	15.0	透気膜付

No.	チェック	名称	壁	天井	床	見切	水切	タイプ	壁仕上 名称・摘要	厚み	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製サイディング縦張り						一般	金属製サイディング縦張り ガルバリウム鋼板	15.0	透気膜付
5	<input type="checkbox"/>										
6	<input type="checkbox"/>	タイル張り						モルタル	タイル張り ラスモルタル下地	25.0	透気膜付

2-2 外装仕上を登録しよう

下記のマニュアルを参考に次のサンプルの仕上仕様または自社の仕上仕様を登録してみましょう。



仕上マスタの登録方法はこちらでチェック！

- 👍 自社マスタ作成編 2.外部標準マスタを自社用に編集する P.11~P.15
- 👍 自社マスタ作成編 5.マスタ設定 P.36~P.47

http://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/manual/81_master.html

外壁仕上

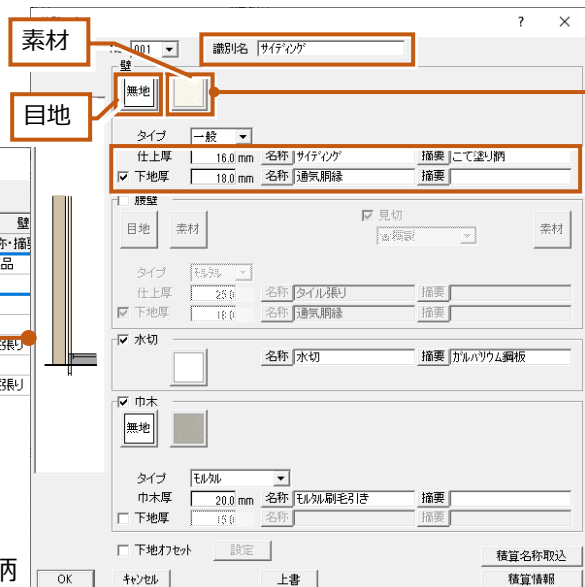
外壁仕上のマスタ No.1 の仕様を編集します。



外壁仕上マスタ選択 <c:\#fapp\#zero\#atzeromaster\#仕上\住宅用>

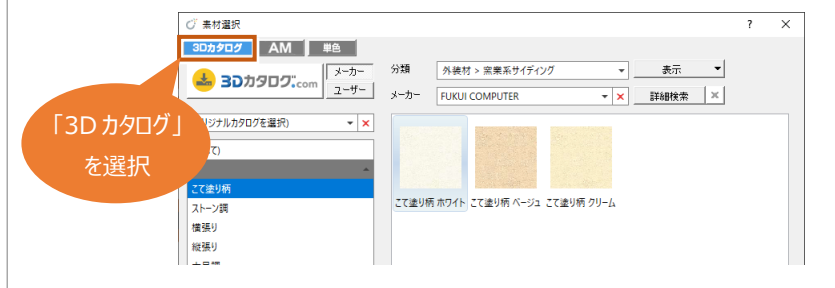
ページ 1: 木造タイプ 名称設定 個別編集 一覧編集

No.	フェック	識別名	壁	腰壁	巾木	見切	水切	タイプ	壁	名称・摘要
1		サイディング						一般		サイディング(塗装品) 塗装済み
2		サイディング縦張り						一般		サイディング縦張り 塗装済み
3		金属製サイディング縦張り						一般		金属製サイディング縦張り ガルバリウム鋼板
4		金属製サイディング縦張り						一般		金属製サイディング縦張り ガルバリウム鋼板



- [識別名] サイディング
- [目地] 無地
- [素材] こて塗り柄 ホワイト
- [仕上厚] 16.0mm 名称: サイディング 摘要: こて塗り柄
- [下地厚] 18.0mm 名称: 通気胴縁

「素材」ボタンをクリックすると素材選択画面が開きます。内外装材や屋根材などの素材を自由に設定できます。さらに [3Dカタログ.com](https://www.3dcatalog.com) からメーカーの実建材データをダウンロードして使用できます。⇒P.28~P.31 参照



屋根仕上

屋根仕上のマスタ No.3 の仕様を編集します。



屋根仕上マスタ選択 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1: 木造タイプ

No.	チェック	識別名	素材 屋根	屋根タイプ	仕上 名称・摘要	厚み
3	<input checked="" type="checkbox"/>	ガルバリウム鋼板		コニアル	ガルバリウム鋼板	20.0
4	<input checked="" type="checkbox"/>	ガルバリウム鋼板横葺		コニアル	ガルバリウム鋼板横葺	20.0
5	<input checked="" type="checkbox"/>	ガルバリウム鋼板五棒葺		五棒	ガルバリウム鋼板五棒葺	20.0

屋根マスタ

チェック No. 003 識別名 [ガルバリウム鋼板]

屋根

タイプ [コニアル]

仕上厚 20.0 mm 名称 [ガルバリウム鋼板] 摘要

下地厚 20.0 mm 名称 [アスファルトルーフィング] 摘要

OK キャンセル 上書 積算名称取込 積算情報

- [識別名] ガルバリウム鋼板
- [素材] ガルバリウム鋼板横葺 灰
- [仕上厚] 20.0mm 名称：ガルバリウム鋼板
- [下地厚] 20.0mm 名称：アスファルトルーフィング

外部天井仕上

外部天井仕上のマスタ No.1 の仕様を編集します。



外部天井仕上マスタ選択 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1: 木造タイプ

No.	チェック	識別名	素材 天井 廻縁	タイプ	仕上 名称・摘要	厚み
1	<input checked="" type="checkbox"/>	軒天井ボード		木天地下	EP塗装	20
2	<input checked="" type="checkbox"/>	軒天井ペーシング		木天地下	防水ペーシング	20
3	<input checked="" type="checkbox"/>					
4	<input checked="" type="checkbox"/>	サイディング		木天地下	サイディング横張り 塗装済み	20
5	<input checked="" type="checkbox"/>	リシン吹付		木天地下	アクリルリシン吹付	20

外部天井マスタ

チェック No. 001 識別名 [軒天井ボード]

天井

タイプ [木天地下]

仕上厚 8.0 mm 名称 [EP塗装] 摘要

下地厚 20.0 mm 名称 [防火軒天井ボード] 摘要 [有孔ボード]

板野縁ピッチ 150.0 吊材ピッチ 910.0 mm 野縁ピッチ 455.0 mm

モジュール寸法 1.00 / 6.00 モジュール寸法 1.00 / 1.00 モジュール寸法 1.00 / 2.00

廻縁

タイプ [未割重] 名称 [伏図表現用] 摘要

上段 せい 80.0 mm 幅 80.0 mm 出 25.0 mm

下段 せい 80.0 mm 幅 80.0 mm 出 25.0 mm

OK キャンセル 上書 空気環境 積算名称取込 積算情報

- [識別名] 軒天井ボード
- [素材] ケイカル板 ホワイト
- [下地厚] 20.0mm 名称：防火軒天井ボード 摘要：有孔ボード
- [廻縁] ON 名称：伏図表現用

外部標準仕様

外部標準仕様のマスタ No.14 の仕様を編集します。作成した、屋根仕上、外部天井仕上、外壁仕上、を割り当てます。



外部標準マスタでは仕上の他に、軒先、勾配、垂木、鼻隠、破風といった屋根の形状や構造に関わる設定ができます。

No.	チェック	識別名	外壁(1階)				外壁(1階以外)				アクセント			
			壁	腰壁	巾木	見切	水切	壁	腰壁	見切	水切	壁	軒	
14	<input checked="" type="checkbox"/>	木造ガルバリウム_サイディング												
15	<input type="checkbox"/>	横葺_サイディング横												
16	<input type="checkbox"/>	瓦葺葺_サイディング横												
17	<input type="checkbox"/>													
18	<input type="checkbox"/>	加工アルミ_サイディング横												

外部標準マスタ

識別名: 木造ガルバリウム_サイディング

仕上: 3. ガルバリウム鋼板

軒先形状: 直角 | 軒先厚: 180.0 mm

軒天形状: 勾配 | 勾配: 5.00/10

構造: 木 | 構造高: 0.0 mm

垂木せい: 60.0 mm

垂木幅: 45.0 mm | 垂木ピッチ: 455.0 mm

鼻隠/破風 種別: 木製 | 鼻隠: 1段 | 破風: 1段

軒天: 1. 軒天井ボード

外壁(1階以外): 1. サイディング

腰壁高: 0.0 mm | 見切高: 25 mm

外壁(1階): 1. サイディング

腰壁高: 30.0 mm | 見切高: 25 mm

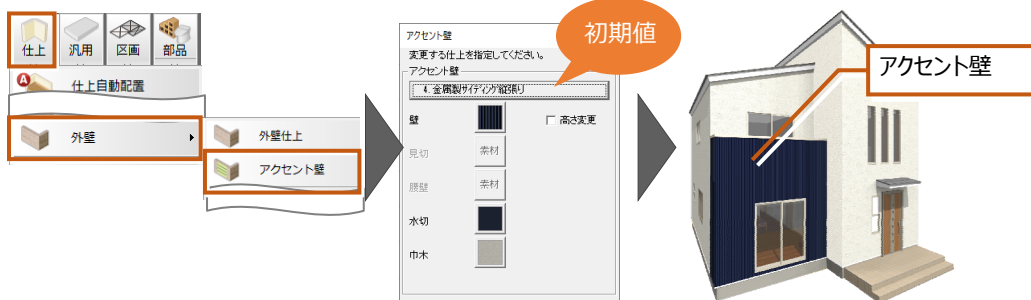
水切高: *** | 巾木高: 初期値設定基準高さを参照

アクセント壁: 4. 金属製サイディング縦張り

- [識別名] 木造ガルバリウム_サイディング
- [屋根] 軒先厚 : 180mm 勾配 : 5/10
- [屋根仕上] 3. ガルバリウム鋼板
- [軒天井仕上] 1. 軒天井ボード
- [外壁 (1 階以外) 、(1 階)] 1.サイディング
- [アクセント壁] 4.金属製サイディング縦張り

アクセント壁について

平面図の「仕上」メニューの「外壁-アクセント壁」で外壁仕上を部分的に貼り分けることができます（バルコニーの外壁は立面図で張り替えます）。外壁仕上マスタに、アクセント壁を設定しておくことで貼り分け時の初期値になります。



仕上の張り替え操作についてはヘルプをご覧ください。

⇒ヘルプ「平面図:外壁仕上/アクセント壁/仕上張り替え」の「アクセント壁を入力する」参照

⇒ヘルプ「立面図:アクセント壁」の「アクセント壁を入力する」参照

2-3 登録した外装仕上を活用しよう

外部標準仕様は「物件初期設定」の「外部標準」にて登録した仕様を設定します。ここで設定した仕様は、外壁、屋根、外部天井の自動作成および個別入力時の初期値として使用でき、効率的に作業が行えます。

「設定」をクリック

「すべての設定」をクリック

セットする外部標準仕様を選択

【物件初期設定: 外部標準】

基本 共通 物件 専用 お気に入り 設定ナビ 設定チェック

検索ワードは？(複数可。&付きでAND検索文字) 検索 詳細検索

14. 木造ガルバリウムサイディング

仕上

屋根	ガルバリウム鋼板	軒先形状	直角	軒天形状	勾配	構造高	0.0 mm
軒根構造	木	軒根勾配	5.00 / 10				
軒天	軒天井ホード						

外壁

1階以外	サイディング
1階	サイディング
アクセント壁	サイディング縦長

※巾木高は初期設定基準高さを参照

外壁素材

素材を設定する

仕様書

仕様書から入力する

外部標準仕様一覧

No.	仕様名	壁	屋根	巾木	見切	水切	壁	屋根	見切	水切	軒天	屋根	外壁仕上(層別)	※巾木
1	平瓦サイディング												1. サイディング	
2	和瓦サイディング												1. サイディング	
3	和瓦漆喰												3. 漆喰(漆喰縦断)	
4	和瓦漆喰+杉板												3. 漆喰(漆喰縦断)	
5	洋瓦サイディング												1. サイディング	
6	洋瓦漆喰												3. 漆喰(漆喰縦断)	
7	洋瓦漆喰+杉板												3. 漆喰(漆喰縦断)	
8	洋瓦漆喰+杉板												3. 漆喰(漆喰縦断)	
9														
10	立平瓦サイディング												1. サイディング	
11	立平瓦サイディング												2. サイディング縦断	
12	立平瓦ガルバリウム鋼板												4. 金網製サイディング縦断	
13														

完了 挿入▼ 削除 上書 処理▼

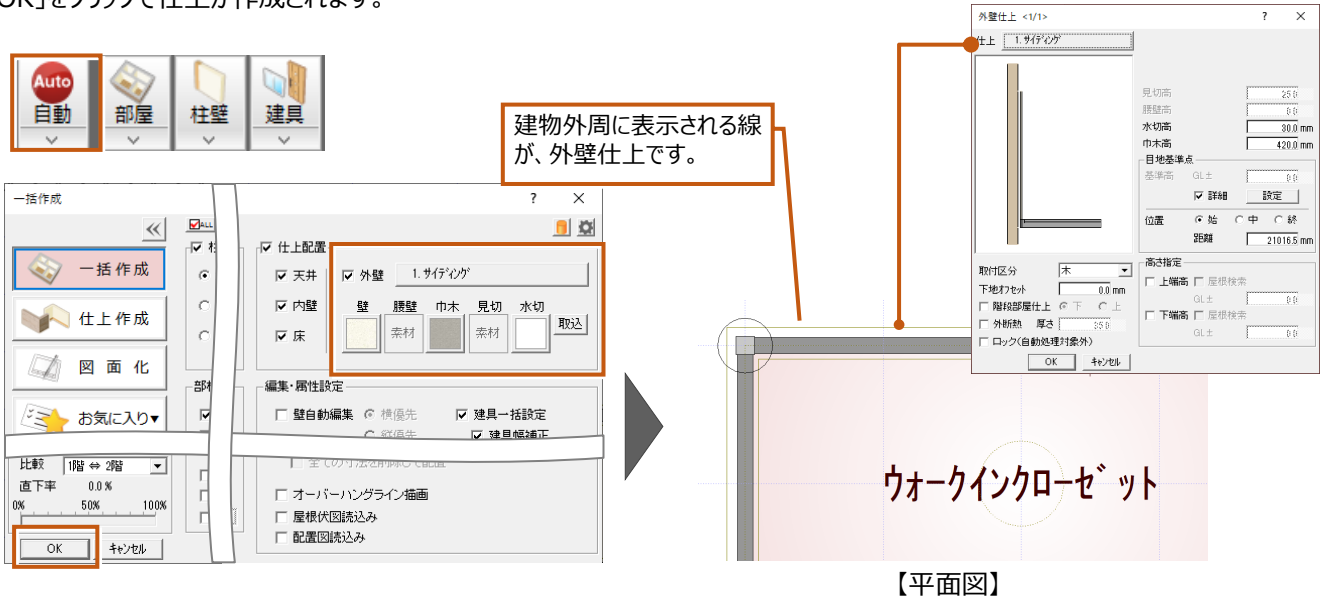
補足

外部標準マスタで設定した仕上の自動作成について

各仕上を自動作成した際に、外部標準仕様が初期値として設定されます。

外壁仕上

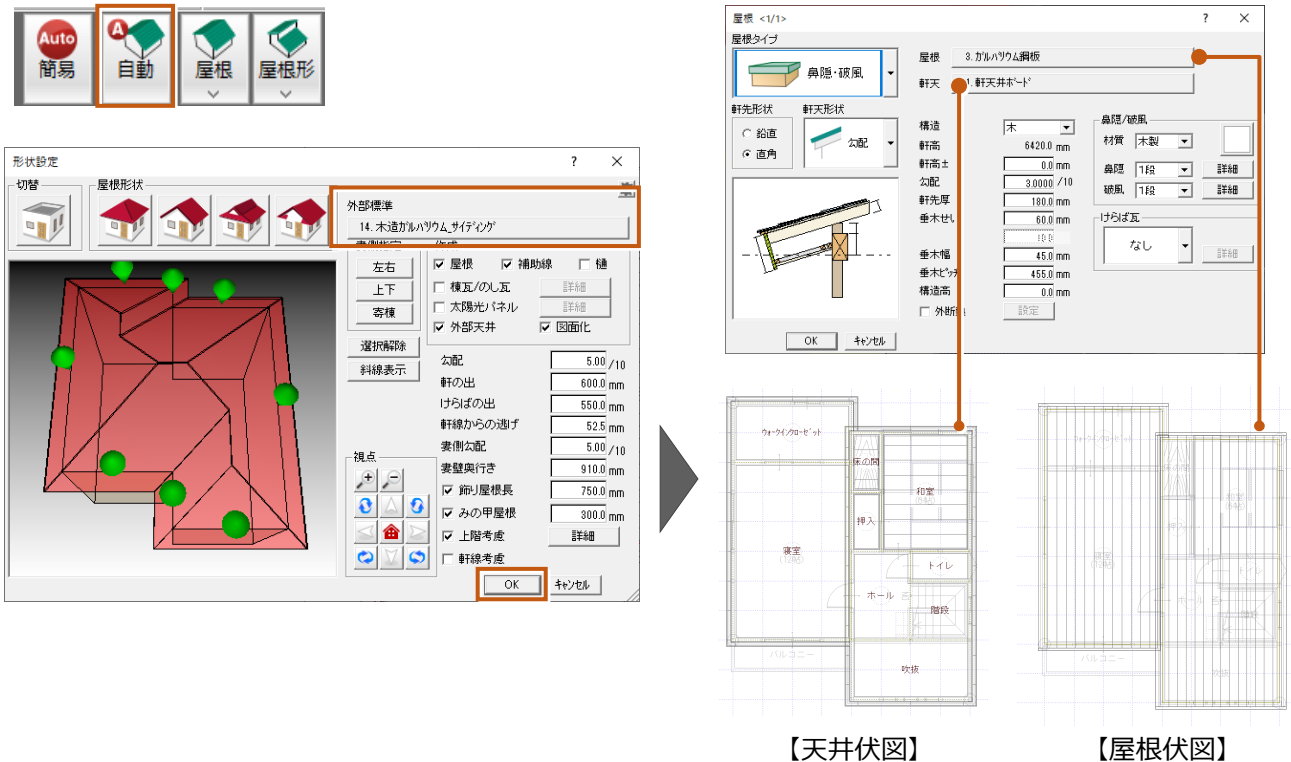
平面図の「一括作成」または「仕上作成」の「仕上配置」に外部標準マスタで設定した、外壁仕上が初期値に設定されます。「OK」をクリックで仕上が作成されます。



【平面図】

屋根仕上、外部天井仕上

屋根伏図の「屋根自動配置」の「外部標準」に外部標準マスタで設定した、屋根仕上と外部天井仕上が初期値に設定されます。「OK」をクリックで仕上が作成されます。(外部天井仕上は天井伏図でも作成できます。)

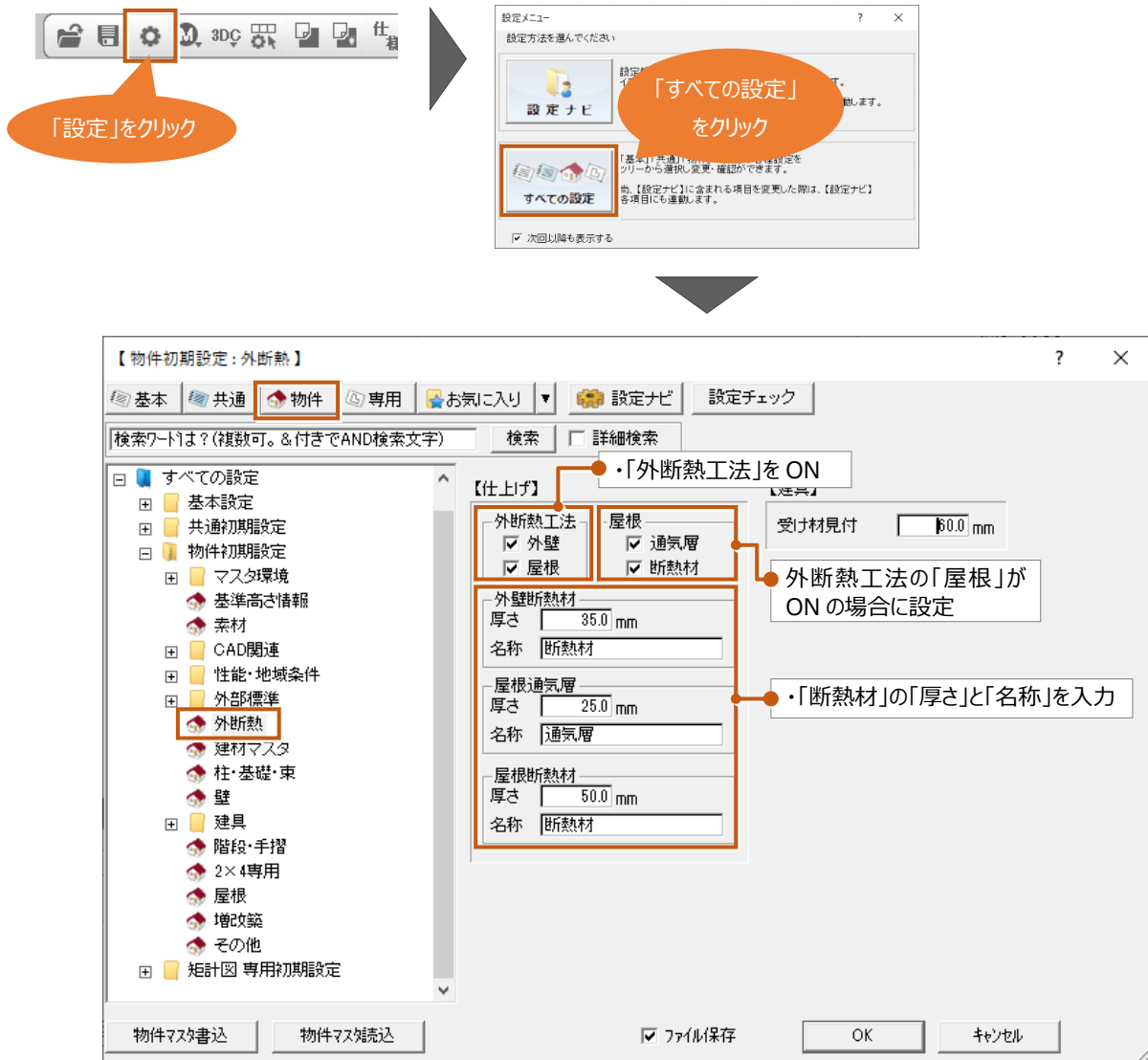


【天井伏図】

【屋根伏図】

2-4 外断熱の厚さを設定しよう

外断熱の厚さや名称は仕上マスタではなく、「物件初期設定」の「外断熱」にて設定します。ここで設定した外断熱の厚さは矩計図、平面詳細図にて描画されます。



外断熱の仕様について

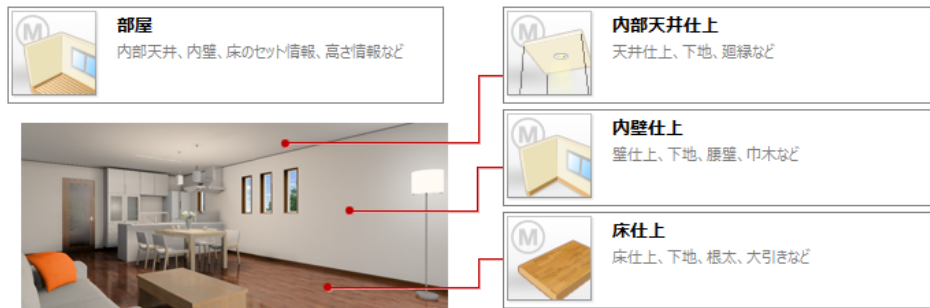
物件初期設定では外断熱の有無と厚さ、名称のみ設定します。外皮計算を行う場合は、断熱材の材料などの設定が必要なため、「外皮性能計算」の「専用初期設定」で設定してください。

外断熱の他図面での描画について

外断熱の描画については別ページにて解説しています。
⇒平面詳細図 P.50～P.51 参照
⇒矩計図 P.74～P.26 参照

2-5 内装仕上を登録しよう

下記のマニュアルを参考に次のサンプルの仕上仕様または自社の仕上仕様を登録してみましょう。



仕上マスタの登録方法はこちらでチェック！

👍 自社マスタ作成編 1.部屋マスタを自社用に編集する P.2~P.6

👍 自社マスタ作成編 5.マスタ設定 P.25~P.35、P.44~P.47

http://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/manual/81_master.html

内壁仕上

内壁仕上のマスタ No.1 の仕様を編集します。



内壁仕上マスタ選択 <c:\f\capp\atzero\atzeromaster\仕上住宅用>

ページ 1: 木造タイプ 名称設定 個別編集 一覧編集

No.	チェック	識別名	壁	腰壁	巾木	巻居	見切	タイプ	壁仕上 名称・摘要
1	<input checked="" type="checkbox"/>	ビニールクロスA						一般	ビニールクロスA
2	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(耐水)						一般	耐水ビニールクロス AAクロス
3	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(巾木タイル)						一般	ビニールクロス AAクロス
4	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(巾木モルタル)						一般	ビニールクロス AAクロス
5	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(腰板)						一般	ビニールクロス AAクロス
6	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(腰タイル)						一般	ビニールクロス AAクロス

内壁マスタ

No. [001] 識別名 [ビニールクロスA]

チェック

長押 せい 1000 素材

付巻居 せい 400 素材

タイプ 一般

仕上厚 0.0 mm 名称 [ビニールクロス] 摘要

下地厚 12.5 mm 名称 [石膏ボード] 摘要 [t=12.5]

腰壁

目地 素材 見切 目地 素材

タイプ 一般

仕上厚 20.0 名称 摘要

下地厚 15.0 名称 摘要

巾木

無地

タイプ 木製(規格品)

巾木 名称 [木製既製品] 摘要

下地 名称 摘要

下地打セット 設定

OK キャンセル 上書 積算名称取込 積算情報

【識別名】ビニールクロス A

【素材】キャンバス ベージュ

【仕上厚】0.0mm 名称：ビニールクロス

【下地厚】12.5mm 名称：石膏ボード、摘要：t=12.5

床仕上

床仕上のマスタ No.8 の仕様を編集します。



床仕上マスタ選択 <c:\%capp%atzero%atzeromaster%仕上%住宅用>

ページ 1 : 木造1階タイプ 名称設定 個別編集 一覧編

No.	チェック	識別名	素材 床	床タイプ	仕上 名称・摘要
7		玉砂利洗い出し		モルタル(土間コン)	玉砂利洗い出し
8		無垢フローリング		一般	無垢材 t=12
9		フローリング		一般	WPCフローリング合板 t=15
10		クッションフロア		一般	クッションフロア t=2.3

床マスタ ? X

チェック No. 008 識別名 無垢フローリング

床

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 無垢材 摘要 t=12

下地厚 - 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要

材質 木製 せい 60.0 mm 幅 45.0 mm 仕様 モジュール寸法 1.00 / 3.00

材質 木製 せい 105.0 mm 幅 105.0 mm 仕様 モジュール寸法 1.00 / 1.00

OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

- [識別名] 無垢フローリング
- [目地] 単線タテ (3.縦目地素材用)
- [素材] 無垢フローリング カリン
- [仕上厚] 12.0mm 名称: 無垢材、摘要: t=12
- [下地厚] 12.0mm 名称: 床下地合板

内部天井仕上

内部天井仕上のマスタ No.2 の仕様を編集します。



内部天井仕上マスタ選択 <c:\%capp%atzero%atzeromaster%仕上%住宅用>

ページ 1 : 木造1階タイプ 名称設定 個別編集 一覧編

No.	チェック	識別名	素材			タイプ	名称
			天井	廻縁	竿縁		
1		ビニールクロス				木天地下地	ビニールクロス AAクロス
2		クロス 木製				木天地下地	ビニールクロス
3		珪藻土塗り				木天地下地	珪藻土塗り

内部天井マスタ ? X

チェック No. 002 識別名 クロス 木製

天井

タイプ 木天地下地

仕上厚 0.0 mm 名称 ビニールクロス 摘要

下地厚 9.5 mm 名称 石膏ボード 摘要 t=9.5

構造ピッチ

縦縁ピッチ 150.0 吊材ピッチ 910.0 mm 野縁ピッチ 455.0 mm

モジュール寸法 1.00 / 3.00 仕様 モジュール寸法 1.00 / 1.00 野縁モジュール寸法 1.00 / 3.00

和風天井

竿縁 市松 素材 せい 40.0 幅 30.0 仕様 モジュール寸法 1.00 / 2.00

廻縁

タイプ 木製(規格品) 名称 木製既製品 摘要

上段 せい 30.0 mm 幅 9.0 mm 出 9.0 mm

下段 せい 30.0 mm 幅 30.0 mm 出 25.0

OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

- [識別名] クロス 木製
- [素材] カンバス ベージュ
- [仕上厚] 0.0mm 名称: ビニールクロス
- [下地厚] 9.5mm 名称: 石膏ボード、摘要: t=9.5

部屋

部屋のマスタ No.14 の仕様を編集します。作成した、内部天井仕上、内壁仕上、床仕上を割り当てます。



部屋マスタでは仕上の他に、天井高、床高増減などの設定ができます。

- [部屋名] 洋室
- [天井高] 床高+2400mm
- [部屋タイプ] 洋室
- [天井仕上] 2.クロス 木製
- [内壁仕上] 1.ビニールクロス A
- [床仕上] 8.無垢フローリング

部屋タイプについて

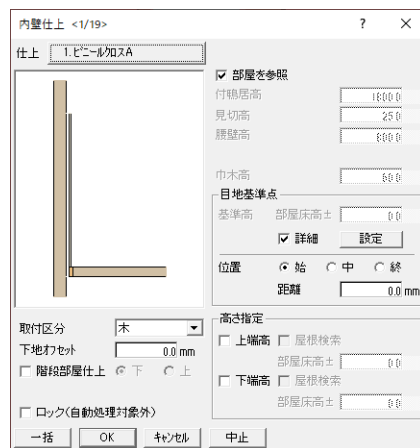
部屋タイプは以下の図面およびコマンドに影響します。

平面図	自動作成		カマチ、開口、畳、床の間の配置の判定で使用されます。
	クイック建具入力		外部・内部に建具を入力する際の玄関・勝手口などの判定、隣接する部屋の判定で使用されます。
	確認申請—性能チェック —防犯開口		侵入開口部の判定に使用されます。
	チェック—収納率チェック —収納エリア		収納率の計算に使用されます。
外皮性能計算		居室区画（床面積）の居室タイプ（主たる居室、その他の居室、非居室）に影響します。	
シックハウスチェック		「読込」で読み込まれる部屋データの種別（住宅等の居室、住宅等以外の居室、天井裏など）に影響します。	
その他			他社製品ソフトなどへ連動を行う場合に使用されます。

補足

部屋マスタで設定した仕上の自動作成について

平面図で「部屋」を入力すると、登録した仕上や天井高などの属性を保持した状態で入力されます。その情報をもとに「一括作成」で内壁仕上、内部天井仕上、床仕上が作成されます。



【平面図】

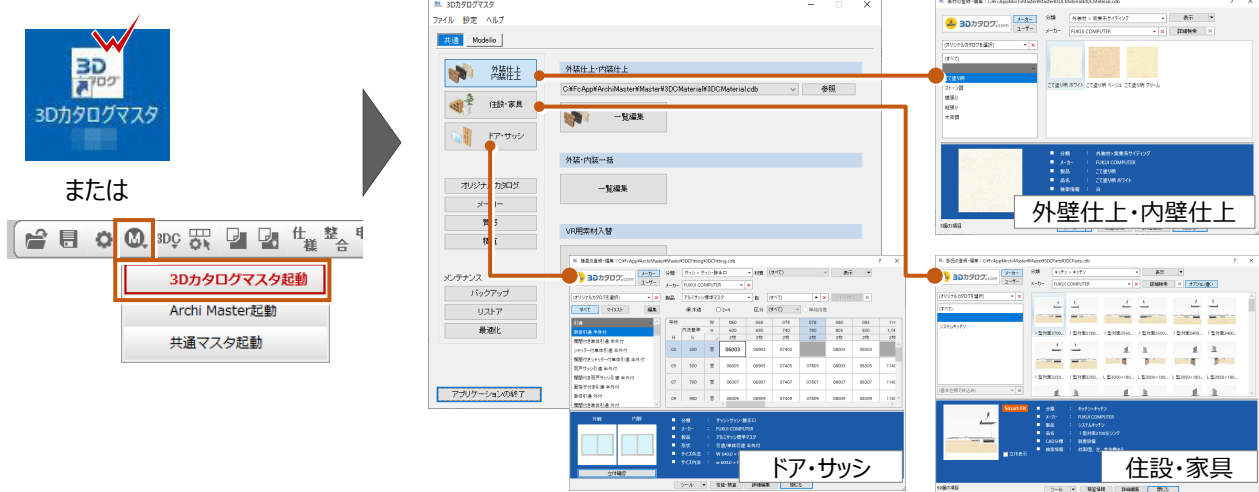


【天井伏図】

3 3D カタログでメーカー 建材・設備を使おう

3-1 3D カタログマスタについて

3D カタログには仕上素材、ドア・サッシ、住設・家具の部品が登録されており、ZERO で使用することができます。これらを「**3D カタログマスタ**」と呼びます。デスクトップ上の「3D カタログマスタ」のアイコンまたは「建材マスタ起動」の「3D カタログマスタ起動」から管理画面を開くことができます。



初期登録の仕上素材、ドア・サッシ、住設・家具の部品だけではなく、メーカーの実建材を使用することもできます。実在する住宅設備・建材・家具を使用することでより生活をイメージしやすいプレゼンパースが作成できます。実建材を使用する場合には、「**3D カタログ.com**」の会員登録が必要です。

【3D カタログ建材、部品使用例】



⇒DATASTATION については P.31 参照

3D カタログ活用方法はこちらでチェック！
ARCHITREND ZERO と 3D カタログとの連携 P.6~P.37
https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dczero/sos/3dcom_ZERORelation.html

3-2 3D カタログ.com に登録しよう

3D カタログ.com とは

「3D カタログ.com」は、各建材メーカーの製品情報を収録している国内最大級の建築に特化した**立体部品のダウンロード**、**カタログサイト**です。3D カタログには**無料会員**、**有料会員 A**、**有料会員 B**の3つの会員種別があります。ARCHITREND ZERO にて3D カタログのメーカー建材や3D 部品を使用する場合は、**有料会員 A プラン**または**有料会員 B プラン**へのご登録が必要です。なお、**有料会員 B プラン**の機能は**30 日間無料**で体験することができます。

会員タイプ別のサービス内容はこちらでチェック！



サービスのご案内・会員登録

<https://www.3cata.com/about/service/cad>



3D カタログ.com ホームページ
<https://www.3cata.com/>

3D カタログに会員登録する

ZERO 起動時に表示される「3D カタログ.com 設定」から会員登録ができます。



有料会員に未登録の方はこちらから30 日間の無料体験のお申込みができます。

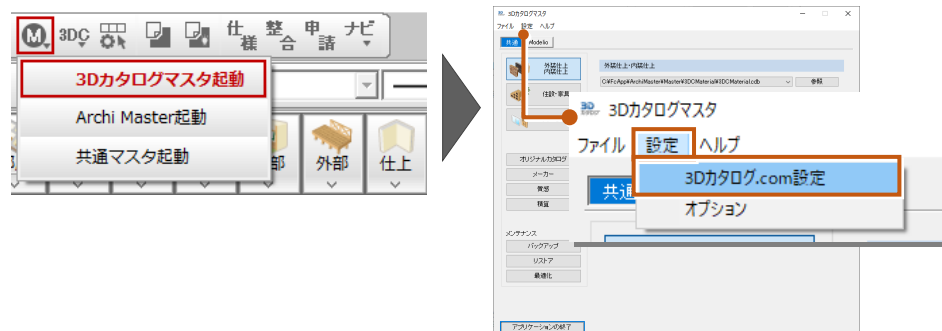


3D カタログ.com の利用環境について

3D カタログ.com のご利用には、インターネット接続が必要です。ブラウザで、インターネット上のサイトが開けない場合は、ご利用のパソコンや周辺機器・接続環境を確認してください。

ZERO 起動後に開く場合

「建材マスタ」メニューの「3D カタログマスタ起動」から3D カタログマスタを開き、「設定」の「3D カタログ.com 設定」から同じ画面を開くことができます。



詳しい会員登録方法はこちらでチェック！

下記 URL をクリックで 3D カタログ.com ホームページのオンラインヘルプが開きます。



無料会員登録

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dc/help/3dchelp.htm#050_Member/052_Member_Free.html



有料会員の 30 日無料体験

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dc/help/3dchelp.htm#050_Member/053_Member_FreeTrial1.html

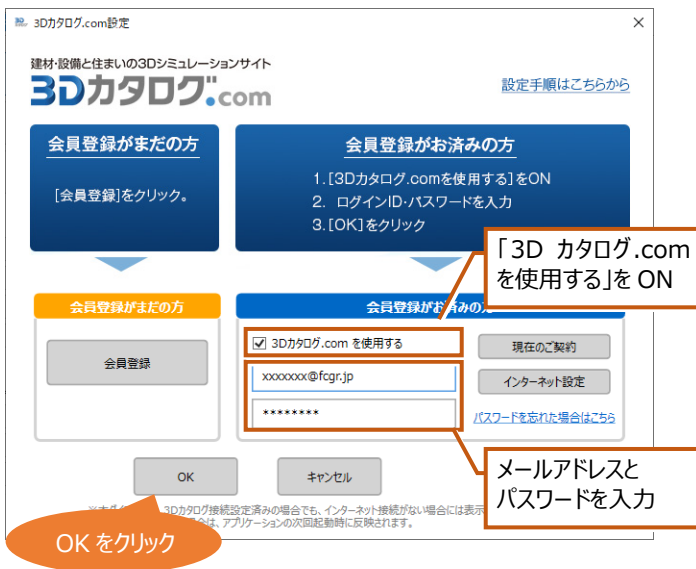


有料会員登録（A・Bプラン）

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dc/help/3dchelp.htm#050_Member/060_Member_Charg.html

3D カタログと ZERO を連携する

会員登録が完了したら、ZERO でメーカー建材を利用可能にするため設定を行います。再度「**3D カタログ.com 設定**」を開き登録した、「メールアドレス」と「パスワード」を入力します。



3D カタログモードに設定する

3D カタログ部品やダウンロードしたメーカー建材を使用する場合は、建材マスターモードを「3D カタログモード」に設定します。



補足

DATASTATION について

DATASTATION は CAD による設計図面や CG パースに、さらに現実味を持たせることができるハイクオリティーな**添景データコンテンツ**です。自動車や植栽、食器などの小物類が多数収録されています（提供元：株式会社 ファイン）。他のメーカー建材と同様に 3D カタログ.com からダウンロードして CAD 上でご利用いただけます。

部品をダウンロード

メーカー名は「ファイン」と表示されます。

立体表示

- 分類 : 家具・インテリア>家具
- メーカー : ファイン
- 製品 : ダイニングセット
- 品名 : ダイニングセット (4人用)
- CAD分類 : 家具
- 検索情報 : ダイニング、セット



DATASTATION を利用するには

DATASTATION は、3D カタログ有料会員 A プランまたは有料会員 B プランのオプションのご契約でご利用いただけます。

DATASTATION についてはこちらでチェック！

👍 サービスのご案内

<https://www.3cata.com/about/service/paid#datastation>

4 立面図

4-1 立面図を自動作成しましょう

立面図では、平面図、屋根伏図、天井伏図、配置図をもとに、東西南北方向（1面～4面）の立面図を作成します。
ここでは、平面図から開いて立面図を自動作成します。

「立面図オープン」からも開くことができます。

「他の処理図面を開く」から立面図を開く



方位について

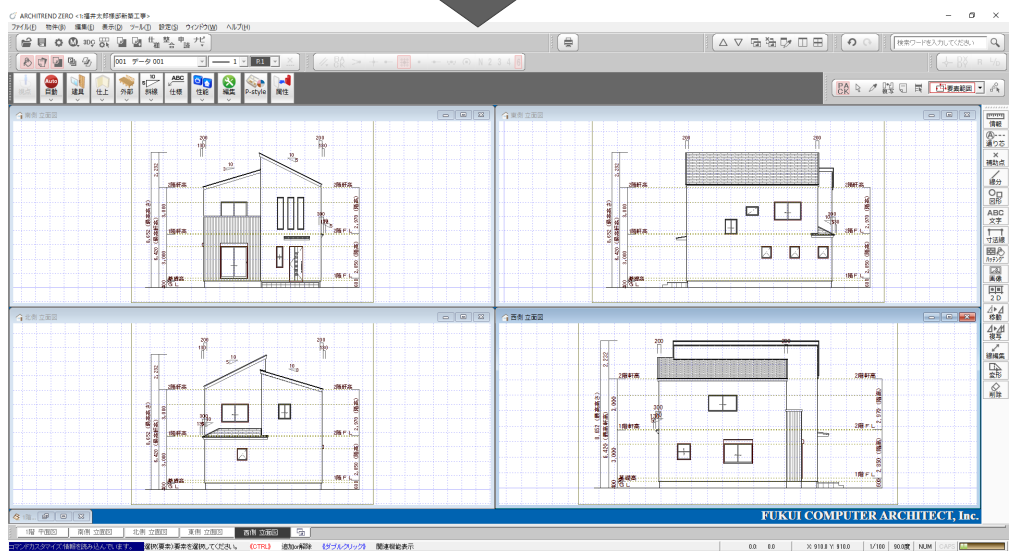
方位は、配置図の1面目に入力した方位マークにより決まります。
配置図の1面目に方位マークがないときは、平面図の方位マーク、平面図に方位マークがないときは画面の真上が北になります。



【平面図】





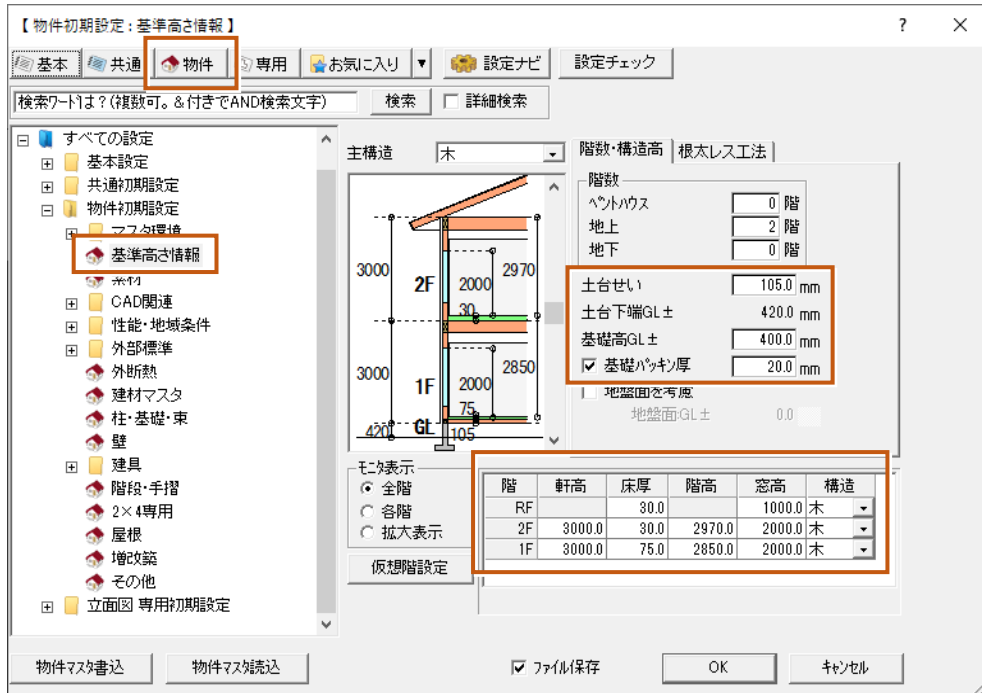


4-2 軒高や階高などの高さを確認しましょう

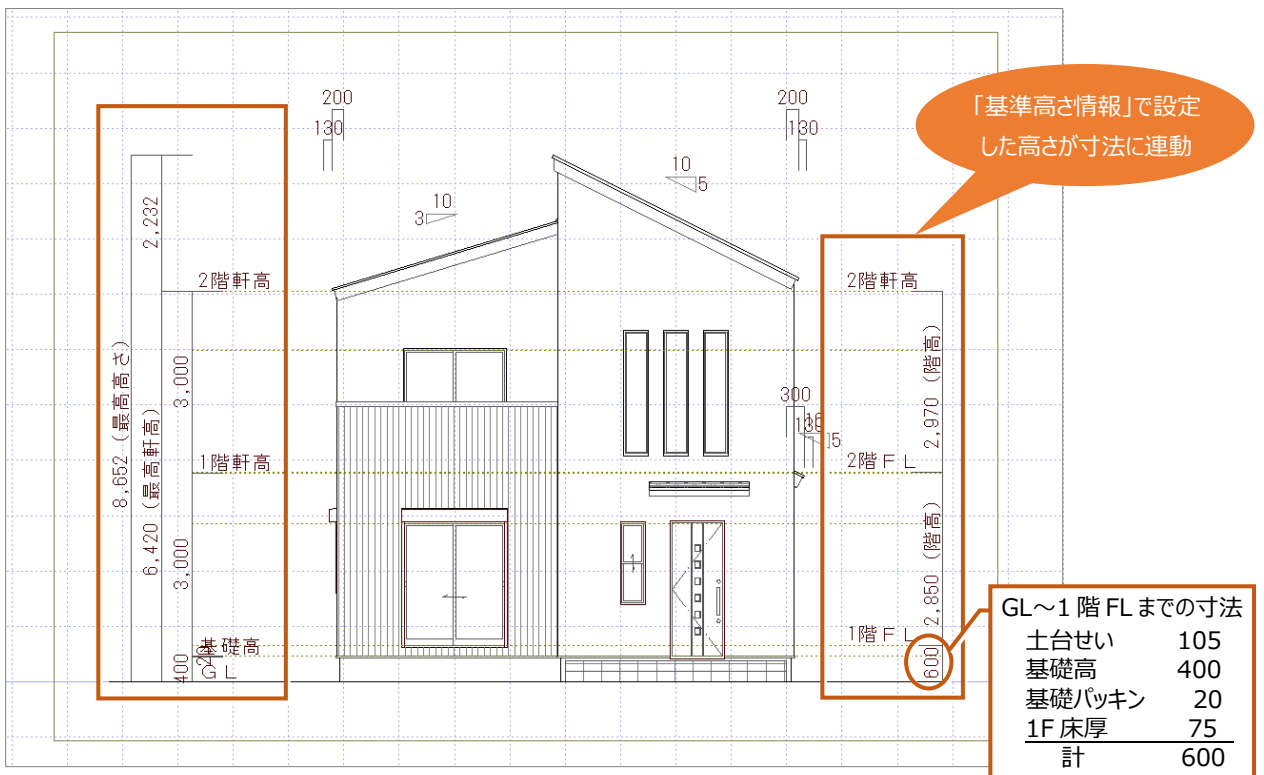
自動作成で作成される寸法は、「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した値が連動します。軒高や階高などは値を変更して立面図を再作成すると高さに反映されます。

● 物件初期設定 ●

基準高さ情報にセットされる高さについて
 「基準高さ情報」に表示される高さは、物件の新規作成時にウィザード画面で設定した値がセットされます。
 ⇒ 1-5 建物の高さを設定しよう P.8 を参照



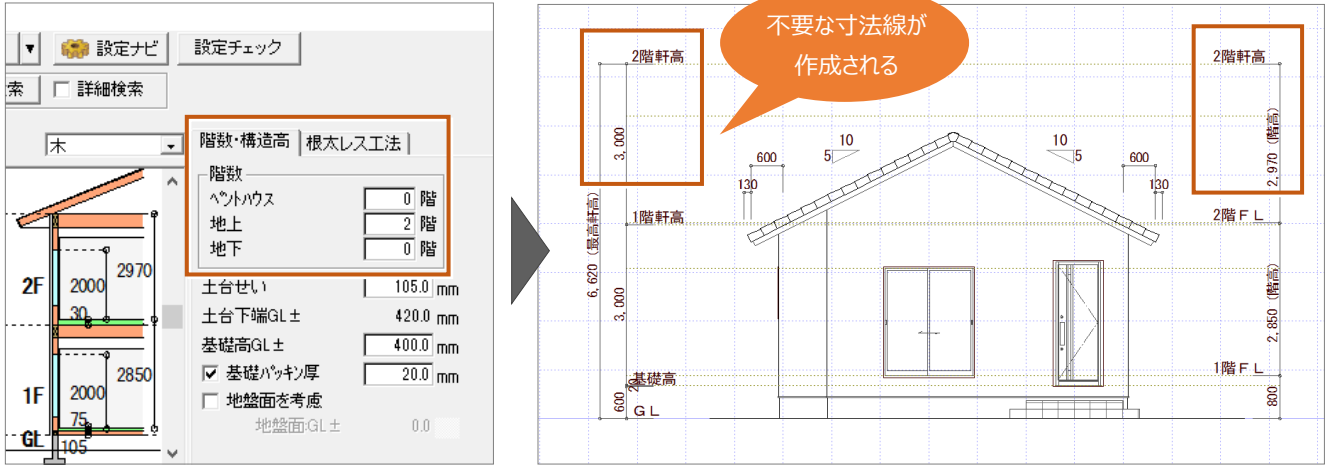
● 立面図 ●



補足

基準高さ情報の「階数」について

例えば、平屋建ての場合に「地上 2 階」と設定すると、立面図を作成したときに不要な 2 階の寸法線も作成します。「基準高さ情報」では「階数」の設定も確認しましょう。



立面図をカラーで表現するには

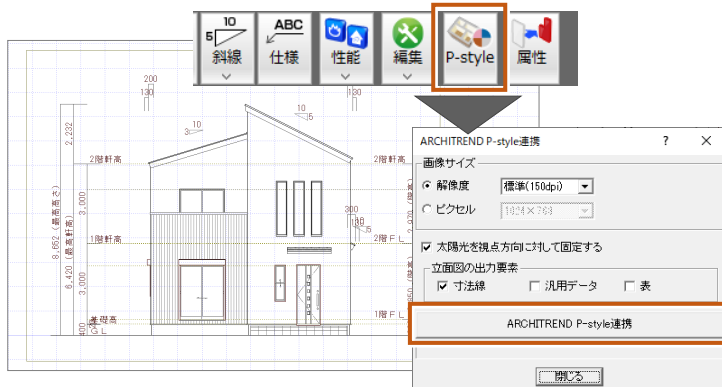
立面図に自動で色を付けることはできません。ARCHITREND P-style をご購入されている場合は、「ARCHITREND P-style 連携【立面図】」から、カラー立面図を作成することができます。ARCHITREND P-style をお持ちでない場合は、汎用コマンドの「ハッチング・塗潰し」メニューから「塗潰し入力」で単色の塗り潰しを入力するなどの方法になります。

P-styleに関する詳しい操作はこちらでチェック！

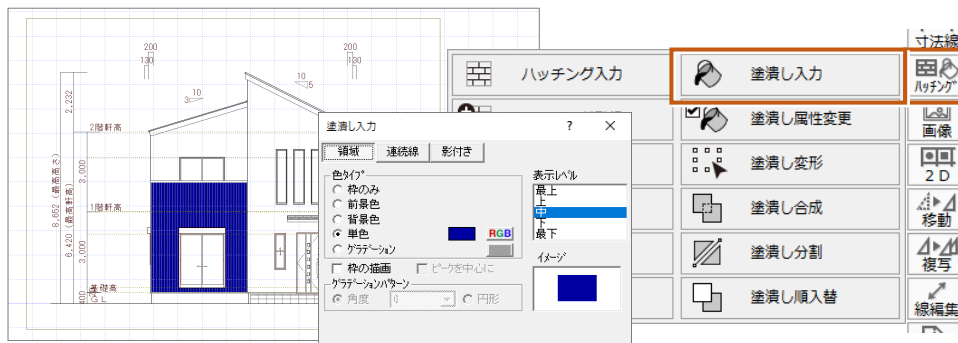
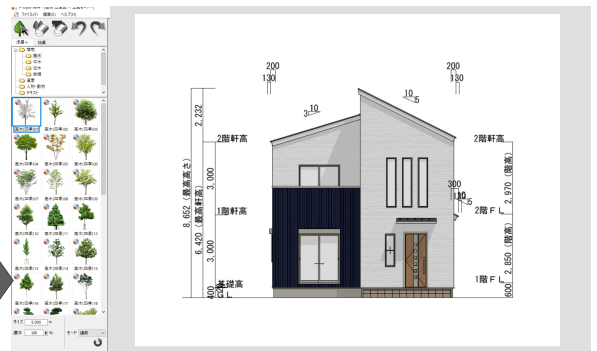


<https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZE/RO/Ver8/guide/uss/P-style.html>

● 立面図 ●



● ARCHITREND P-style ●

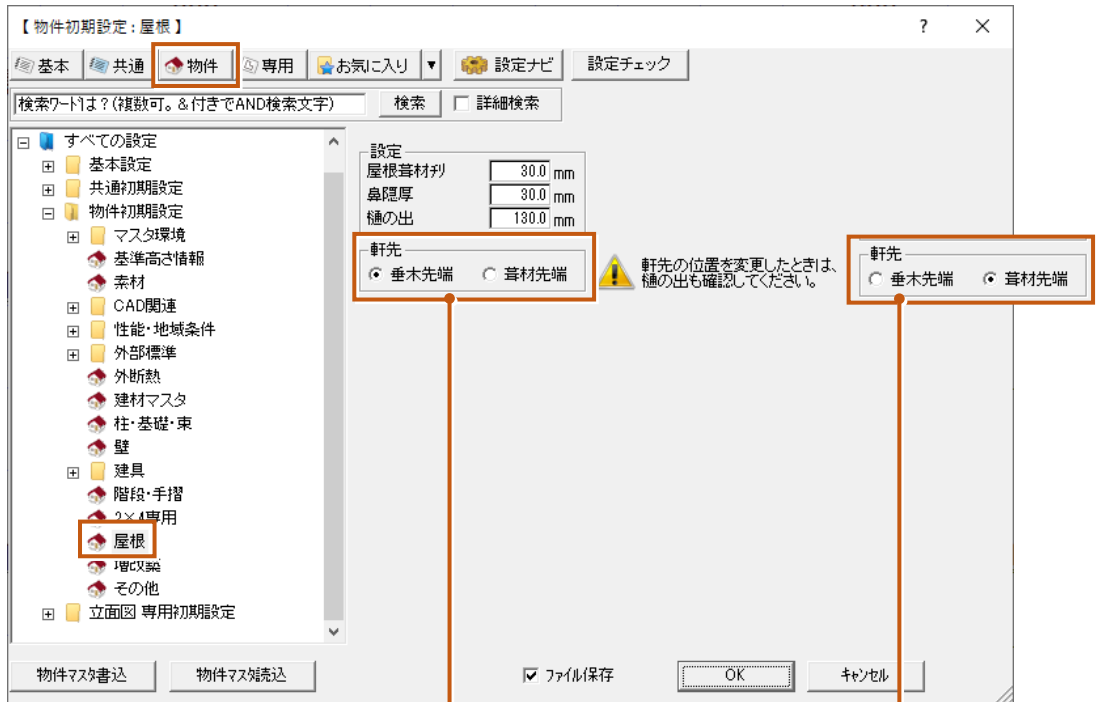


4-3

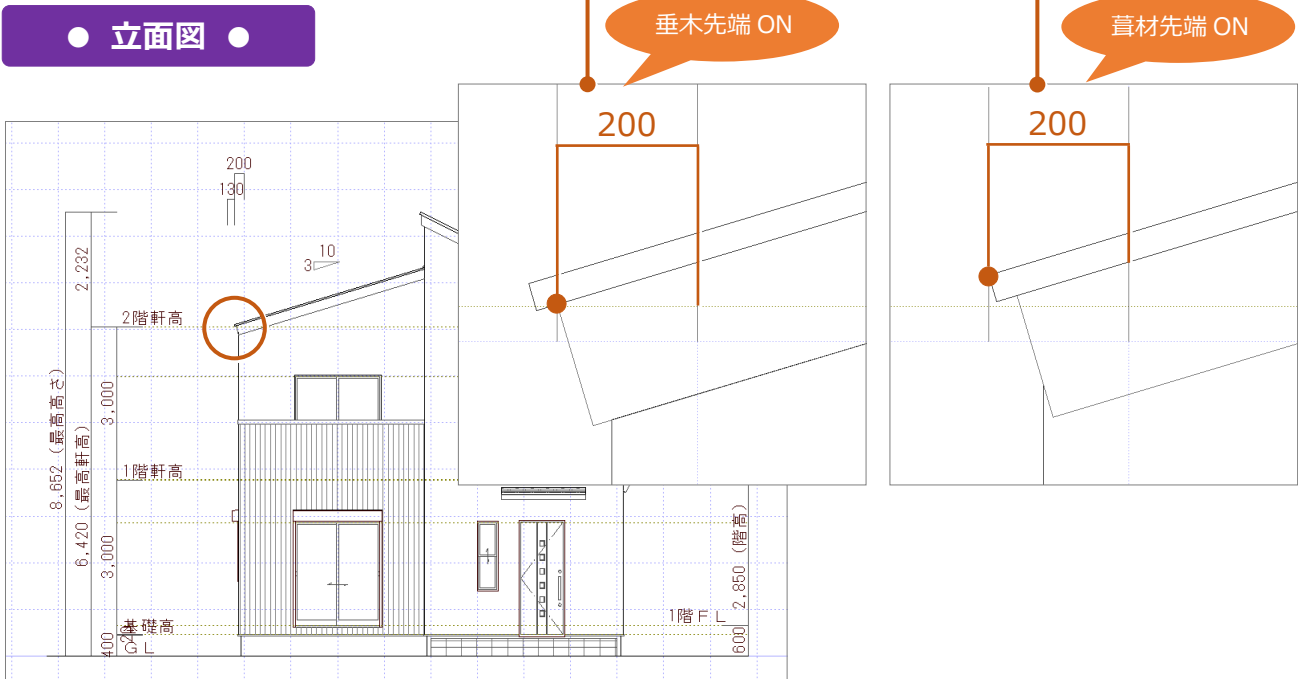
軒先の位置について設定を確認しましょう

自動作成で作図される軒の出寸法の軒先の位置は、「物件初期設定」の「屋根」にある「軒先」で設定します。
 軒先の位置を垂木の先端とするか、葺材の先端とするかを設定できます。この設定によって立面図で作成される軒の出寸法を押しさえる位置が変わります。

● 物件初期設定 ●



● 立面図 ●



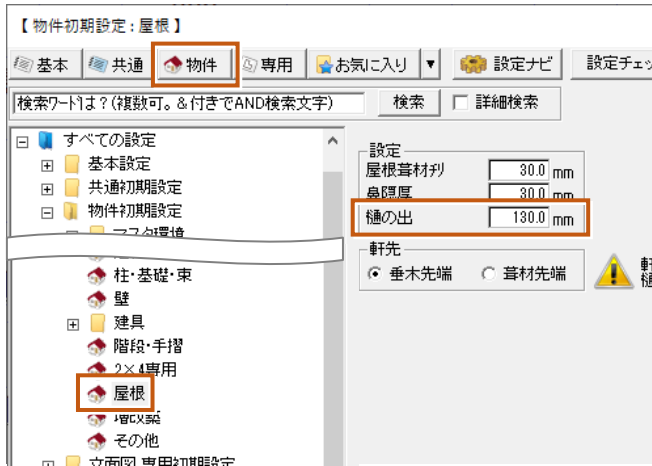
補足

樋の出の設定について

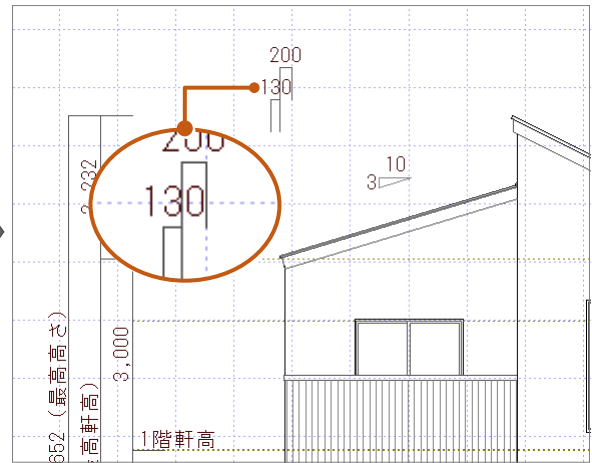
立面図を自動作成したときに軒の出の寸法と一緒に作図される寸法（ここでは「130」と表記）は、「物件初期設定」の「屋根」にある「樋の出」の値が連動します。そして、この樋の出は「軒先」の「垂木先端」「葺材先端」が基準になります。

※ 樋の出寸法を作図するには、「立面図専用初期設定」の「寸法線等」で「樋先寸法を描画する」を ON にします。 ⇒ P.37 参照

● 物件初期設定 ●



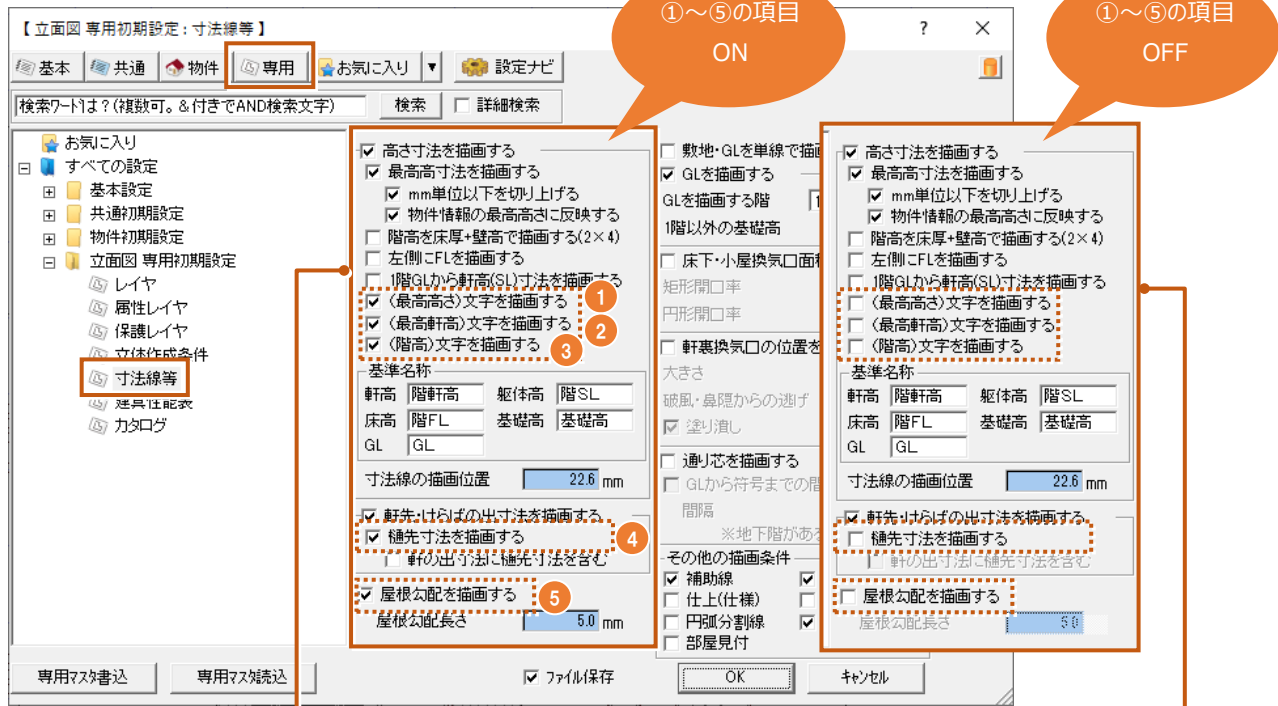
● 立面図 ●



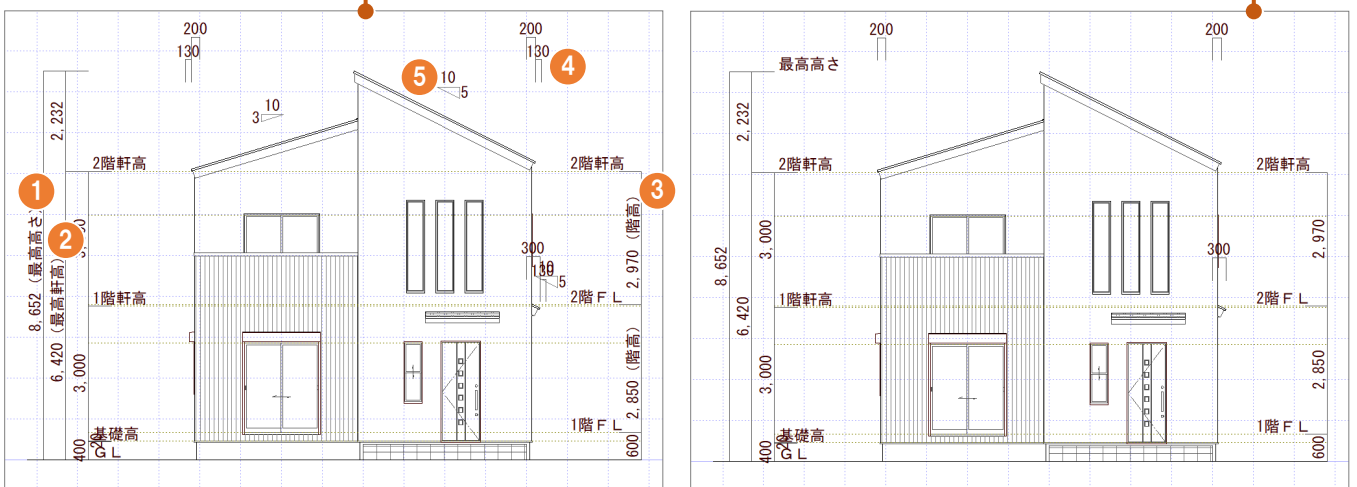
4-4 寸法の作図について設定を確認しましょう

立面図を自動作成するときの高さ寸法などの描画は、「立面図専用初期設定」の「寸法線等」で作図条件を設定できます。作図する項目を確認し、描画する場合は ON、描画しない場合は OFF に設定して立面図を自動作成しましょう。ここでは①～⑤の項目について ON と OFF の場合で立面図を作成しています。

● 立面図専用初期設定 ●



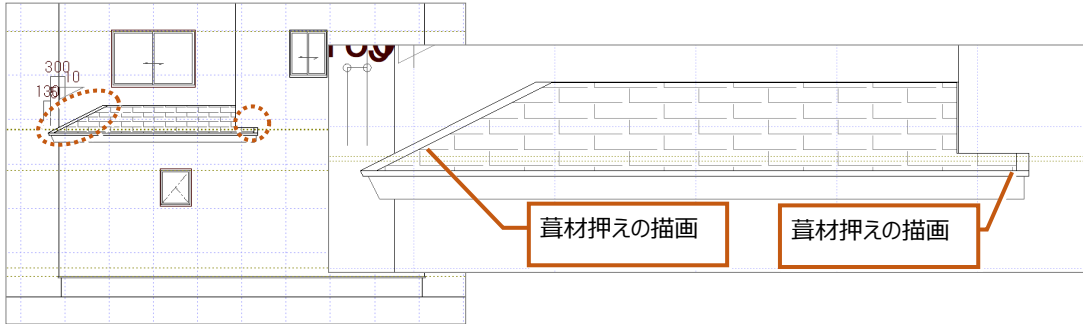
● 立面図 ●



4-5 横葺き屋根の押えの描画について確認しましょう

立面図で描画される横葺き屋根の押えは、屋根伏図のデータから連動します。「屋根伏図専用初期設定」の「図面作成条件」で葺材押えの描画条件を設定します。※ ただし、この設定は屋根仕上がコニアルタイプの場合のみ対象となります。

ここでは、「屋根伏図専用初期設定」の「図面作成条件」で「けらば」「隅木」「下屋取合い」を ON と OFF の場合で作成し、立面図を自動作成しています。葺材押えの描画について連動元、設定場所、そして立面図の描画の違いをご確認ください。



● 屋根伏図専用初期設定 ●

【屋根伏図専用初期設定：図面作成条件】

基本 共通 物件 専用 お気に入り

検索ワードは？(複数可。&付きでAND検索文字) 検索

- お気に入り
- すべての設定
- 基本設定
- 共通初期設定
- 物件初期設定
- 屋根伏図専用初期設定
- レイヤ
- 属性レイヤ
- ピック
- 屋根配置条件
- パラペット
- 太陽光パネル
- 屋根シンボル
- 排水シンボル
- 無落雪
- 申請
- 図面作成条件
- ソフトウェア

葺材押え 押え幅 80.0 mm

軒先 けらば 棟木 腰折 隅木 谷木

素壁取合い 下屋取合い 鉛直取合い 円弧接続

※屋根仕上/コニアルタイプのみ有効

葺材押え 押え幅 80.0 mm

軒先 けらば 棟木 腰折 隅木 谷木

素壁取合い 下屋取合い 鉛直取合い 円弧接続

※屋根仕上/コニアルタイプのみ有効

けらば・隅木・下屋取合い ON

けらば・隅木・下屋取合い OFF

押え幅 80.0 mm

下屋取合い

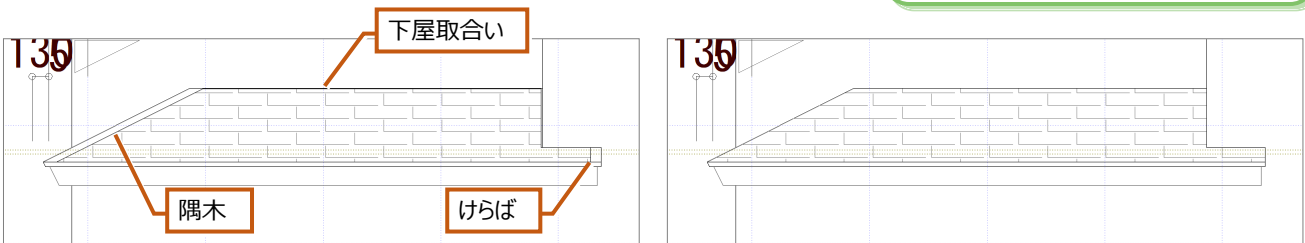
隅木

けらば

注意！

「屋根伏図専用初期設定」を変更して屋根伏図を作成した場合は、立面図を再作成する必要があります。

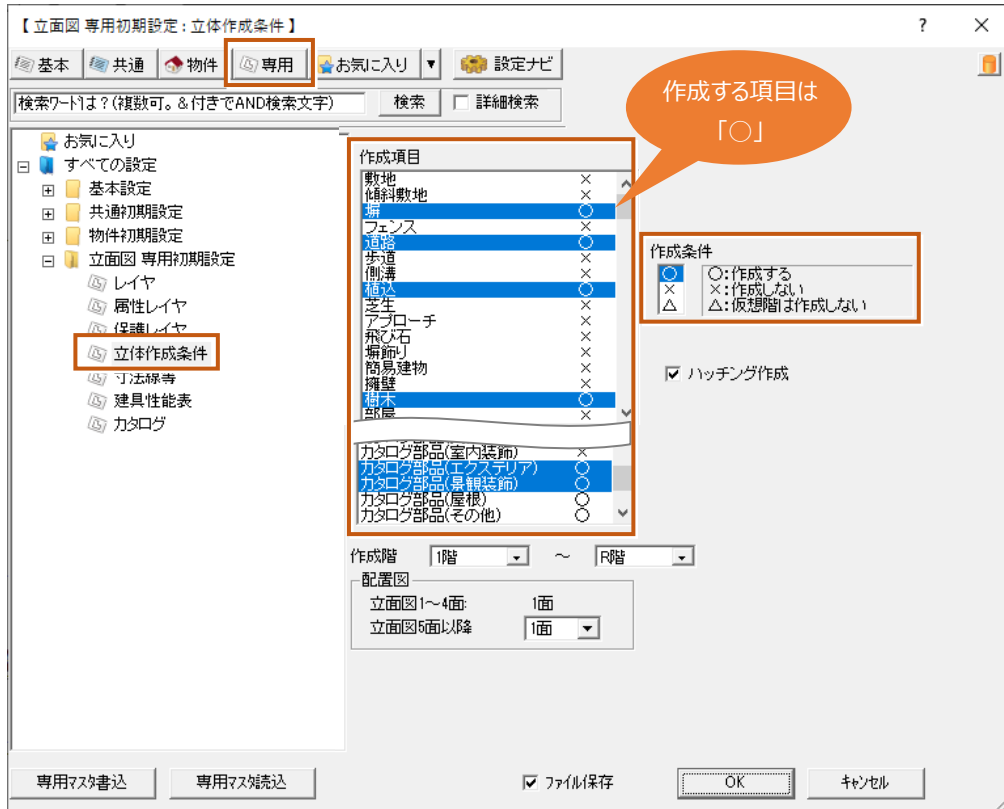
● 立面図 ●



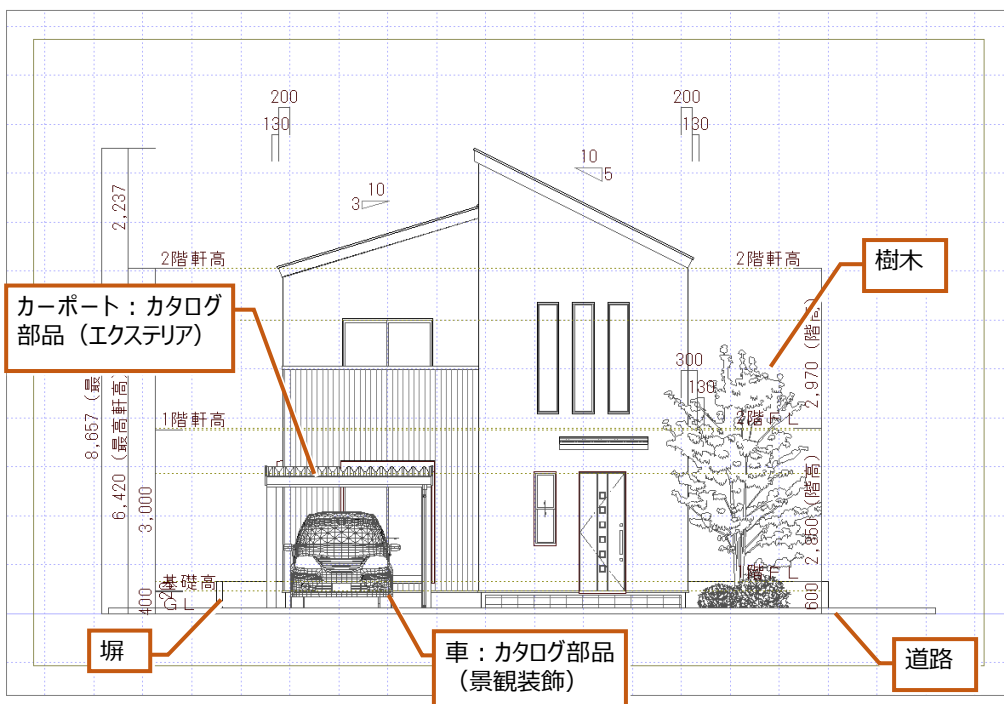
4-6 立体データの描画について設定を確認しましょう

自動作成するときに、敷地や樹木、車などを描画するかどうか、「立面図専用初期設定」の「立体作成条件」で設定できます。作成する場合は作成条件を「○」、作成しない場合は「×」に設定して立面図を自動作成します。

● 立面図専用初期設定 ●



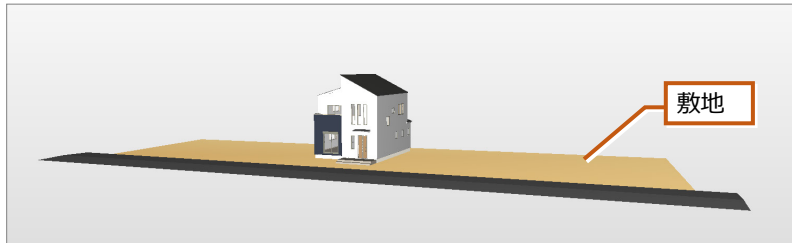
● 立面図 ●



補足

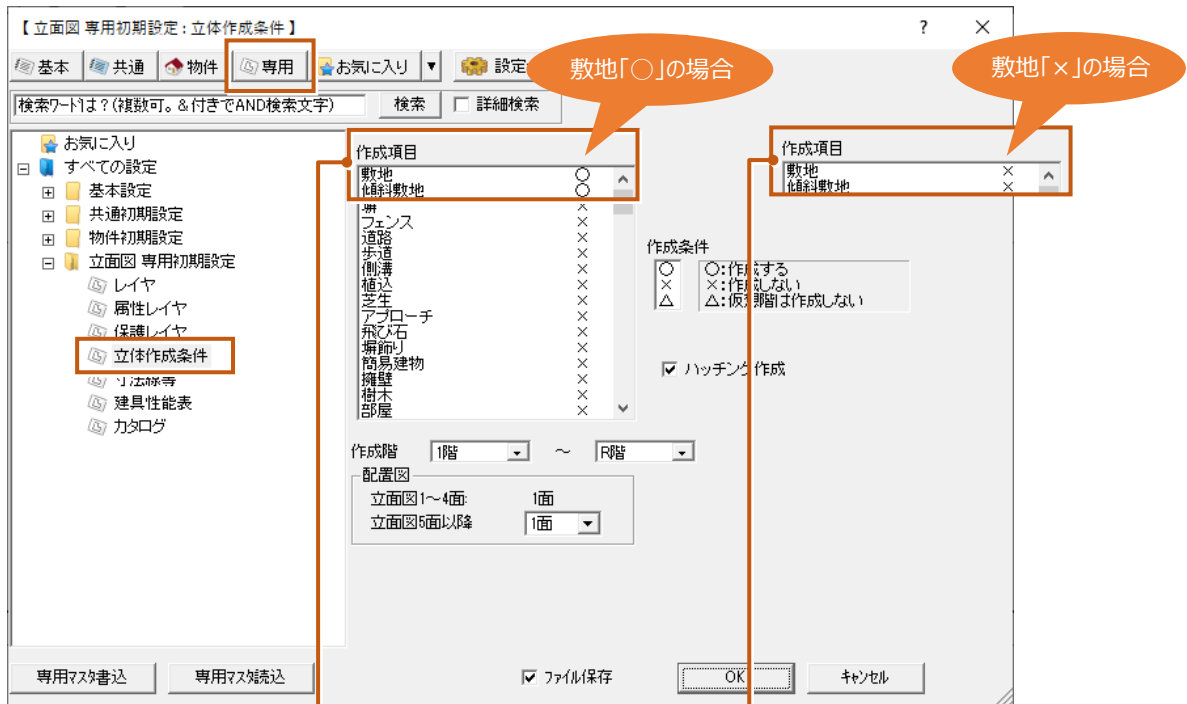
敷地データの描画について

ここでは、下図のパーズのような敷地データを入力している場合に、作成条件を「○」と「×」にしたときの立面図を作成しています。範囲の大きな敷地を入力している場合に、作成条件を「○」にすると作図範囲も大きくなり、画面に表示される建物が小さくなります。このような場合、作成条件を「×」にして自動作成することで敷地を除いた範囲で立面図を作成し、画面全体に建物が表示されます。

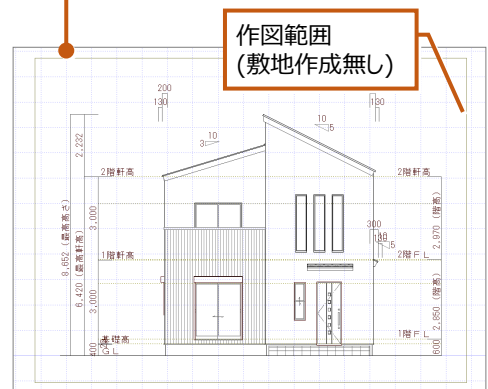
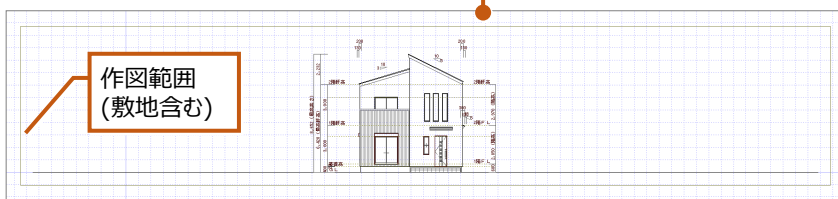


【パーズモニタ】

● 立面図専用初期設定 ●



● 立面図 ●

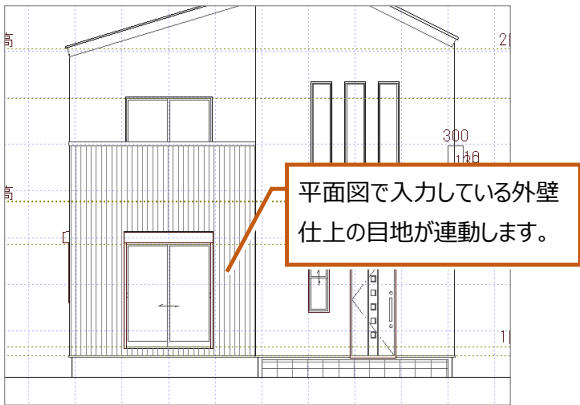


4-7 外壁目地の描画について連動元を確認しましょう

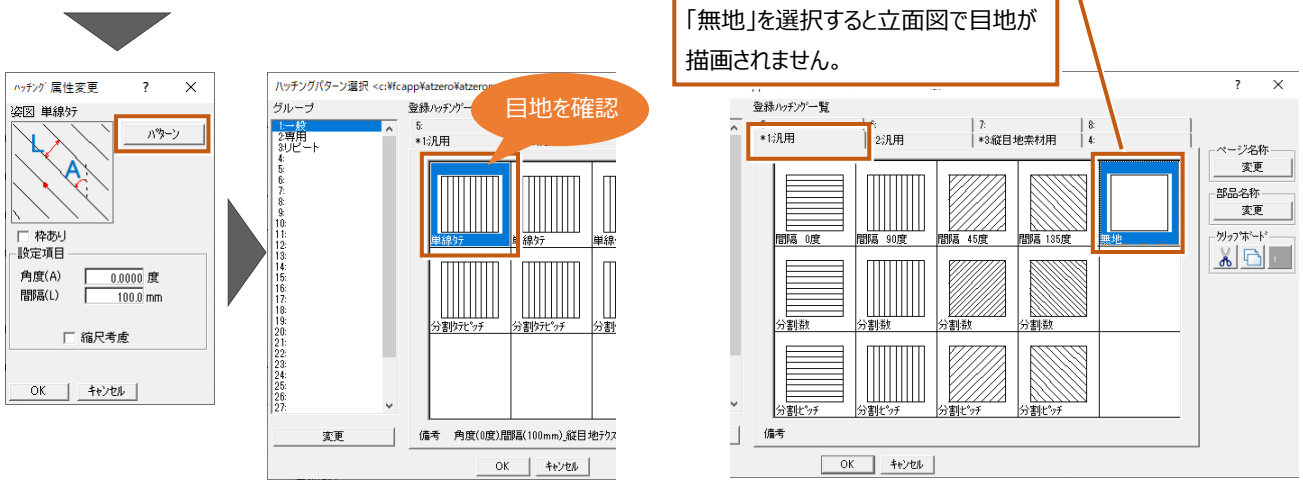
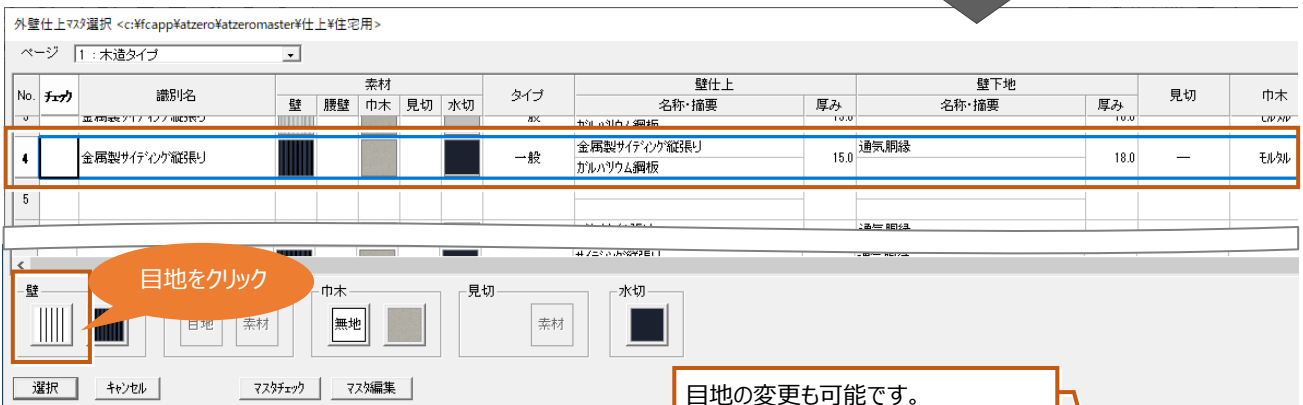
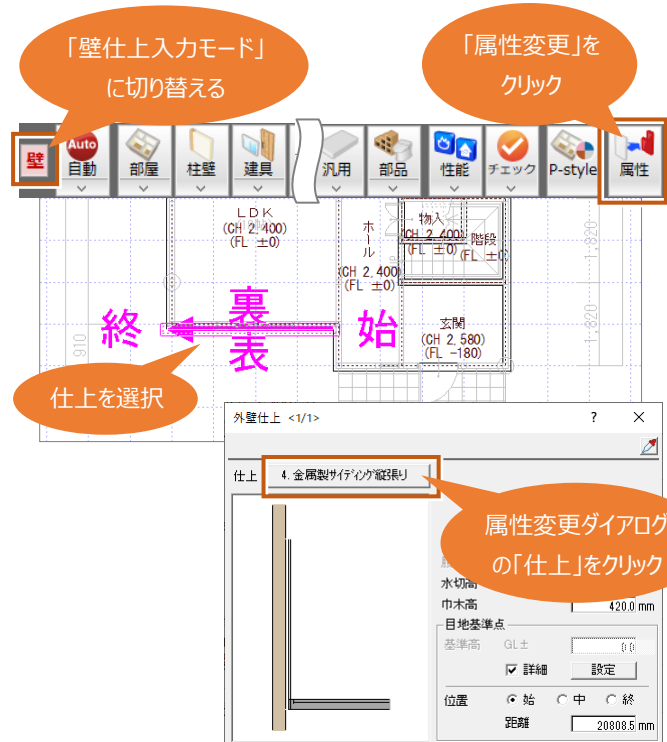
立面図で描画される外壁の目地は、平面図で入力している外壁仕上の目地が連動します。

ここでは、平面図で外壁仕上の属性変更ダイアログを表示して、「外壁仕上マスタ選択」の目地で確認や変更する方法を解説します。

● 立面図 ●



● 平面図 ●



補足

その他の目地の描画について

立面図では、屋根や庇、外壁など仕上の目地を表示しないように設定することが可能です。これらの目地が不要な場合は、「立面図専用初期設定」の「立体作成条件」の「ハッチング作成」を OFF にして自動作成します。

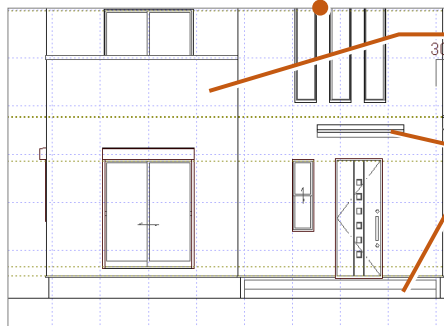
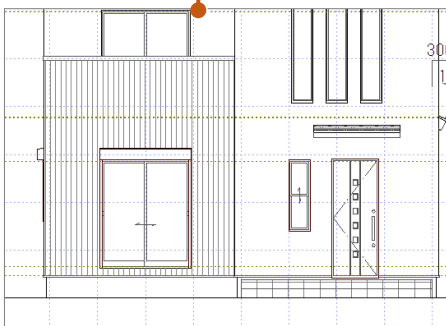
ただし、外壁の目地は不要で屋根の目地は描画したいなど個別に目地の描画を設定したい場合は、「ハッチング作成」は ON にしてそれぞれの仕上で目地パターンを「無地」などに設定してください。

● 立面図専用初期設定 ●

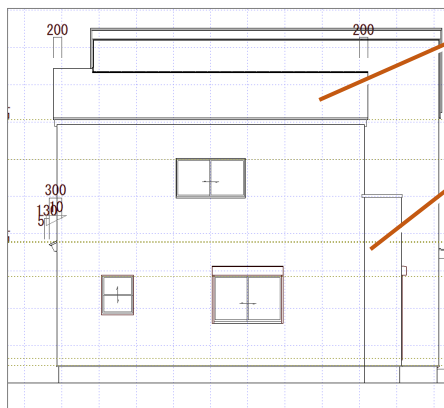
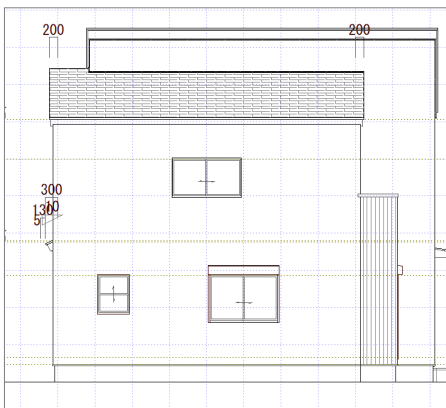


● 立面図 ●

【南側 立面図】



【東側 立面図】



4-8 自社用マスタの登録方法を確認しましょう

「物件初期設定」で設定を変更して変更した内容を自社用のマスタとして登録する場合、「専用初期設定」で設定を変更して自社用のマスタとして登録する場合について解説します。

自社用のマスタとして物件マスタ登録する

ZERO では、建物の仕様をマスタ（ひな型）に登録できます。このマスタを「物件マスタ」といいます。「物件初期設定」で設定を変更し、変更した内容を自社用のマスタとして物件マスタに登録すると、別の物件でも同じ「物件初期設定」の内容で図面を作成できるようになります。物件マスタの登録は、物件初期設定ダイアログの左下にある「物件マスタ書込」から登録できます。

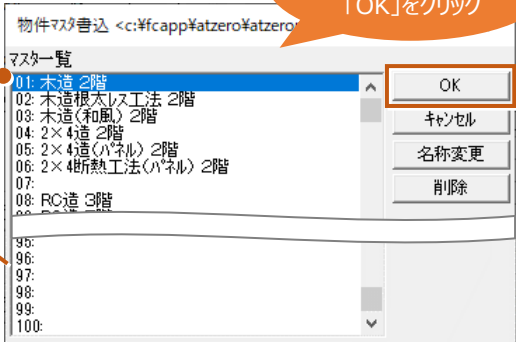
● 物件初期設定 ●



「物件マスタ書込」をクリック

マスタ番号を選んで「OK」をクリック

100パターン登録できます。番号を選んで新たに物件マスタを登録することもできます。



別の物件を作成するときに、書込んだ番号を選択すると同じ設定で図面作成できます。

自社用の図面専用のマスタとして登録する

ZEROでは、平面図や屋根伏図、配置図など図面ごとに作図条件を登録できます。この作図条件を登録したマスタを「専用マスタ」といいます。「立面図専用初期設定」で設定（作図条件）を変更し、変更した内容を自社用のマスタとして専用マスタに登録すると、別の物件の立面図を作成するときにも同じ設定内容で作成できるようになります。専用マスタの登録は、立面図専用初期設定ダイアログの左下にある「専用マスタ書込」から登録できます。

● 立面図専用初期設定 ●

【立面図専用初期設定: 立体作成条件】

基本 共通 物件 専用 お気に入り 設定ナビ

検索ワードは? (複数可。&付きでAND検索文字) 検索 詳細検索

お気に入り

- すべての設定
 - 基本設定
 - 共通初期設定
 - 物件初期設定
 - 立面図専用初期設定
 - レイヤ
 - 属性レイヤ
 - 保護レイヤ
 - 立体作成条件
 - 寸法線等
 - 建具性能表
 - カタログ

作成項目

敷地	○
傾斜敷地	○
塀	×
フェンス	×
道路	×
歩道	×
側溝	×
植込	×
芝生	×
アプローチ	×
飛び石	×
塀飾り	×
簡易建物	×
擁壁	×
樹木	×
部屋	×

作成条件

○:作成する
×:作成しない
△:仮想図面は作成しない

ハッチング作成

作成階 1階 ~ R階

配置図

立面図1~4面: 1面
立面図5面以降: 1面

専用マスタ書込 専用マスタ読込 キャンセル

専用マスタ書込[立面図] <c:\fcapp\atzer\atzerom... ?

マスタ一覧

01:	
02:	木造用
03:	木造根太レス工法用
04:	2×4造用
05:	2×4造パネル用
06:	2×4造熱パネル用
07:	RC造用
08:	S造用
09:	木造(和風)用
46:	
47:	
48:	
49:	
50:	

OK キャンセル 名称変更 削除

50パターン登録できます。番号を選んで新たに専用マスタを登録することもできます。

別の物件の立面図を作成するとき、書込んだ番号を選択すると同じ設定で図面作成できます。

マスタ作成に関する詳しい操作はこちらでチェック！



自社マスタ作成編 「自社用の物件マスタ、専用マスタの作成」 P.16~P.22参照

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/manual/81_master.html

5

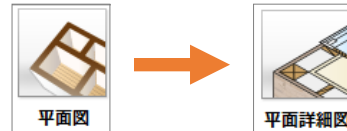
平面詳細図

5-1 平面詳細図の作成方法を確認しましょう

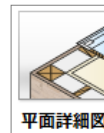
はじめに作成方法を確認しましょう。

平面詳細図の作成方法は 2 通りあります。

1 つ目は、平面図のデータを元に平面詳細図を自動作成する方法



2 つ目は、平面図からではなく、平面詳細図から部屋、建具などを入力して柱・壁・仕上などを一括 作成する（平面詳細図入力を有効にする）方法



※ 平面詳細図でデータを入力していくと、平面図も作成されます。

ここでは、1 つ目の平面図のデータを元に平面詳細図を自動作成する方法で解説していきます。

2 つ目の方法については、ヘルプの「物件初期設定：その他」の「平面詳細図入力を有効にするには」を参照してください。

5-2 平面詳細図を自動作成しましょう

平面図から平面詳細図を開いて自動作成します。

平面詳細図オープンから開く

「他の処理図面を開く」からも開くことができます。

「自動」をクリックして作成

Auto 自動 柱壁 建具 階段 内部 外部 仕上 汎用 部品 性能

【平面図】

【平面詳細図】

5-3 天井高や床の高さ、部屋の仕上を確認しましょう

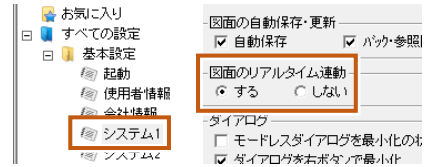
平面詳細図を自動作成したときに表示される天井高や床の高さは、平面図で入力している部屋の「天井高」、「床高増減」の値から連動します。内壁と床の仕上についても平面図で入力したデータが連動します。

● 平面図 ●

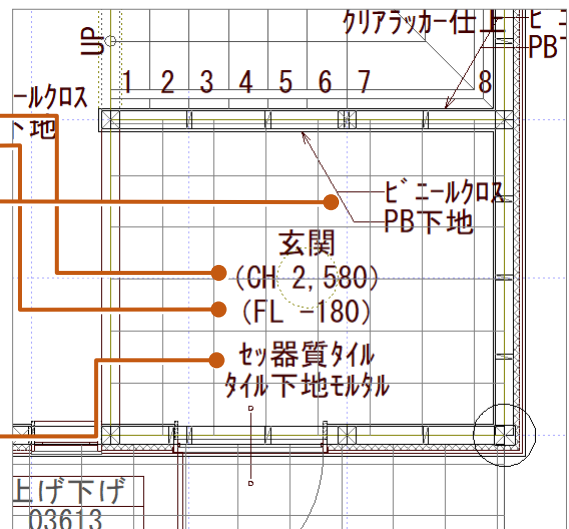


注意！リアルタイム連動について

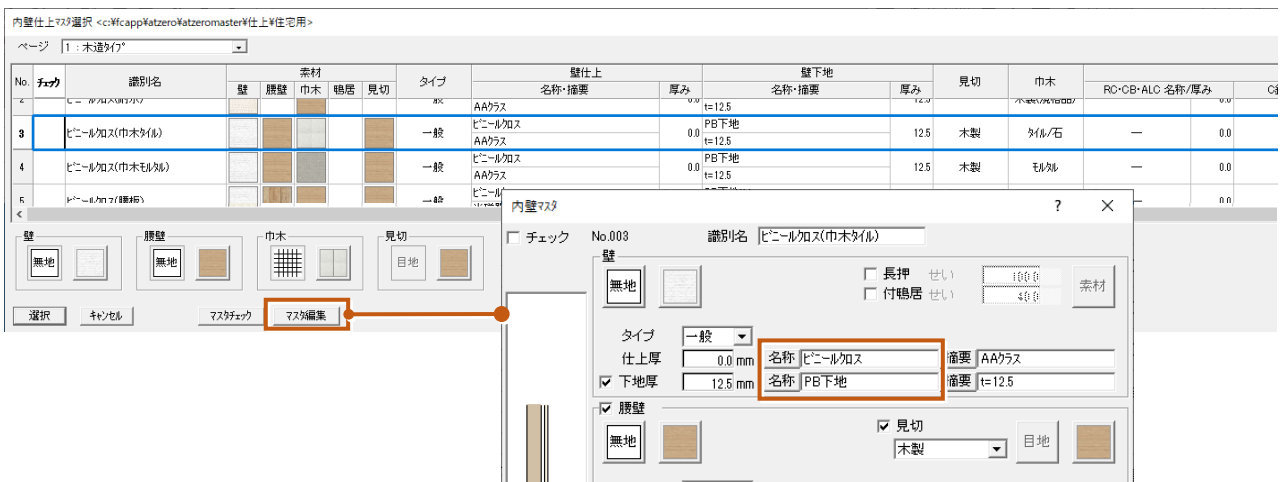
「基本設定：システム 1」でリアルタイム連動が有効になっている場合、平面図も開いた状態で平面詳細図を編集すると、編集内容が平面図にも反映されます。特に、削除をする場合は平面図のデータも同時に削除されてしまうので、平面図を閉じて削除するなど、操作にご注意ください。



● 平面詳細図 ●



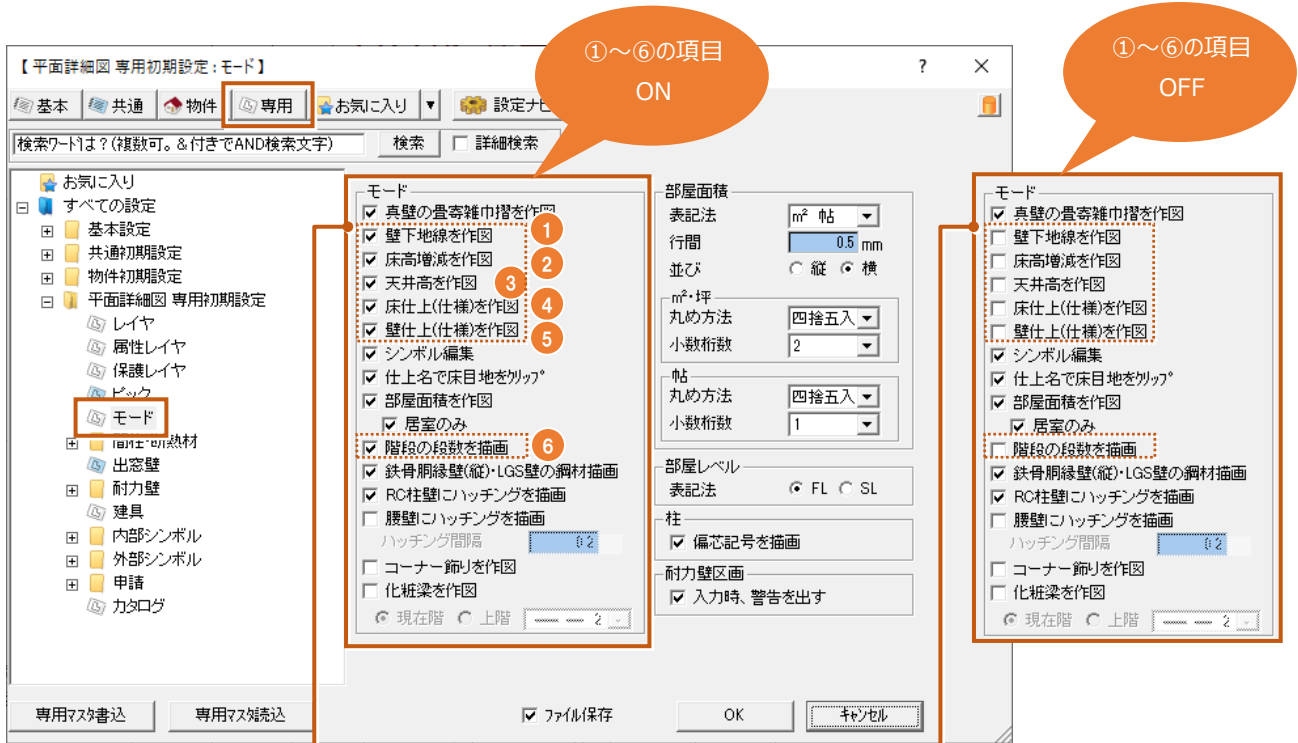
平面詳細図で表示される仕上名称は、「内壁仕上マスタ選択」「床仕上マスタ選択」ダイアログの「仕上」「下地」に登録した「名称」が表示されます。部屋属性変更ダイアログの仕上から、「内壁仕上マスタ選択」「床仕上マスタ選択」ダイアログを表示して、「仕上」「下地」の「名称」を確認できます。



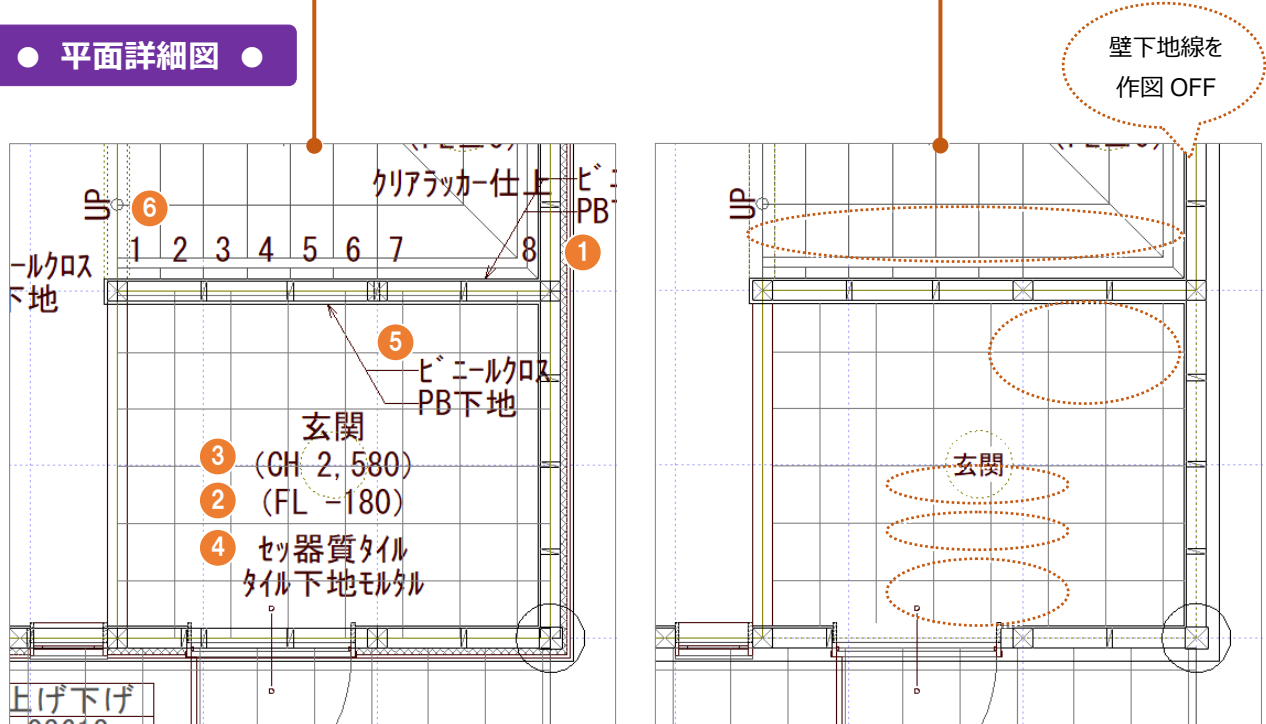
5-4 高さや仕上名称などの作図について確認しましょう

「平面詳細図専用初期設定」の「モード」で作図に関する設定ができます。作図が不要な項目はOFFにして平面詳細図を自動作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



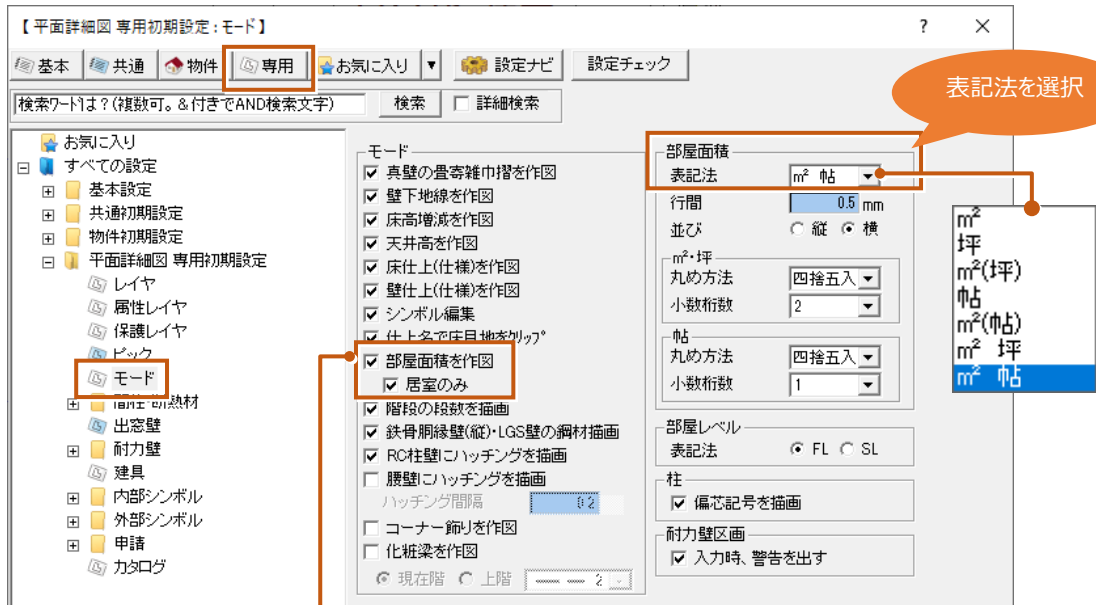
● 平面詳細図 ●



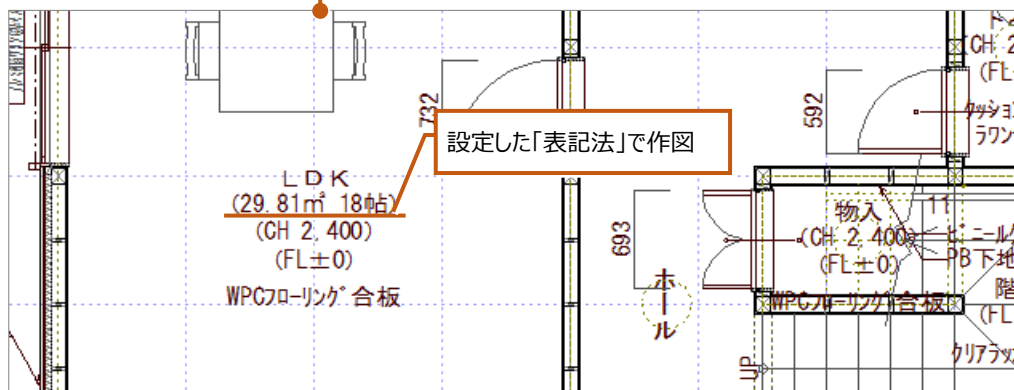
5-5 部屋面積の作図について設定を確認しましょう

「平面詳細図専用初期設定」の「モード」で「部屋面積を作図」を ON にして自動作成すると、部屋面積が作図されます。部屋面積の表記法については、同じ「平面詳細図専用初期設定」の「モード」の「部屋面積」で設定できます。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



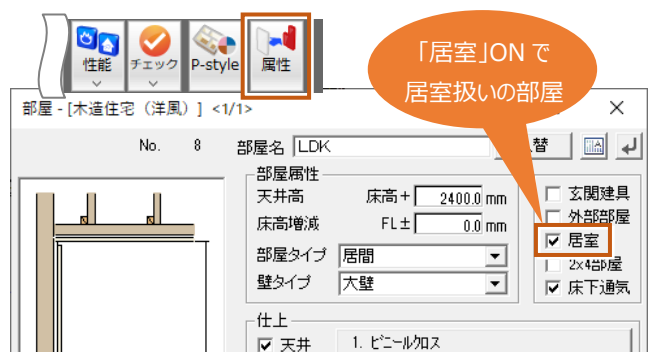
● 平面詳細図 ●



「部屋面積を作図」の「居室のみ」について

「居室のみ」の「居室」とは、部屋属性変更ダイアログの「居室」が ON の部屋をいいます。「属性変更」を選んで、部屋名をクリックすると部屋属性変更ダイアログが表示されるので確認できます。

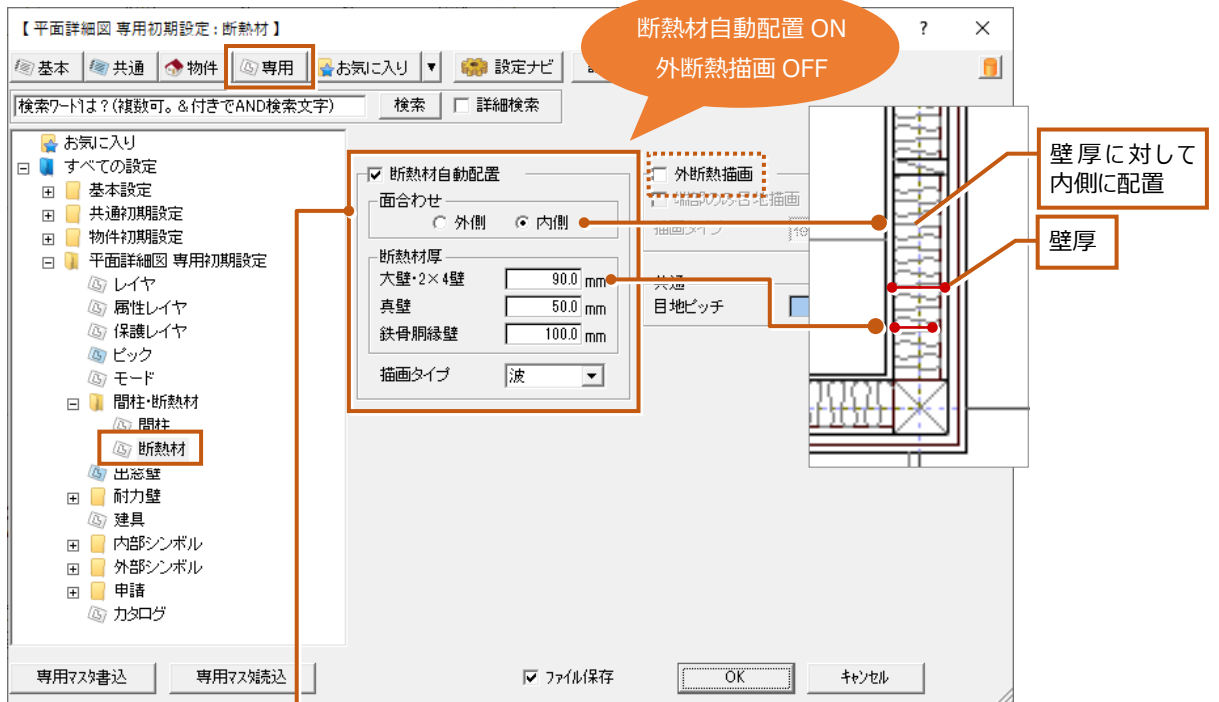
- 部屋面積を作図 居室のみ 「居室」が ON の部屋のみ部屋面積を作図します。
- 部屋面積を作図 居室のみ 入力した部屋全てに部屋面積を作図します。
- 部屋面積を作図 居室のみ 入力した部屋全ての部屋面積を作図しません。



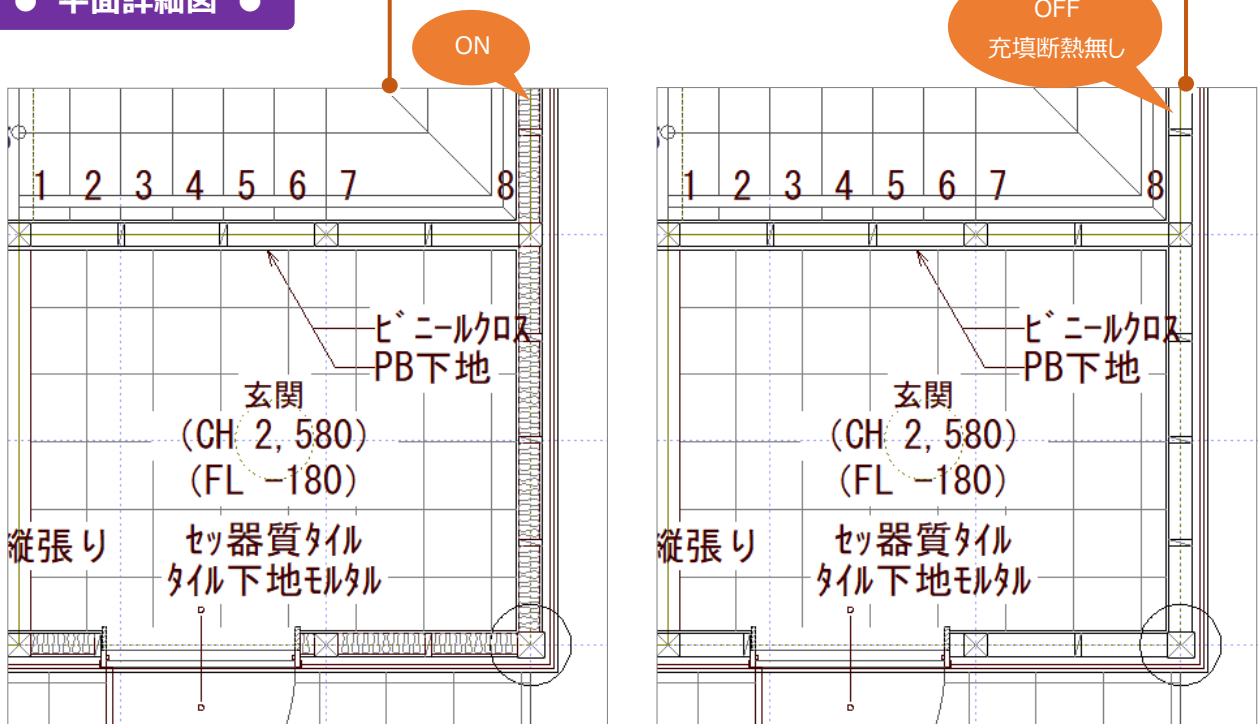
5-6 充填断熱の描画方法について確認しましょう

充填断熱の描画は、「平面詳細図専用初期設定」の「間柱・断熱材－断熱材」にある「断熱材自動配置」で設定します。
 充填断熱を描画しない場合は、OFF にして平面詳細図を自動作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



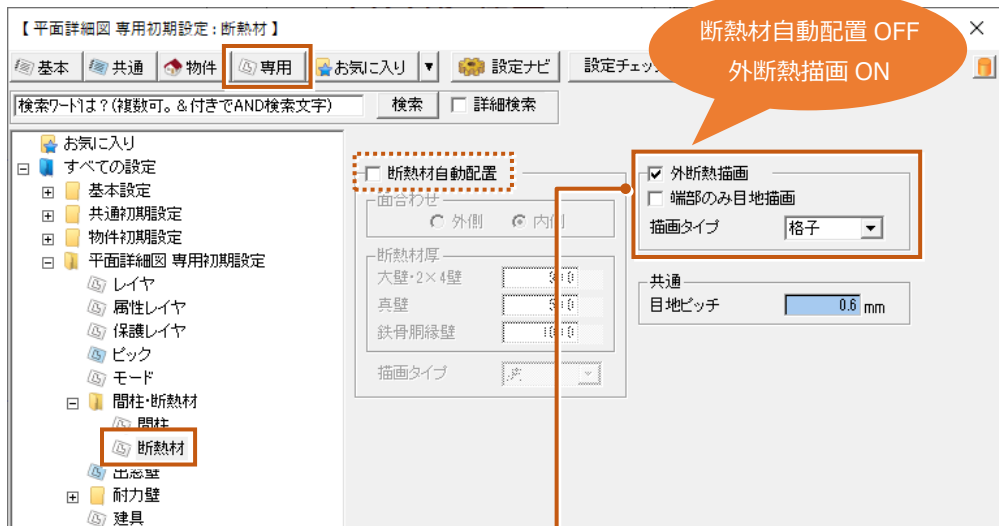
5-7 外断熱の描画方法について確認しましょう

平面詳細図で外断熱を描画するには、平面図で入力した外壁仕上の外断熱を ON にします。

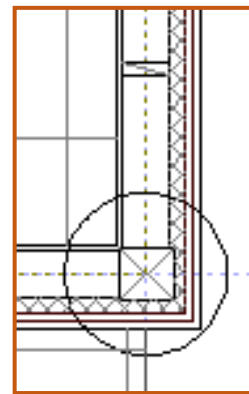
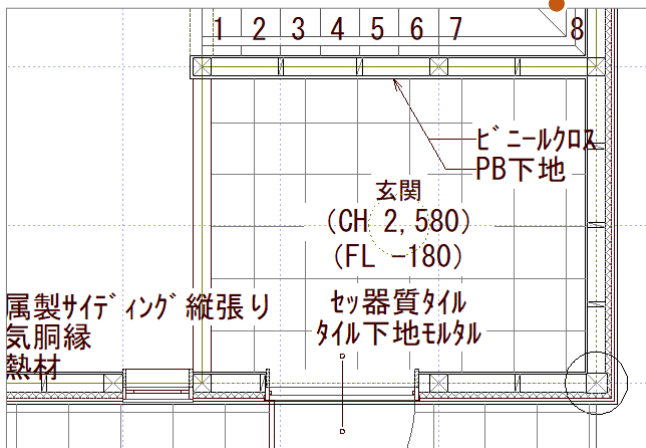
※ この操作については、平面詳細図を作成する前に「2-4 外断熱の厚さを設定しよう ⇒ P.23 参照」で外壁の外断熱の設定を確認し、平面図で外壁仕上を作成してください。

平面図で外壁仕上の外断熱の設定を確認後、**平面詳細図の「平面詳細図専用初期設定」の「間柱・断熱材－断熱材」にある「外断熱描画」の設定を ON にします。**描画しない場合は OFF にして平面詳細図を自動作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



【拡大図】

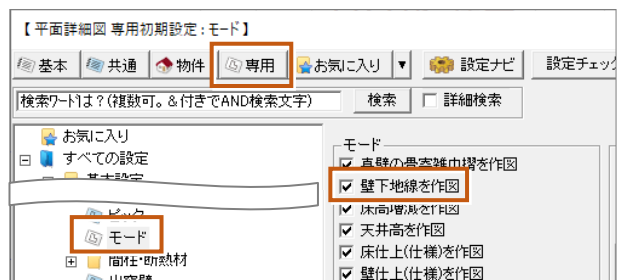
※ 断熱材の厚さや名称については、P.51 参照

注意！外断熱が描画されない

- 「平面詳細図専用初期設定：モード」の「壁下地線を作図」が ON になっているか確認してください。

外壁仕上で外断熱の設定があり、「平面詳細図専用初期設定：間柱・断熱材－断熱材」の「外断熱描画」が ON の場合でも、「壁下地線を作図」が OFF の場合は描画されませんのでご注意ください。

この設定を ON にして平面詳細図を作成してください。



補足

外壁仕上が外断熱の設定になっているか確認する方法について

外壁仕上の属性変更ダイアログを表示して、外断熱の設定になっているか確認します。

「2-4 外断熱の厚さを設定しよう ⇒ P.23 参照」で事前に外断熱を設定して平面図を作成した場合は、外壁仕上の属性変更ダイアログを表示すると「外断熱」が ON、「厚さ」には「物件初期設定」の「外断熱」で設定した値がセットされます。

● 平面図 ●

「属性別選択」をクリック

「属性変更」をクリック

「外壁仕上」を選んで「OK」をクリック

外断熱工法の場合は ON

「OK」をクリックして、一面ずつ外壁仕上を確認できます。

外壁の外断熱の厚さと名称について

外壁仕上を自動作成したときにセットされる外断熱の断熱材の「厚さ」は、「物件初期設定：外断熱」の「厚さ」で設定した値が連動します。名称についても同様です。

【物件初期設定：外断熱】

基本 共通 物件 専用 お気に入り 設定ナビ 設定チェック

検索ワードは？(複数可。&付きでAND検索文字) 検索 詳細検索

すべての設定

- 基本設定
- 共通初期設定
- 物件初期設定
 - マスター環境
 - 基準高さ情報
 - 素材
 - CAD関連
 - 性能・地域条件
 - 外部標準
 - 外断熱
- 建具マスタ
- 柱・基礎・東
- 壁
- 建具
- 階段・手摺

【仕上げ】

外断熱工法 屋根

外壁 通気層

屋根 断熱材

外壁断熱材

厚さ 35.0 mm

名称 断熱材

屋根通気層

厚さ 25.0 mm

名称 通気層

屋根断熱材

厚さ 50.0 mm

名称 断熱材

【建具】

受け材

平面図で入力する外壁仕上の「外断熱」の「厚さ」に連動します。

「名称」は、平面詳細図で壁仕上（仕様）を作図する場合に、設定した名称が連動します。

サディング 横張り

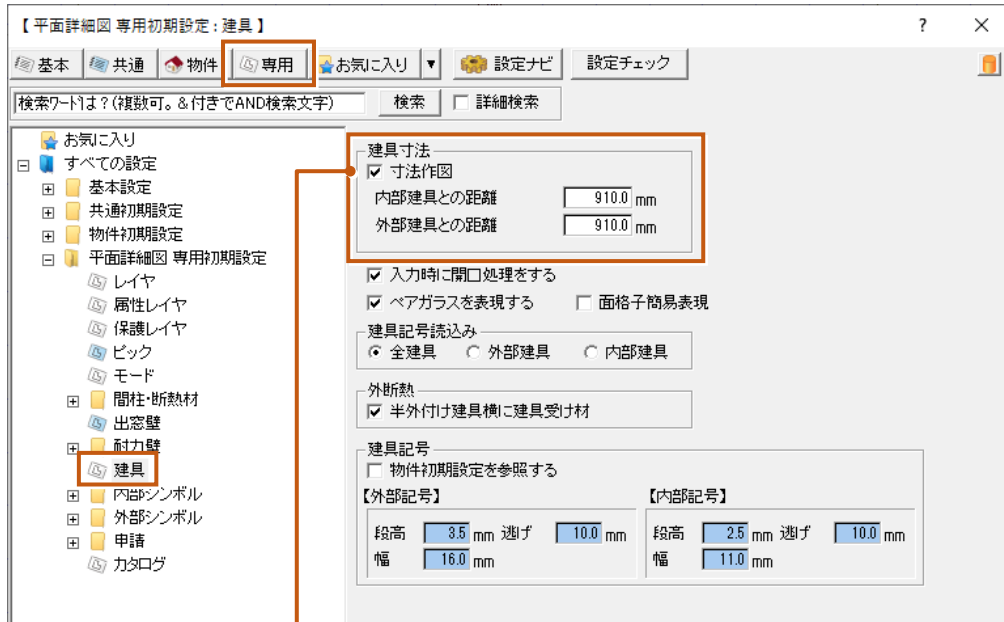
通気層

断熱材

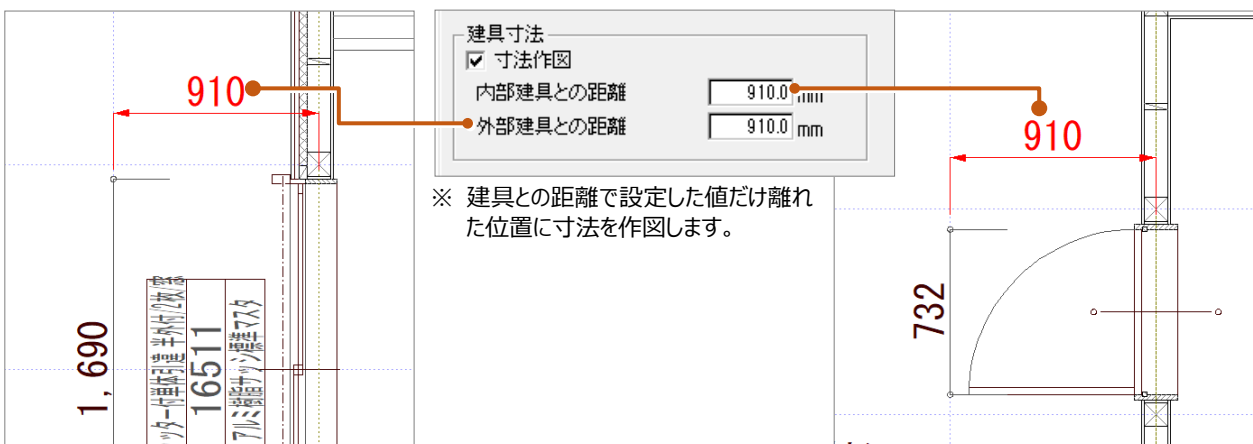
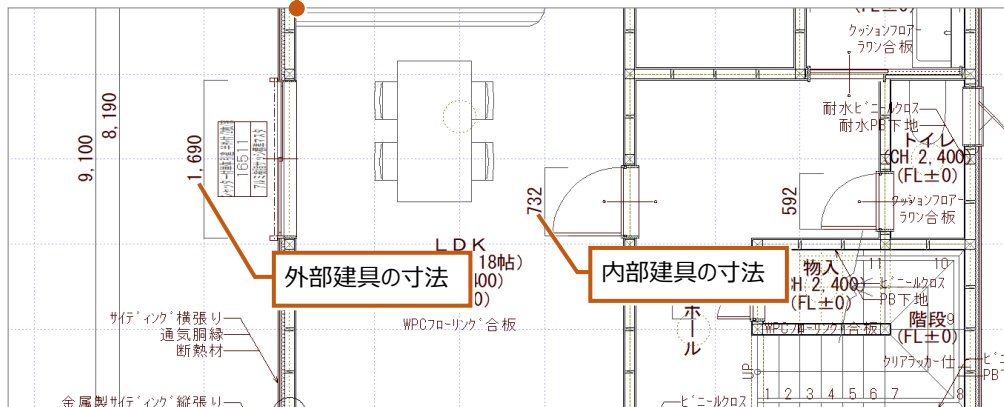
5-8 建具寸法の作図について設定を確認しましょう

建物外部と内部の建具幅の寸法を作図するときは、「平面詳細図専用初期設定」の「建具」で「建具寸法」の「寸法作図」を ON にします。建具寸法の作図が不要なときは OFF にして、平面詳細図を再作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



5-9 建具記号の描画方法を確認しましょう

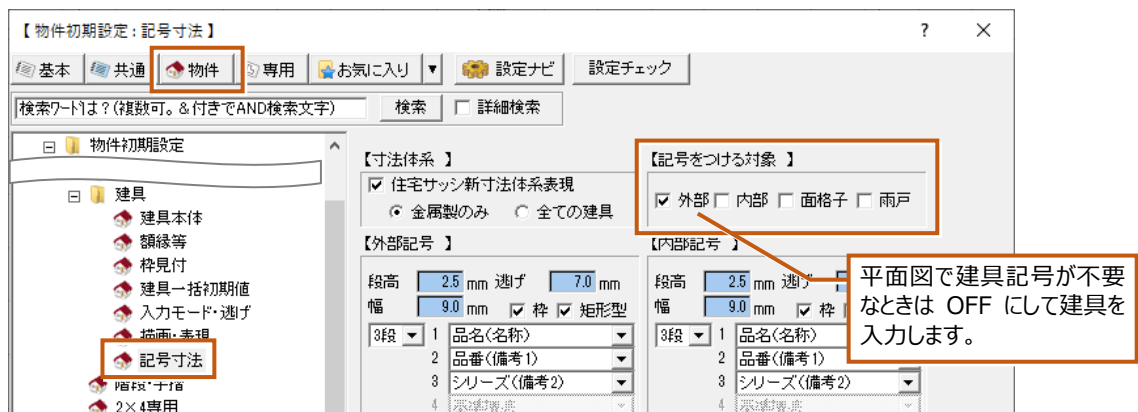
建具記号は、平面図で描画している場合は平面詳細図で自動作成をすると同時に建具記号も描画されます。平面図で建具記号を描画していない場合は、平面詳細図を自動作成しても描画されません。

ここでは、**平面図では建具記号を描画しないで平面詳細図のみ建具記号を描画する方法について解説します。**



平面図で建具記号を描画する場合

「物件初期設定：建具－記号寸法」の【記号をつける対象】で「外部」が ON の場合は、外部建具の入力と同時に建具記号が描画されます。



平面詳細図でのみ建具記号を描画する場合

平面図は閉じて平面詳細図のみ開いた状態で操作します。これはリアルタイム連動が有効になっている場合に、平面図も開いた状態で平面詳細図に建具記号を描画すると、平面図にも建具記号が描画されてしまうためです（⇒リアルタイム連動については、P.46 参照）。平面図を閉じたら建具記号を描画したい建具を選んで建具の属性変更ダイアログの「記号」をONにして描画します。ここでは、建具の種別ごとに一括で建具記号を描画する方法を解説します。

● 平面詳細図 ●

「属性別選択」をクリック

「属性変更」をクリック

「建具（金属窓）を選んで「OK」をクリック

「記号」をONにして「一括」をクリック

「記号 (ON/OFF)」を選択して「OK」をクリック

金属窓に建具記号が一括で描画

「属性変更」で建具を選んで、個別に建具記号を描画することもできます。

「属性」をクリック

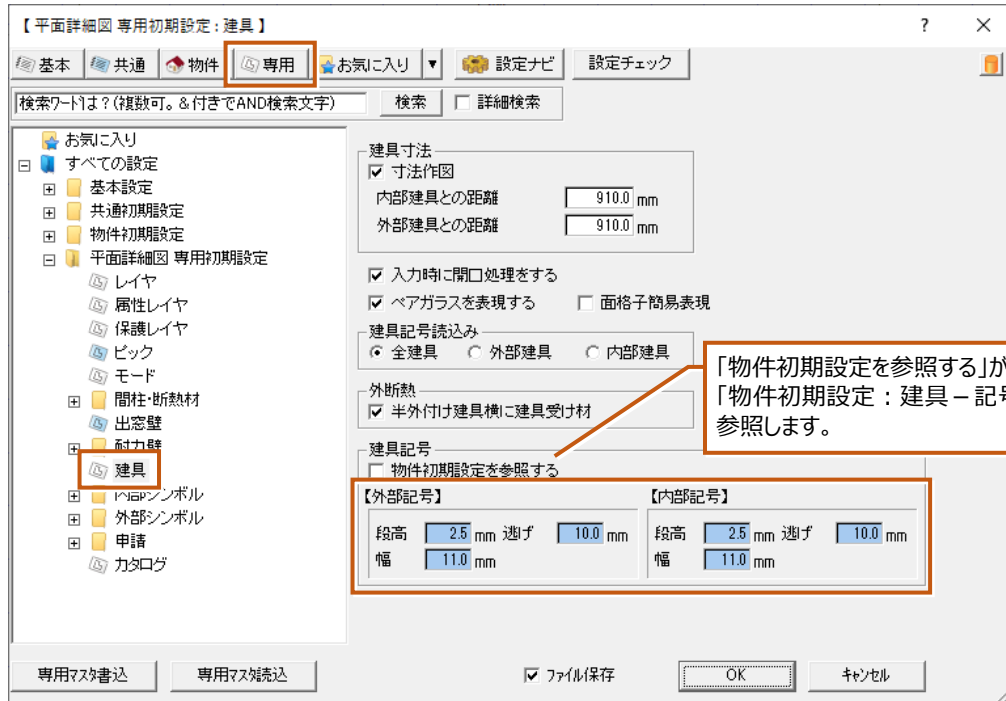
「記号」をクリック

OK

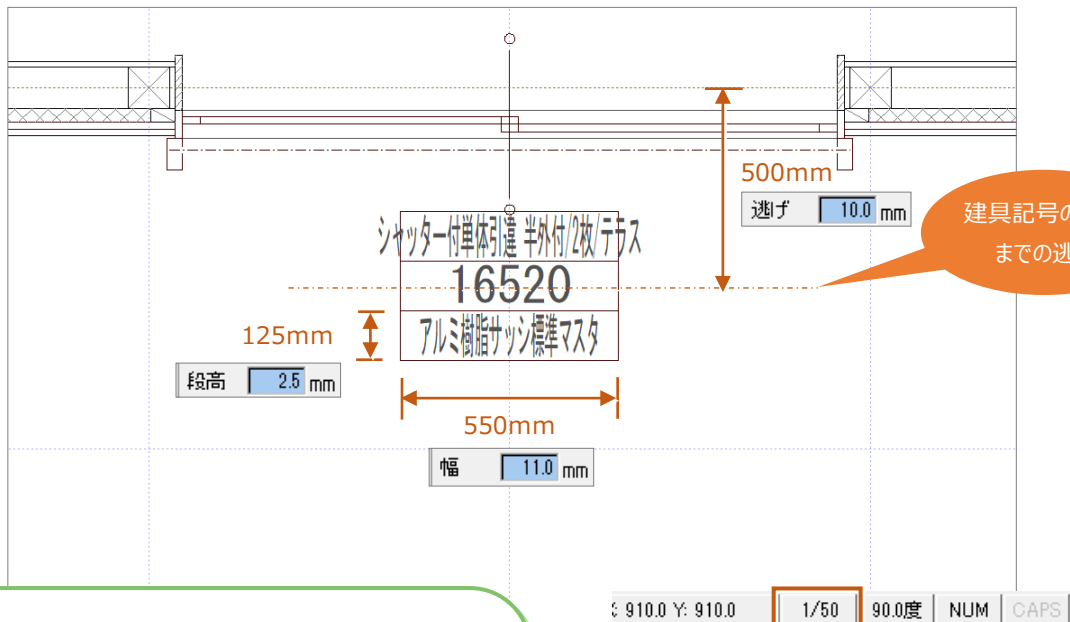
建具記号のサイズについて

建具記号のサイズは、「平面詳細図専用初期設定」の「建具」で外部・内部記号の各値を設定して調整できます。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



背景が水色の項目について

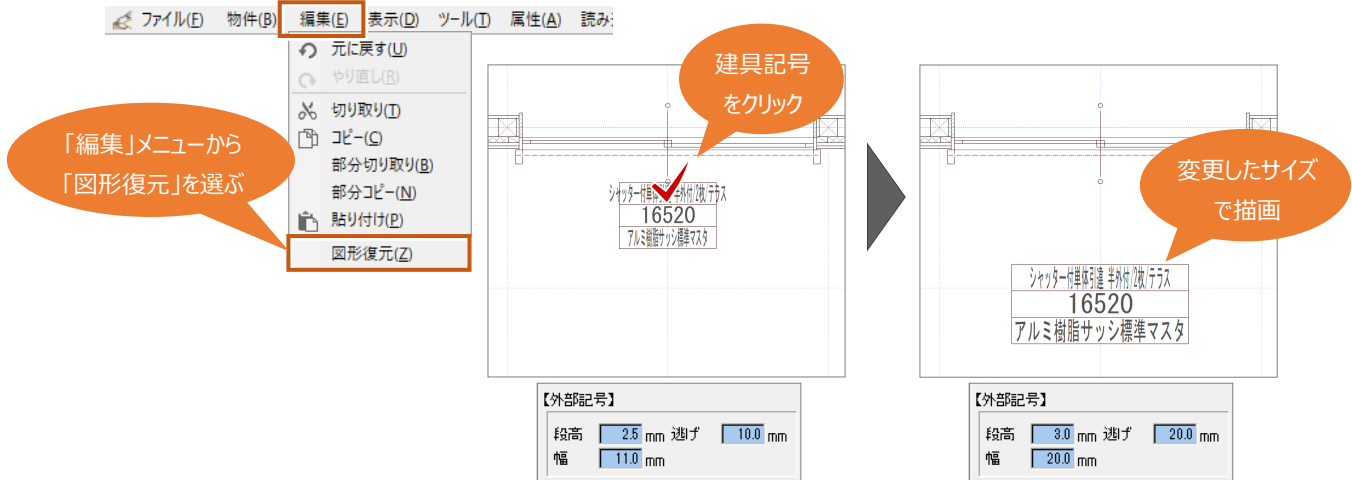
項目によっては、印刷時の寸法を設定する場合があります。この項目には、背景が**水色**で表示されています。

例えば、CAD のスケールが「1/50」のとき、印刷時の実寸「11.0mm」を設定すると、CAD では 550mm (11mm×50) の寸法になり、印刷すると「11mm」の寸法になります。

補足

設定で建具記号のサイズを変更した場合

設定を変更した場合は、平面詳細図をもう一度自動作成すると図面に反映されますが、ここでは**自動作成はせずに「図形復元」を使って図面に反映する方法**を紹介します。



5-10 自社用マスタの登録方法を確認しましょう

ZERO では、プログラムごとに「専用初期設定」があります。設定を変更し自社用マスタとして登録可能ですが、その手順は各プログラムの「専用初期設定」で同じです。手順などは、以下の参照先にてご確認ください。

また、「物件初期設定」についても変更した設定内容を自社用マスタとして物件マスタ登録する場合は、以下の参照先にてご確認ください。

自社用の図面専用のマスタとして登録する

専用マスタの登録手順については、「立面図」の P.44 を参照してください。

自社用のマスタとして物件マスタ登録する

物件マスタの登録手順については、「立面図」の P.43 を参照してください。

マスタ作成に関する詳しい操作はこちらでチェック！



自社マスタ作成編 「自社用の物件マスタ、専用マスタの作成」 P.16～P.22参照

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/manual/81_master.html

6 矩計図

6-1 矩計図を自動作成してみよう

矩計図を開いて図面を自動作成してみよう。ここでは、平面図から矩計図を開いて作成します。

「矩計図オープン」からも開くことができます。

「他の処理図面を開く」から開く

ダブルクリック

1面を選んで OK

「切断」をクリック

1階を選んで OK

【平面図】

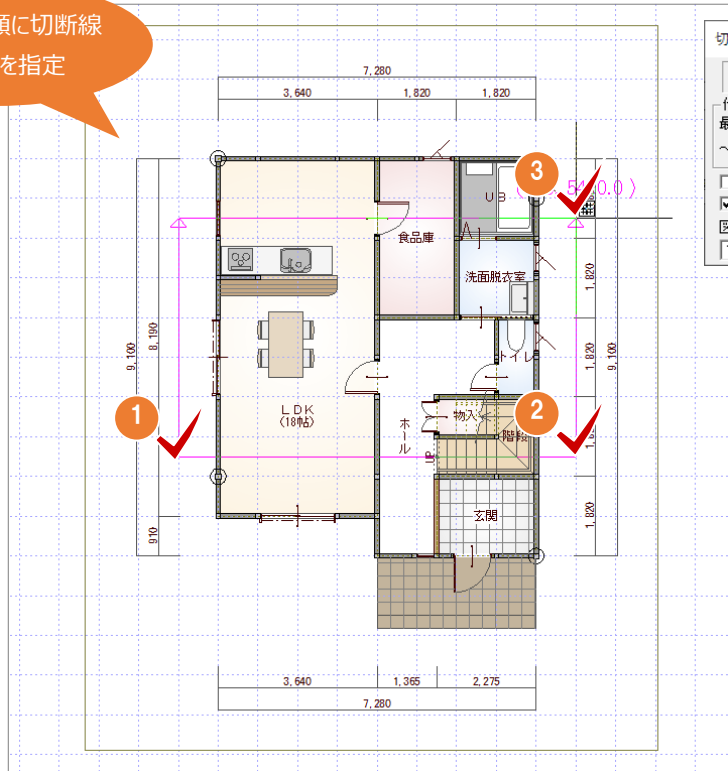
図面選択 - <矩計図>

図面一覧

図面選択 - <平面図>

図面一覧

①～③の順に切断線の位置を指定



切断線

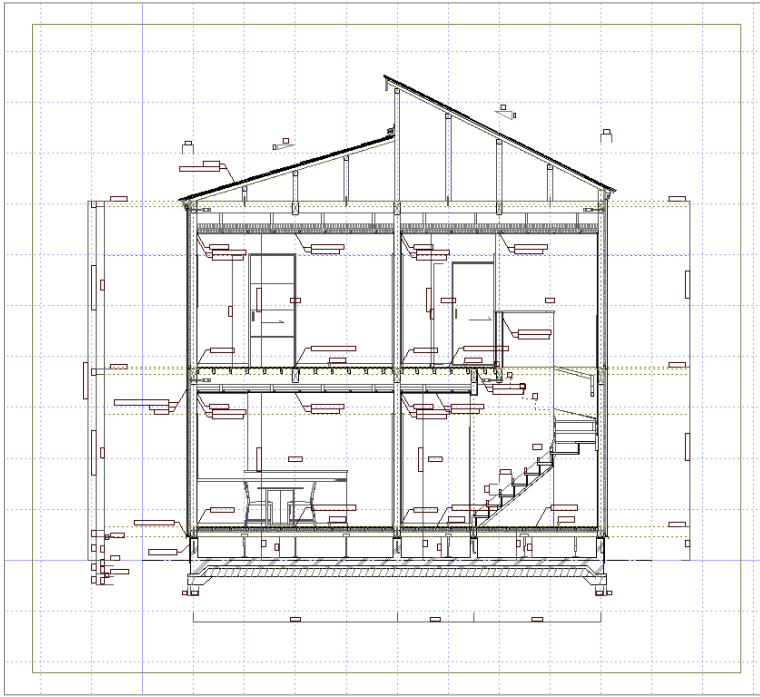
基準なし 基準指定

作成階
最下階 1階
～最上階 F階

クランク 自動立上

縦横固定入力

図面名
1面 矩計図



【矩計図】

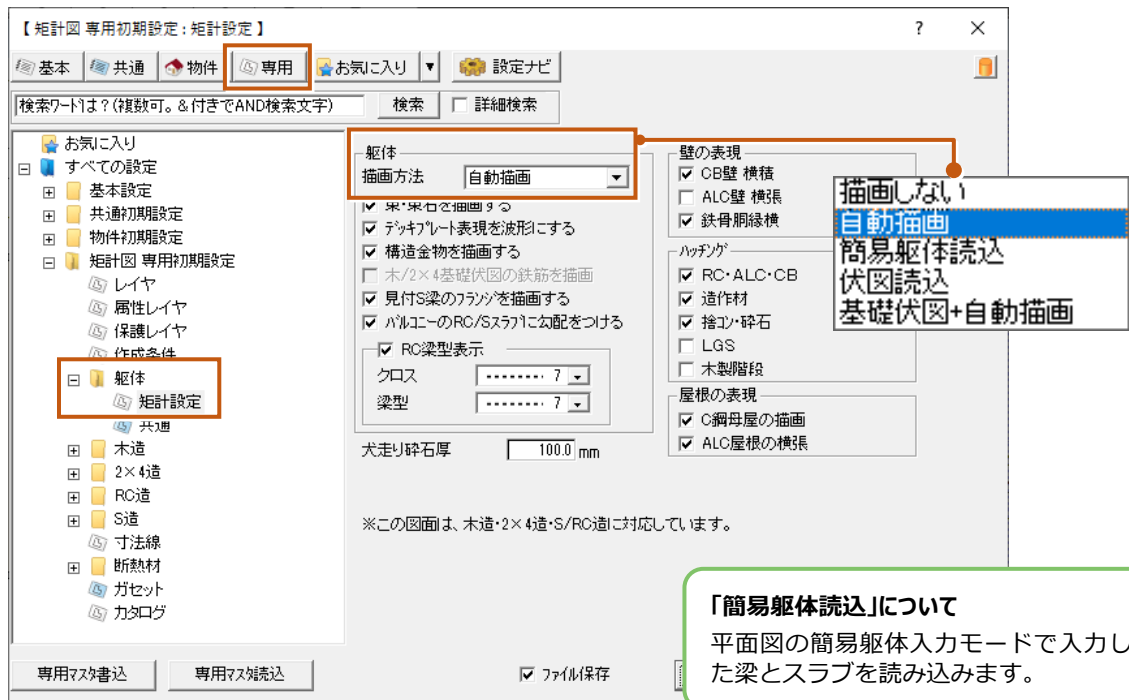
6-2 矩計図で躯体の描画方法を確認しましょう

矩計図の躯体の描画方法には大きく2通りあります。

1つ目は伏図のデータは使用せず、基本図面から矩計図を作成する方法。2つ目は基礎伏図や床小屋伏図を作成し、伏図のデータを読み込んで矩計図を作成する方法です。

どちらの方法で躯体を描画するか最初に設定する必要があります。「矩計図専用初期設定」の「躯体-矩計設定」の「描画方法」で設定します。

● 矩計図専用初期設定 ●



1つ目の伏図データは使用しないで基本図面から矩計図を作成する場合は、描画方法を「自動描画」にします。

- 躯体は「専用初期設定」の「木造」「2×4造」「RC造」「S造」で設定した条件で描画します。⇒ P.63 参照)



2つ目の基礎伏図や床小屋伏図など伏図のデータを読み込んで作成する場合は、描画方法を「伏図読込」や「基礎伏図+自動描画」にします。

- 構造図に入力した躯体を読み込んで描画します。



- 基礎部分のみ基礎伏図から読み込み、上部躯体は「自動描画」と同じ条件で描画します。



ここでは、1つ目の伏図データは使用しないで基本図面から矩計図を作成する方法で解説します。

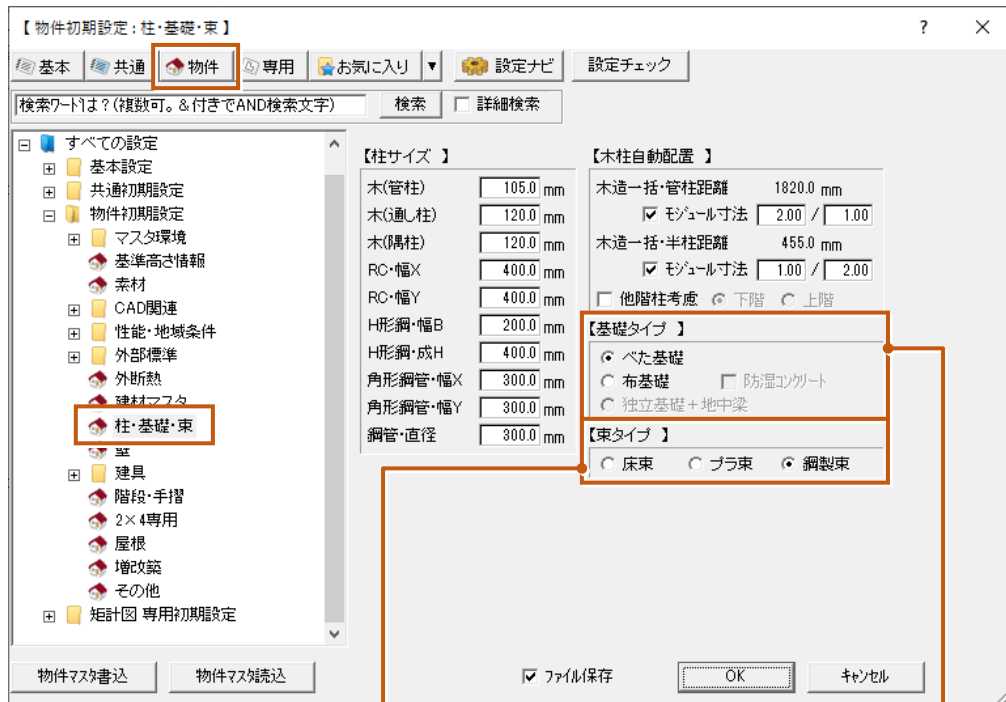
6-3 基礎と束のタイプを確認しましょう（自動描画）

ここでは、伏図データは使用しないで基本図面から矩計図を作成する方法で解説します。

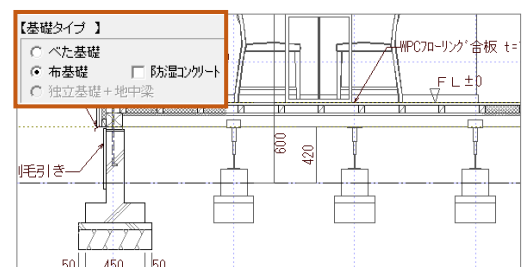
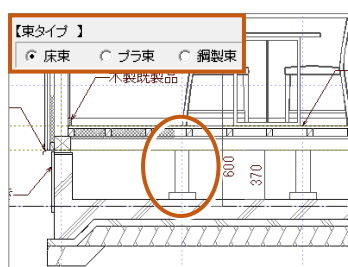
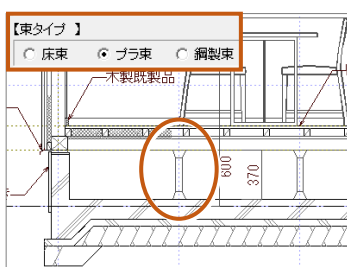
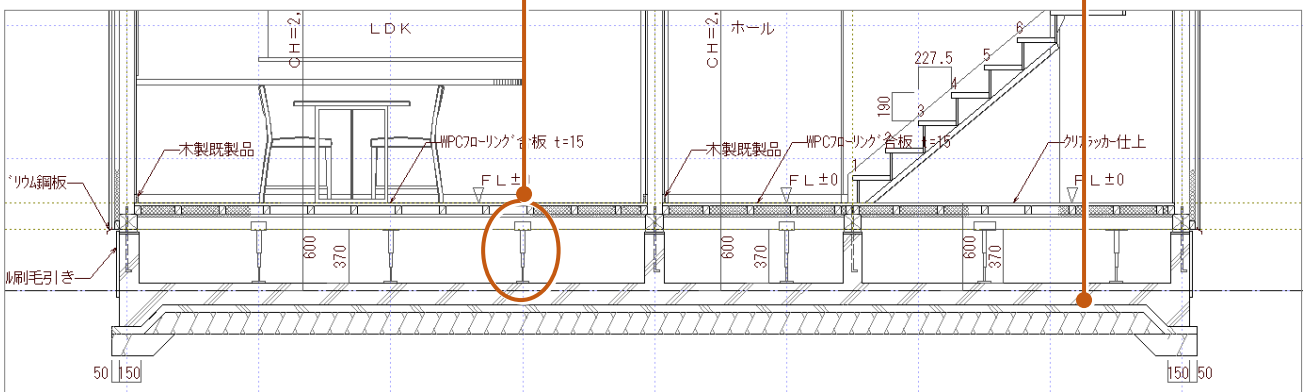
躯体の描画方法が「自動描画」の場合、基礎については「物件初期設定」の「柱・基礎・束」の「基礎タイプ」が連動します。束は「束タイプ」で設定します。

なお、基礎や束の形状については「矩計図専用初期設定」で設定します。⇒ 基礎の形状 P.63、束の形状 P.69 参照

● 物件初期設定 ●



● 矩計図 ●





補足


描画方法が「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」の場合の基礎と束のタイプについて

躯体の描画方法を「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」にした場合、基礎と束の連動元は以下になります。基礎タイプや束タイプに変更があった場合は連動元となる図面や設定をご確認ください。その後、矩計図を再作成してください。

躯体
描画方法 伏図読込

- 基礎タイプ…  基礎伏図で入力している基礎を読み込んで描画
- 束タイプ…  床伏図で入力している束を読み込んで描画
※ 床伏図に束を入力していない場合は矩計図に描画されません。

躯体
描画方法 基礎伏図+自動描画

- 基礎タイプ…  基礎伏図で入力している基礎を読み込んで描画
- 束タイプ… **「物件初期設定」の「柱・基礎・束」の「束タイプ」で描画**

6-4 基礎の形状を確認しましょう（自動描画）

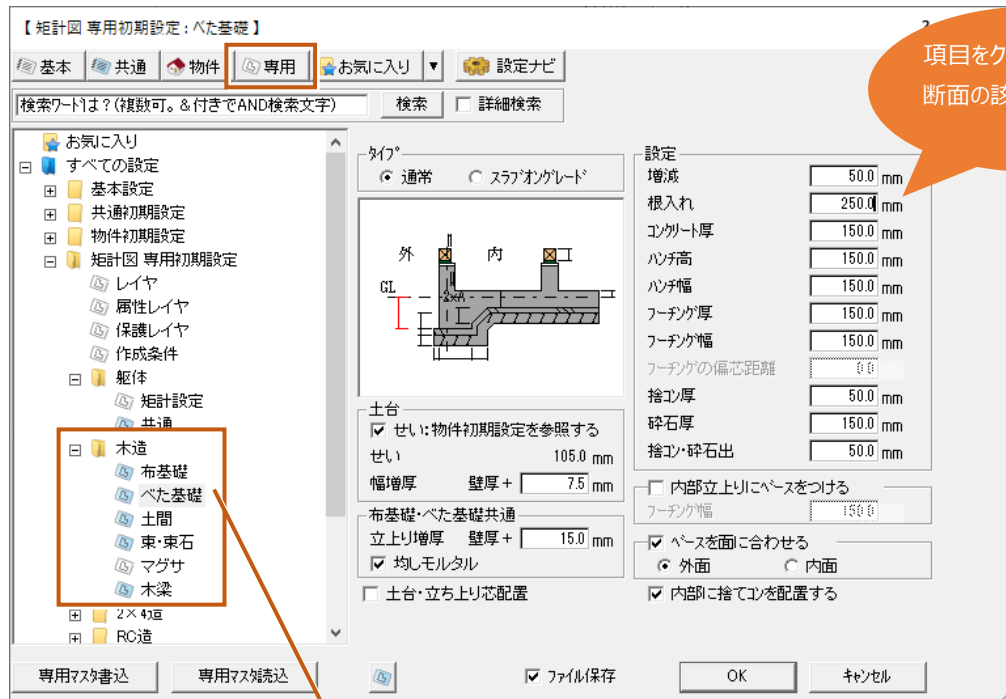
ここでは、伏図データは使用しないで基本図面から矩計図を作成する方法で解説します。

躯体の描画方法が「自動描画」の場合は、「矩計図専用初期設定」の「木造」「2×4造」「RC造」「S造」で設定した条件で基礎を描画します。

「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した1階の「構造」や、同じ「物件初期設定」の「柱・基礎・束」で設定した「基礎タイプ」から、「矩計図専用初期設定」で該当する構造のフォルダより基礎のタイプを選んで基礎の形状を確認しましょう。

ここでは、「矩計図専用初期設定」の「木造－べた基礎」を選んで、べた基礎の形状を確認します。設定画面の「設定」の値をクリックすると断面で該当箇所が赤く表示されるので、確認しながら各項目の値を設定していきます。

● 矩計図専用初期設定 ●



「物件初期設定：柱・基礎・束」の「基礎タイプ」で設定した基礎のタイプを選んで基礎形状を確認します。
⇒ P.61 参照

「矩計図専用初期設定」の「木造」「2×4」「RC造」「S造」のフォルダについて

「物件初期設定：基準高さ情報」で設定した1階の構造と同じ構造のフォルダの設定が有効になります。

例えば、1階の構造が「木」の場合は「矩計図専用初期設定」の「木造」フォルダ内にある項目について設定を行い、その内容で描画されます。

※ プログラムを購入されていない構造については、設定しても描画されませんのでご注意ください。

階	軒高	床厚	階高	窓高	構造
RF		30.0		1000.0	木
2F	3000.0	30.0	2970.0	2000.0	木
1F	3000.0	75.0	2850.0	2000.0	木

【物件初期設定：基準高さ情報】



【矩計図専用初期設定】

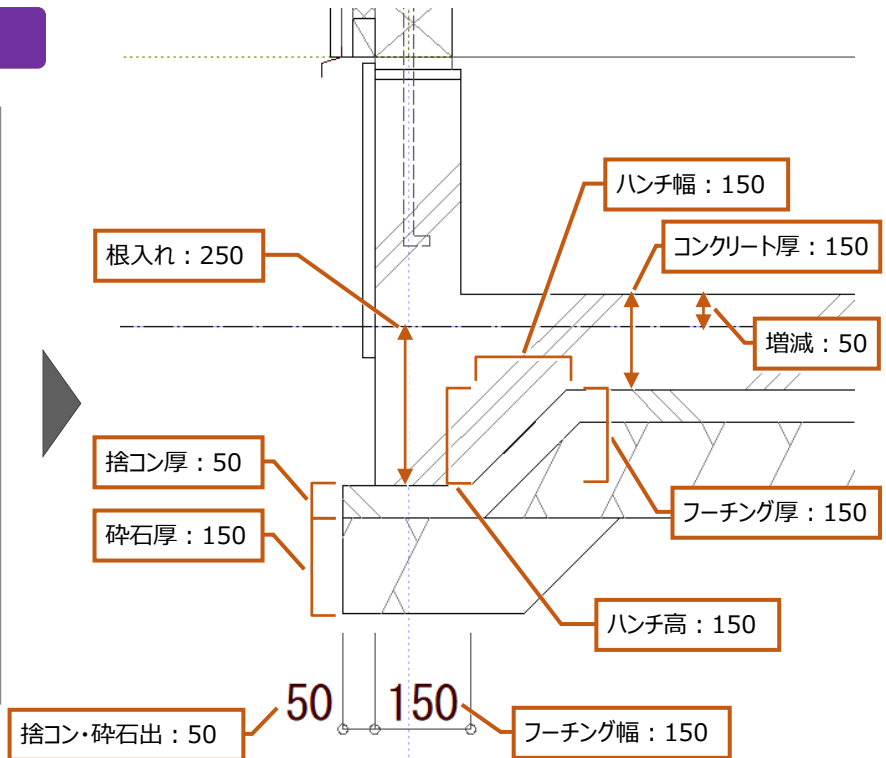
基礎の形状設定について：例

「矩計図専用初期設定」の「設定」で以下のような値を設定して、矩計図を作成したときのべた基礎の作図例です。

※「設定」の「ベースを面に合わせる」が ON の場合は、「フーチングの偏芯距離」を設定することはできません。

● 矩計図専用初期設定 ●

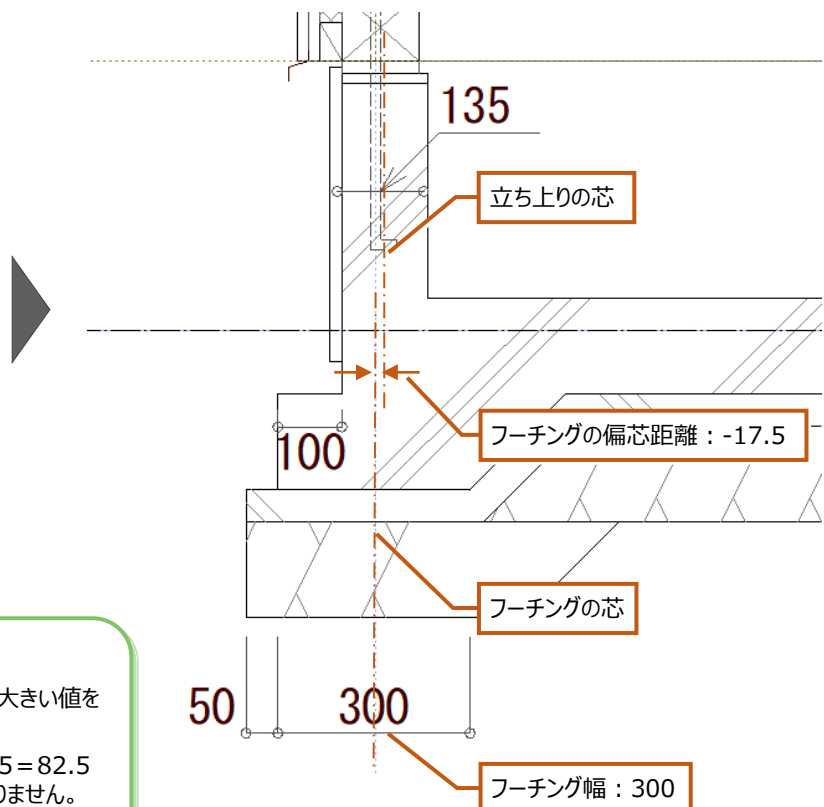
設定	
増減	50.0 mm
根入れ	250.0 mm
コンクリート厚	150.0 mm
ハンチ高	150.0 mm
ハンチ幅	150.0 mm
フーチング厚	150.0 mm
フーチング幅	150.0 mm
フーチングの偏芯距離	0.0 mm
捨コン厚	50.0 mm
碎石厚	150.0 mm
捨コン・碎石出	50.0 mm
<input type="checkbox"/> 内部立上りにベースをつける	
フーチング幅	150.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/> ベースを面に合わせる	
<input checked="" type="radio"/> 外面 <input type="radio"/> 内面	
<input checked="" type="checkbox"/> 内部に捨てコンを配置する	



「ベースを面に合わせる」を OFF にして、「フーチングの偏芯距離」を設定した場合のべた基礎の作図例です。

ここでは、基礎の立ち上り幅を「135」、フーチング幅を「300」、フーチングの偏芯距離を「-17.5」に設定しています。

設定	
増減	50.0 mm
根入れ	250.0 mm
コンクリート厚	150.0 mm
ハンチ高	150.0 mm
ハンチ幅	150.0 mm
フーチング厚	150.0 mm
フーチング幅	300.0 mm
フーチングの偏芯距離	-17.5 mm
捨コン厚	50.0 mm
碎石厚	150.0 mm
捨コン・碎石出	50.0 mm
<input type="checkbox"/> 内部立上りにベースをつける	
フーチング幅	150.0 mm
<input type="checkbox"/> ベースを面に合わせる	
<input checked="" type="radio"/> 外面 <input type="radio"/> 内面	
<input checked="" type="checkbox"/> 内部に捨てコンを配置する	



「フーチングの偏芯距離」の値について

フーチング幅/2 から立ち上り幅/2 を引いた値より大きい値を設定しても描画に変化はありません。

例：300/2 = 150、135/2 = 67.5、150 - 67.5 = 82.5
82.5 より大きい値を設定しても描画に変化はありません。

また、プラスとマイナスで値を設定できます。これによってフーチングの芯より左右どちらの方向にずらすかを設定できます。

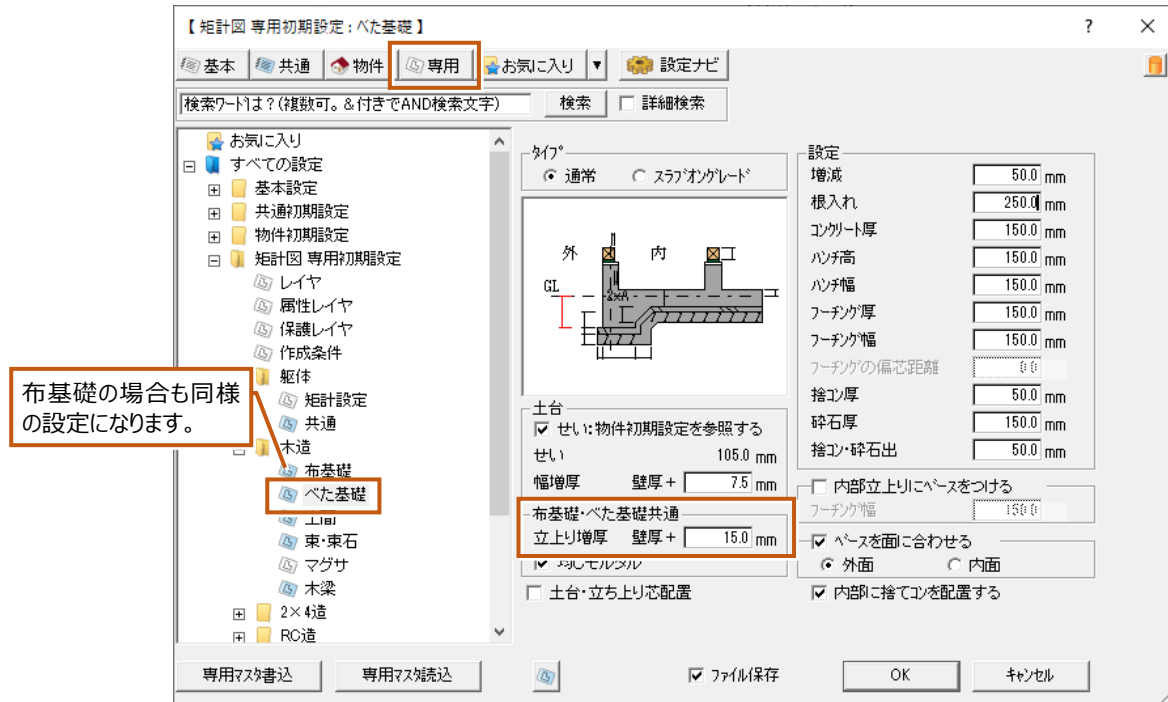
基礎の立ち上がり幅について

基礎の立ち上がり幅は、「壁厚」と「立ち増厚」で設定する「値」から寸法が決まります。

「壁厚」は平面図で入力している壁を属性変更したときに表示される「壁厚」です。切断線の位置にある壁厚をご確認ください。そして、「値」については「設定値×2」をプラスします。

以下は、壁厚を「105」、値を「15」で設定して矩計図を自動作成した場合の基礎の立ち上がり幅です。

● 矩計図専用初期設定 ●



● 平面図 ●

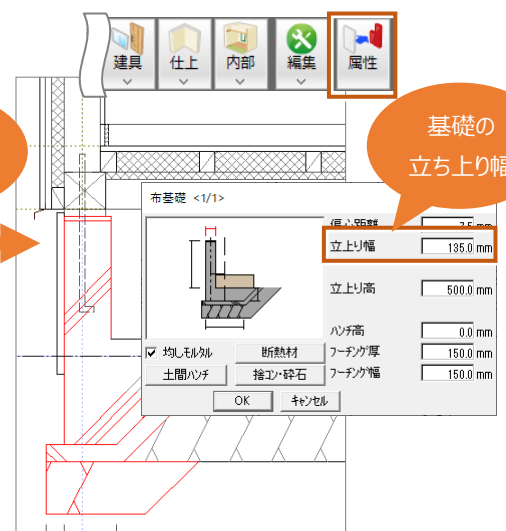


+

15.0 mm

→

● 矩計図 ●



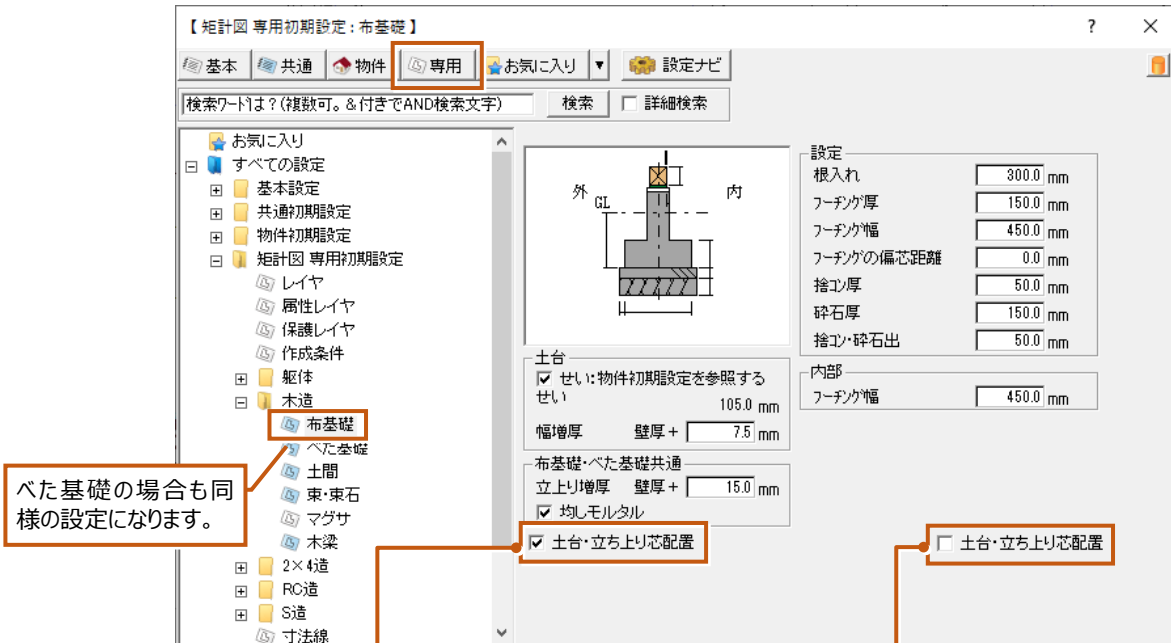
【例】
壁厚「105」で、基礎の立ち上がり幅を「150」にする場合は、設定値を「22.5」にします。

基礎の立ち上りの芯振りについて

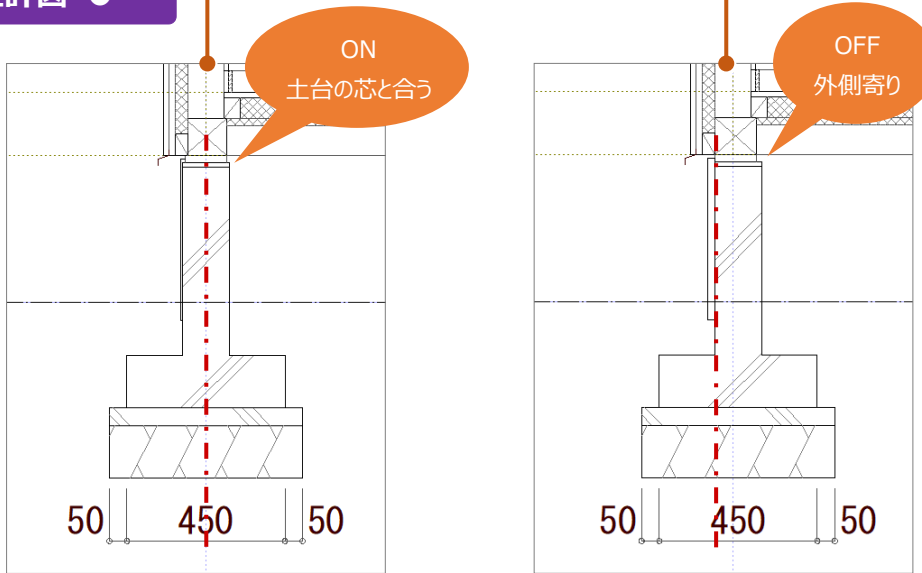
基礎の立ち上りの芯振りは、「土台・立ち上り芯配置」で設定します。

土台の芯と立ち上りの芯を合わせるときは ON にします。OFF のときは外側寄りになります。ここでは布基礎を例に ON・OFF の描画の違いをご確認ください。

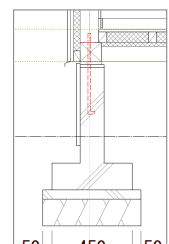
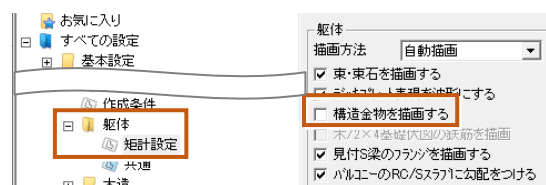
● 矩計図専用初期設定 ●



● 矩計図 ●



※ ここでは、「矩計図専用初期設定：躯体－矩計設定」の「躯体」で「構造金物を描画する」は OFF で作成しています。



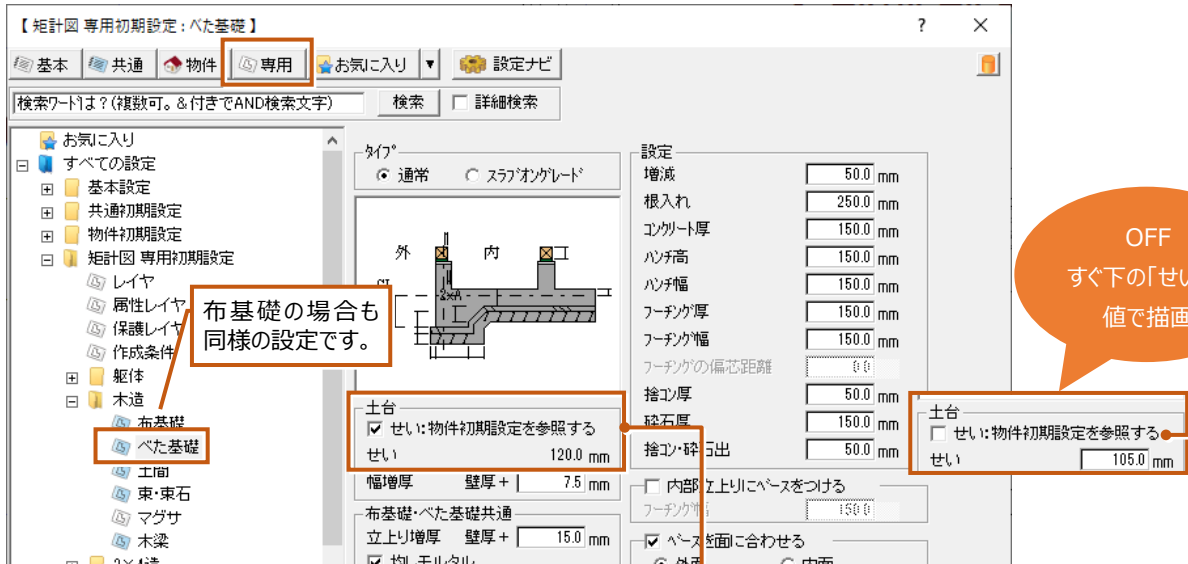
【ON のとき】

土台のせいについて

土台のせいは、「物件初期設定を参照する」が ON の場合は、「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した「土台せい」で描画します。OFF にした場合は、項目のすぐ下にある「せい」の値で描画します。

ここでは、「物件初期設定」の「土台せい」を「120」に設定し、「矩計図専用初期設定」の「せい」は「105」で設定した場合を例に ON と OFF の描画の違いをご確認ください。

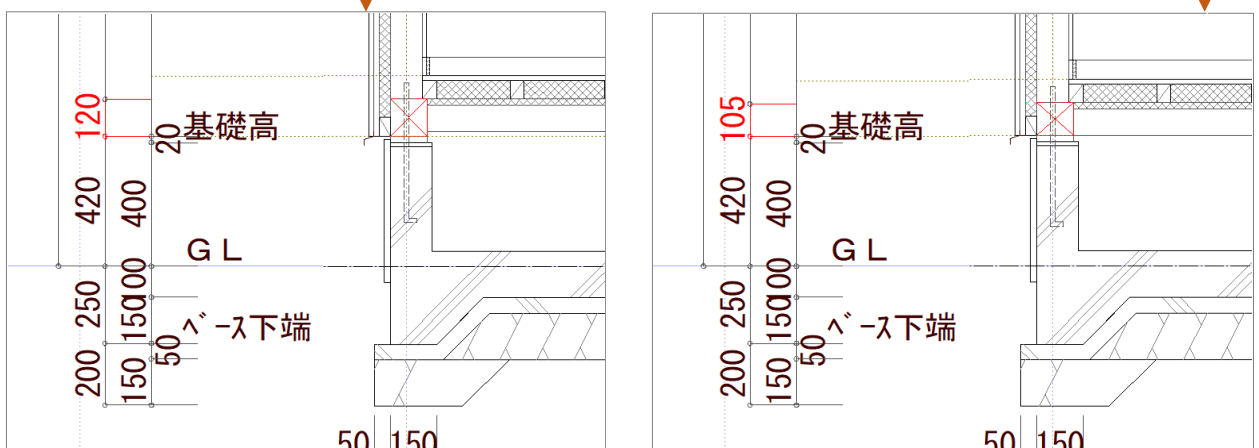
● 矩計図専用初期設定 ●



● 物件初期設定 ●



● 矩計図 ●



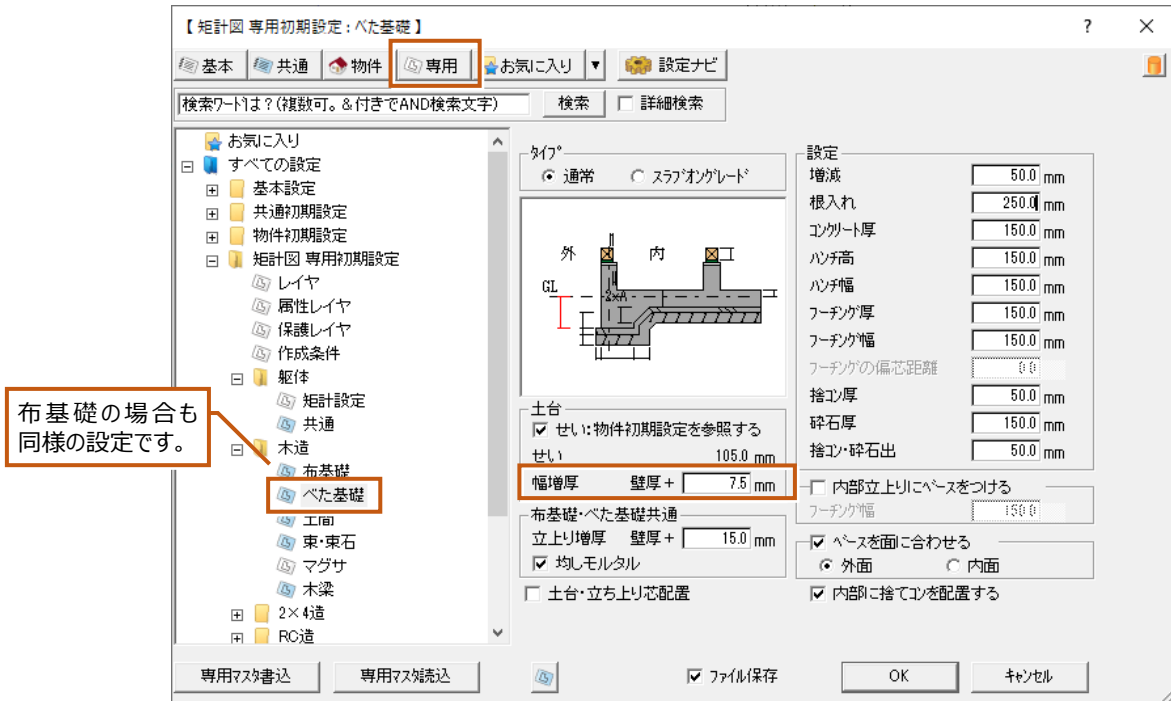
土台の幅について

土台の幅は、「壁厚」と「幅増厚」で設定する「値」から寸法が決まります。

「壁厚」は平面図で入力している壁を属性変更したときに表示される「壁厚」です。切断線の位置にある壁厚をご確認ください。そして、「値」については「設定値×2」をプラスします。

以下は、壁厚を「105」、値を「7.5」で設定して矩計図を自動作成した場合の土台の幅です。

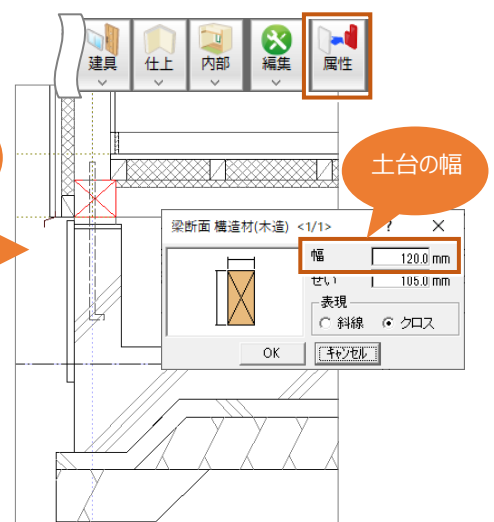
● 矩計図専用初期設定 ●



● 平面図 ●



● 矩計図 ●



【例】
壁厚「105」で、土台の幅も「105」にする場合は、設定値を「0」にします。

6-5 束の形状を確認しましょう（自動描画）

ここでは、伏図データは使用しないで基本図面から矩計図を作成する方法で解説します。

躯体の描画方法が「自動描画」の場合は、「矩計図専用初期設定」の「木造」「2×4造」「RC造」「S造」で設定した条件で束を描画します。

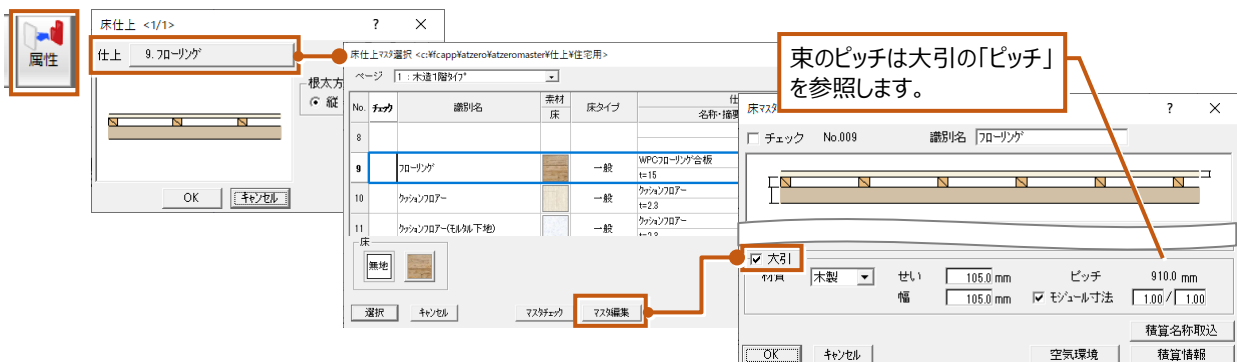
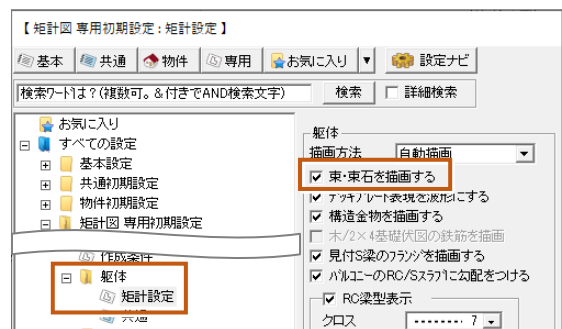
「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した1階の「構造」や、同じく「物件初期設定」の「柱・基礎・束」で設定した「束タイプ」から、「矩計図専用初期設定」で該当する構造のフォルダより「束・束石」を選んで束の形状を確認しましょう。

● 矩計図専用初期設定 ●



注意！束が描画されない（描画方法：自動描画の場合）

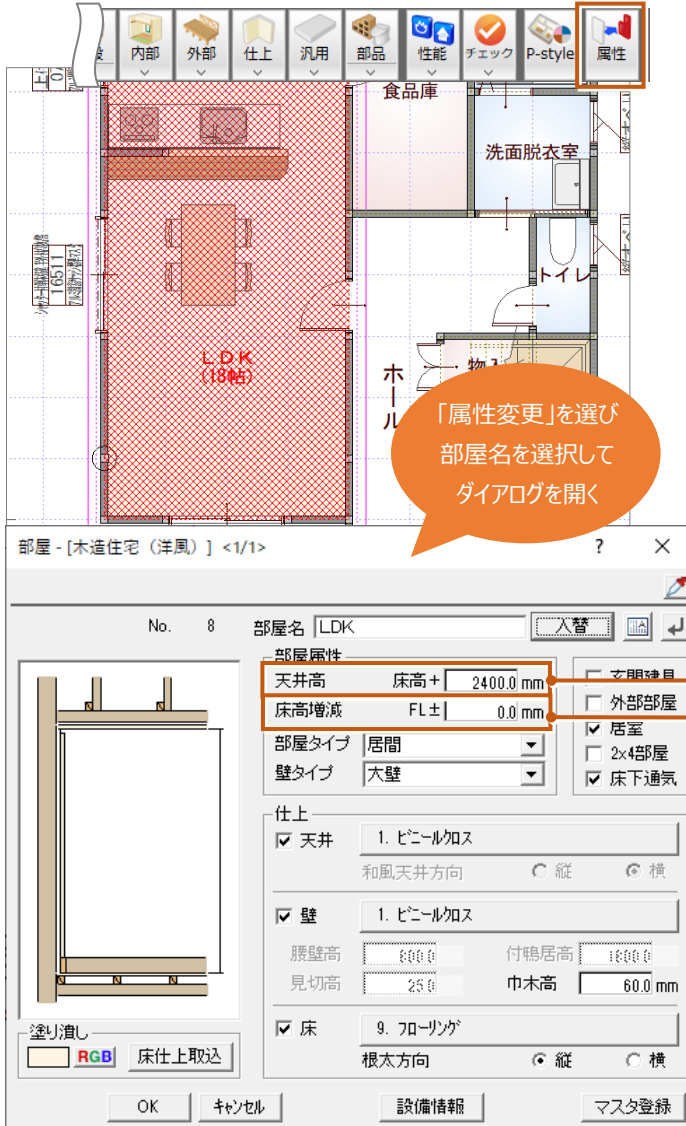
- 「矩計図専用初期設定：躯体－矩計設定」の「束・束石を描画する」がONになっているか確認してください。
- 床マスタの「大引」の設定を確認してください。OFFの場合は束が描画されません。
床仕上の属性変更ダイアログで「仕上」を選んで、「床仕上マスタ選択」から「大引」のON・OFFを確認できます。



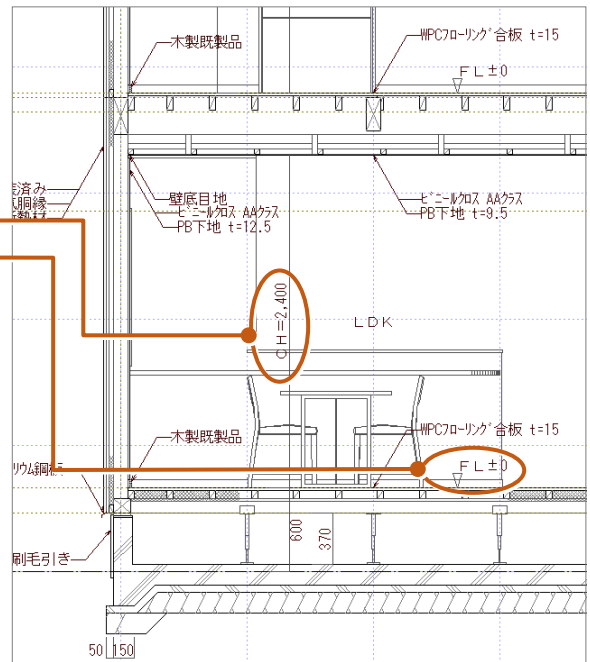
6-6 天井高や床の高さを確認しましょう

矩計図を自動作成したときに表示される天井高や FL は、平面図で入力している部屋の天井高、FL の値から連動します。

● 平面図 ●



● 矩計図 ●

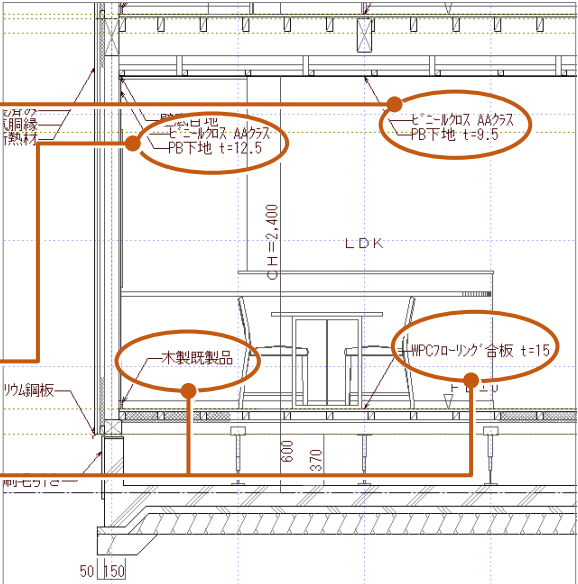
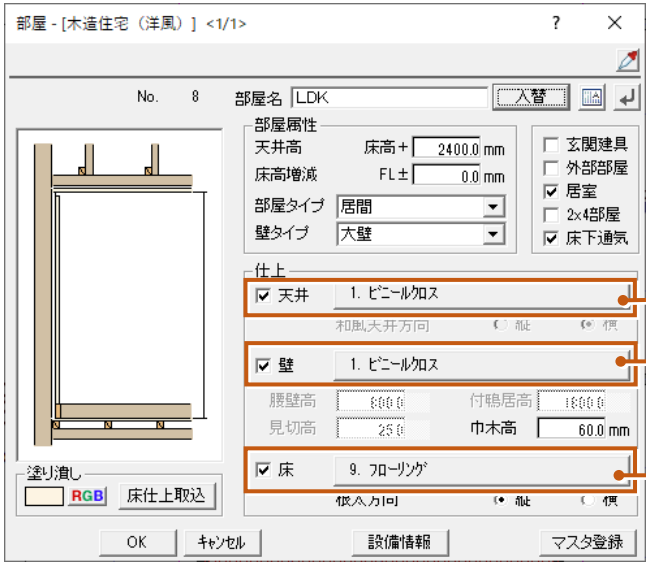


6-7 天井や内壁、床の仕上を確認しましょう

矩計図を自動作成したときに表示される内壁と床の仕上は、平面図で入力している仕上データから連動します。

● 平面図 ●

● 矩計図 ●



部屋属性変更ダイアログの各仕上をクリックすると、「内部天井仕上マスタ選択」「内壁仕上マスタ選択」「床仕上マスタ選択」が表示されます。表示されたマスタ選択から「マスタ編集」で「仕上」と「下地」の「名称・摘要」が確認でき、この内容が図面に表示されます。ここでは壁仕上を例に表示しています。

内壁仕上マスタ選択 <c:\wcap\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

No.	チェック	識別名	壁	腰壁	巾木	巻居	見切	タイプ	仕上	壁下地	見切	巾木	RC/CB-ALC 名称/厚み	C鋼壁	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	ビニル加工	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一般	ビニル加工 AAクラス	PB下地 t=12.5	12.5	木製(規格品)	—	0.0	—
2	<input type="checkbox"/>	ビニル加工(耐水)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一般	耐水ビニル加工 AAクラス	耐水PB下地 t=12.5	12.5	木製(規格品)	—	0.0	—
3	<input type="checkbox"/>	ビニル加工(巾木付)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一般	ビニル加工 AAクラス	PB下地 t=12.5	12.5	木製 タイル/石	—	0.0	—

マスタ編集

内壁マスタ

No.001 識別名: ビニル加工

壁: 長押 せい: 100.0 素材: 付巻居 せい: 40.0

タイプ: 一般

仕上厚: 0.0 mm 名称: ビニル加工 摘要: AAクラス

下地厚: 12.5 mm 名称: PB下地 摘要: t=12.5

腰壁: 見切: 目地: 素材:

巾木: 無地:

タイプ: 木製(規格品)

巾木: 名称: 木製既製品 摘要:

下地: 名称: 摘要:

下地付セット 設定 確定 権限名称取込

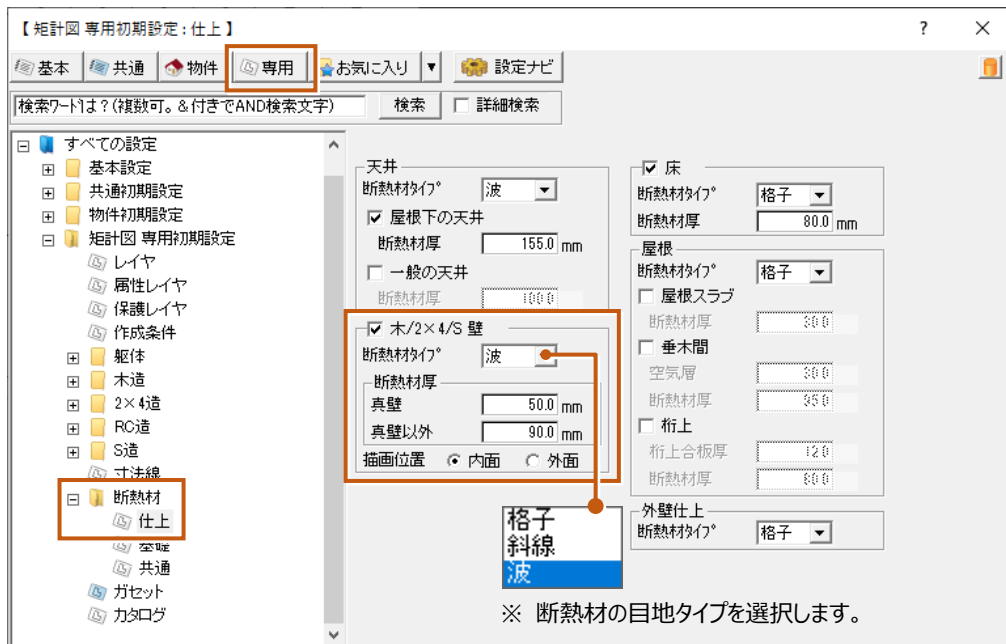
OK キャンセル 空気環境 種番情報

6-8 充填断熱の描画方法について確認しましょう

充填断熱：壁の描画について

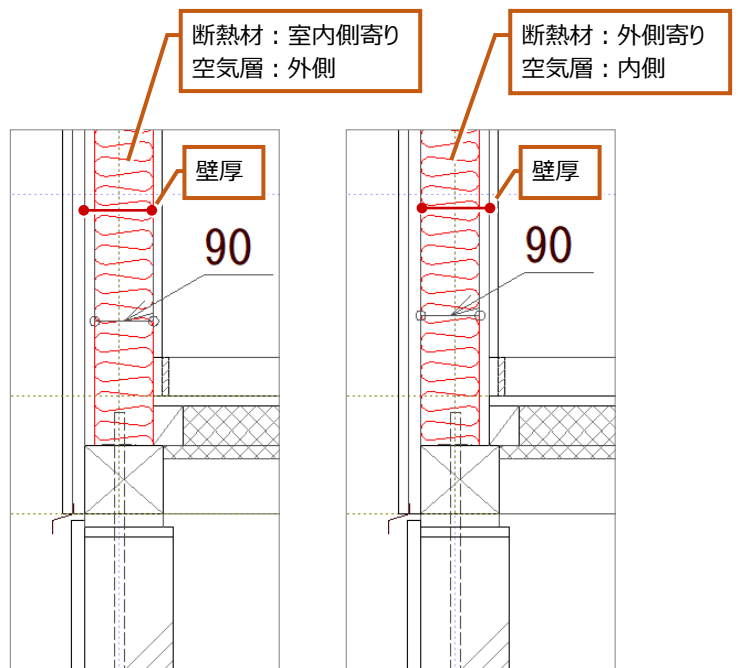
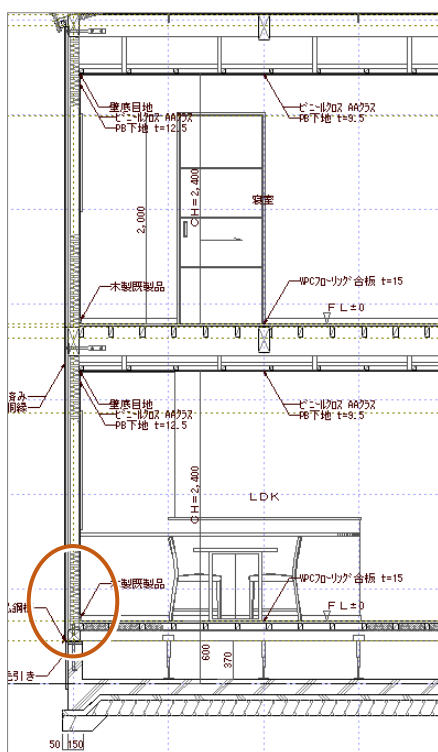
壁の充填断熱の描画は、「矩計図専用初期設定」の「断熱材-仕上」にある「木/2×4/S 壁」で設定します。「断熱材タイプ」で描画する目地のタイプや断熱材の厚さを設定して、矩計図を自動作成します。また、「描画位置」の「内面」「外面」については以下の図面でご確認ください。※ ここでは外壁仕上の外断熱の設定は OFF にして作成しています。

● 矩計図専用初期設定 ●



● 矩計図 ●

※ 断熱材の目地を全て描画するには、P.74 参照



【拡大図：断面材位置 内面】

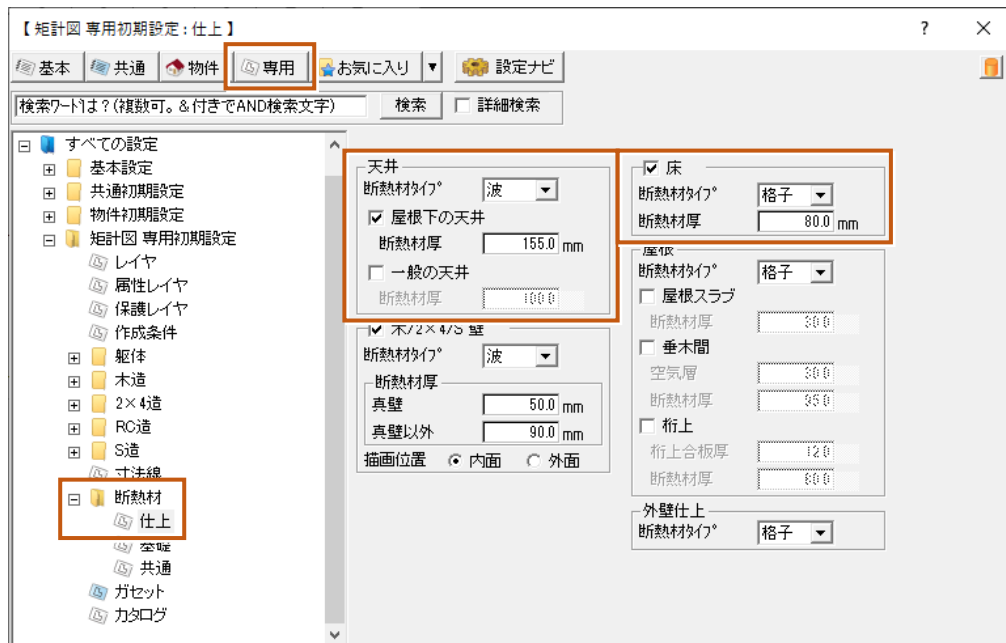
【拡大図：断面材位置 外面】

天井と床の断熱材の描画について

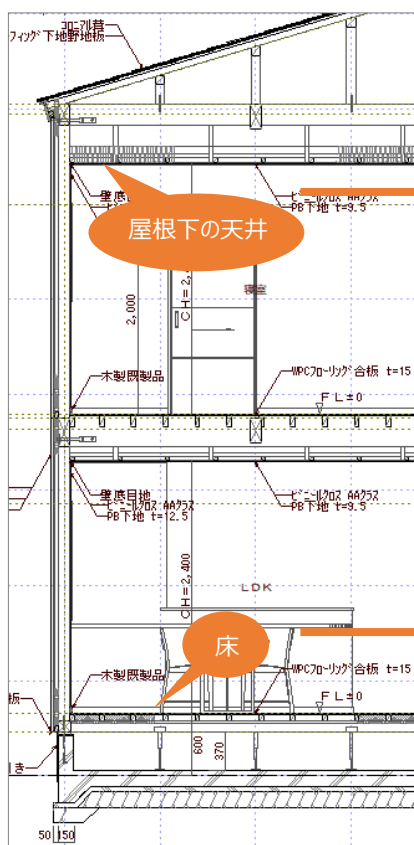
天井と床の断熱材の描画は、「矩計図専用初期設定」の「断熱材－仕上」にある「天井」と「床」で設定します。

作図する部位の項目を ON にし、断熱材の厚さを設定して矩計図を自動作成します。「断熱材タイプ」で描画する目地のタイプも設定できます。

● 矩計図専用初期設定 ●

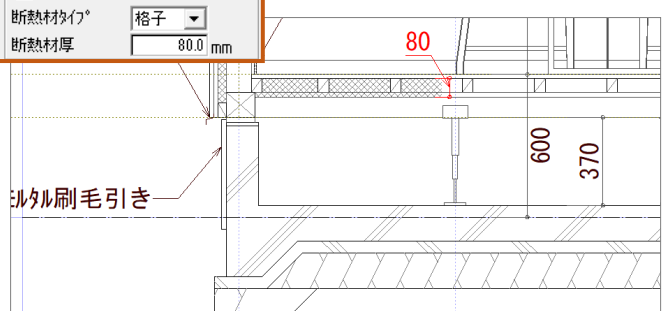
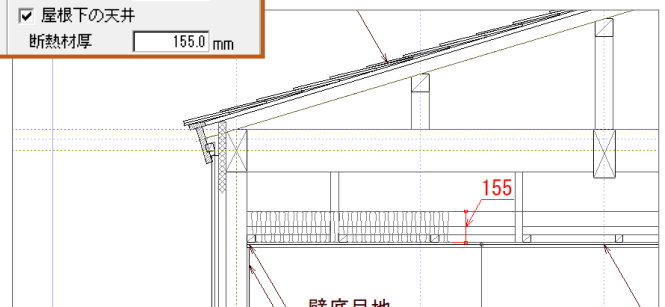
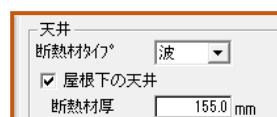


● 矩計図 ●



※ 断熱材の目地を全て描画するには、P.74 参照

● 屋根直下の天井に断熱材を描画します。



6-9 外断熱の描画方法について確認しましょう

外断熱：壁の描画について

矩計図で壁の外断熱を描画するには、平面図で入力した外壁仕上の外断熱が ON の場合に描画します。

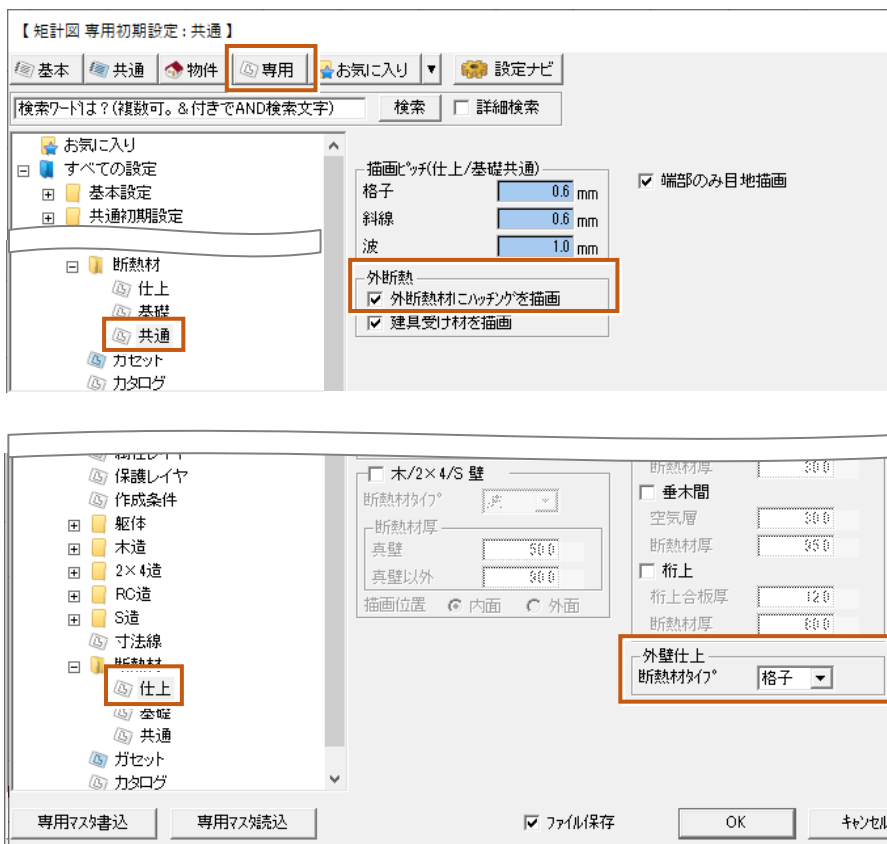
※ この操作については、矩計図を作図する前に「2-4 外断熱の厚さを設定しよう ⇒ P.23 参照」で設定を確認し、平面図で外壁仕上を作成してください。

※ 現在の入力が外断熱の設定になっているか確認する方法については、平面詳細図で解説していますのでご参照ください。

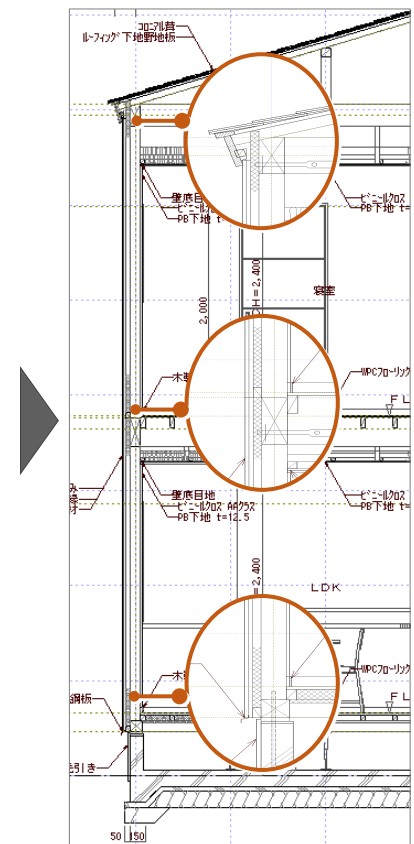
⇒ 5-7 外断熱の描画方法について確認しましょう 補足 P.50、P.51 参照

矩計図では、「矩計図専用初期設定」の「断熱材 - 共通」にある「外断熱」で「外断熱材にハッチングを描画」を ON にして、断熱材の目地は「矩計図専用初期設定」の「断熱材 - 仕上」にある「外壁仕上」の「断熱材タイプ」で設定します。

● 矩計図専用初期設定 ●

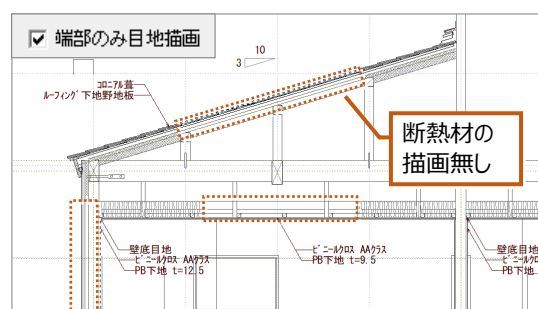
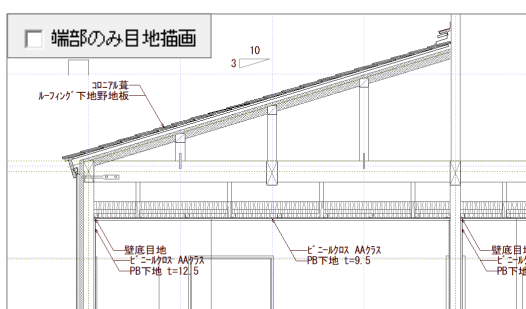


● 矩計図 ●



断熱材の目地を全て描画するには

「矩計図専用初期設定」の「断熱材 - 共通」で「端部のみ目地描画」を OFF にすると、屋根、天井、壁、床の断熱材の目地を全て描画します。ON にすると屋根、天井、壁、床の端部だけに断熱材を描画します。



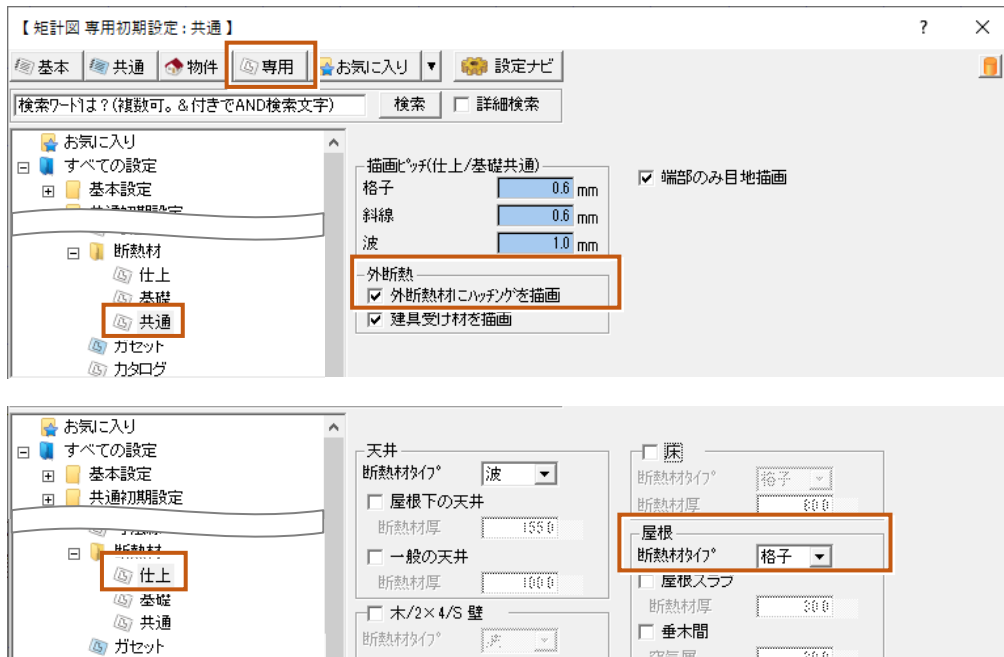
外断熱：屋根の描画について

矩計図で屋根の外断熱を描画するには、屋根伏図で入力した屋根の外断熱の設定が ON の場合に描画します。

※ この操作については、矩計図を作図する前に「2-4 外断熱の厚さを設定しよう ⇒ P.23 参照」で設定を確認し、屋根伏図で外断熱の設定をしてください。

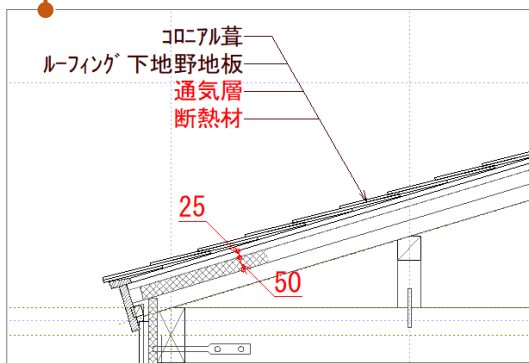
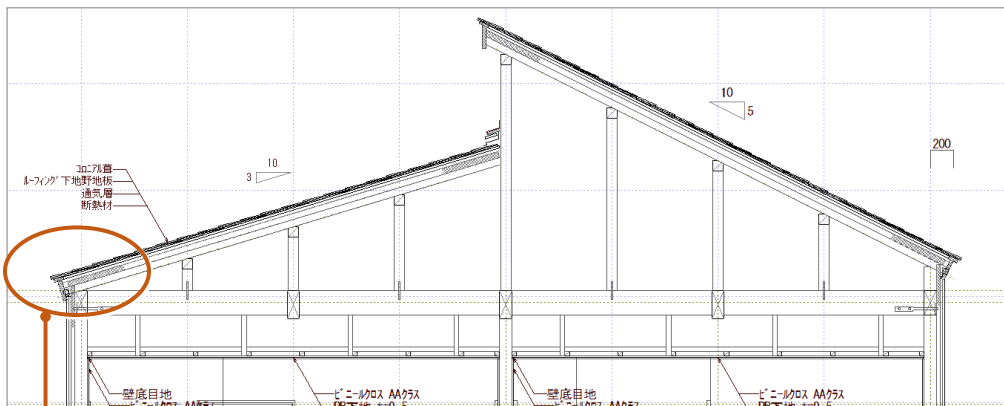
矩計図では、「矩計図専用初期設定」の「断熱材 - 共通」にある「外断熱」で「外断熱材にハッチングを描画」を ON にして、断熱材の目地は「矩計図専用初期設定」の「断熱材 - 仕上」にある「屋根」の「断熱材タイプ」で設定します。

● 矩計図専用初期設定 ●



● 矩計図 ●

※ 断熱材の目地を全て描画するには、P.74 参照



※ 通気層と断熱材の厚さや名称については、P.76 参照

充填断熱：屋根について

充填断熱の屋根を描画する場合は、「矩計図専用初期設定：断熱材 - 仕上」の「屋根」で設定します。

作図する部位の項目を ON にして各項目を設定します。

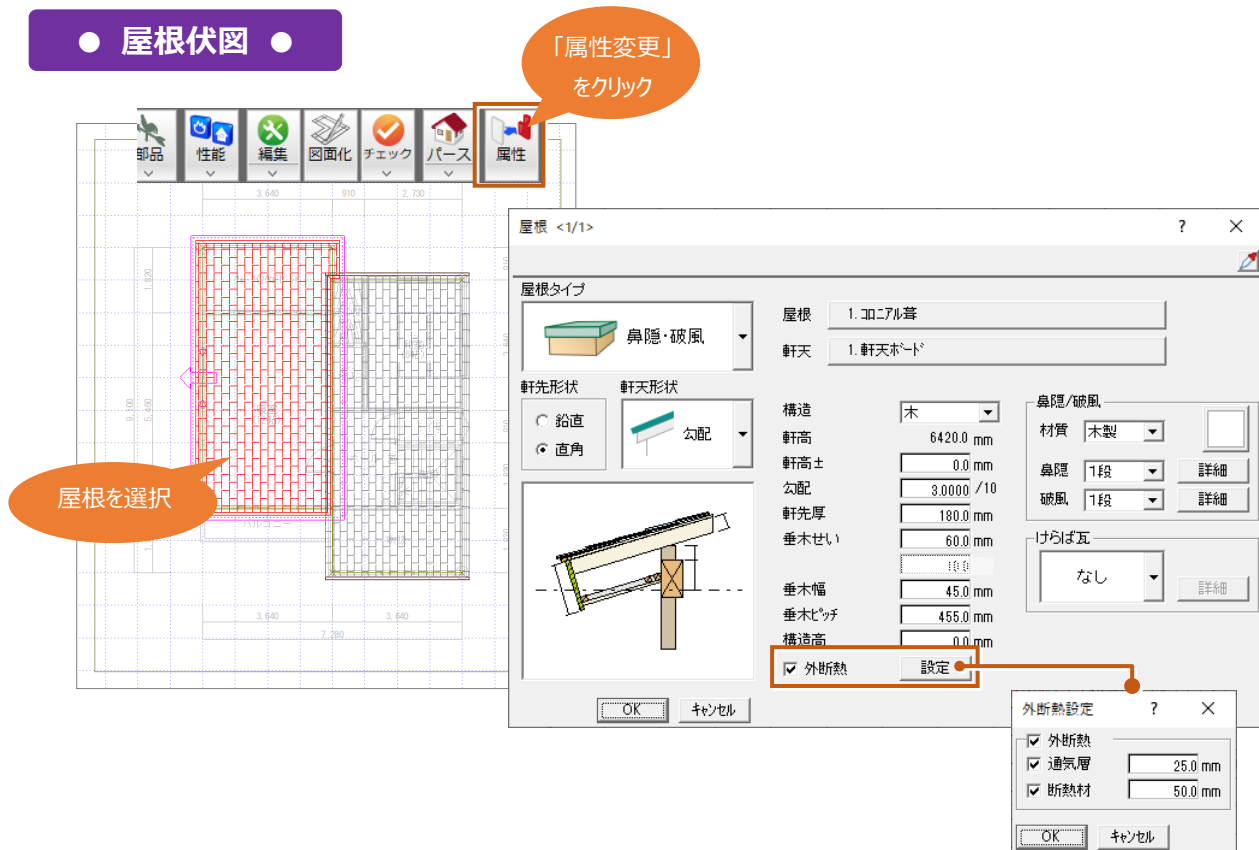
屋根	
断熱材タイプ	格子
<input checked="" type="checkbox"/> 屋根スラブ	
断熱材厚	30.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 垂木間	
空気層	30.0 mm
断熱材厚	95.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 桁上	
桁上合板厚	12.0 mm
断熱材厚	80.0 mm

補足

屋根が外断熱の設定になっているか確認する方法について

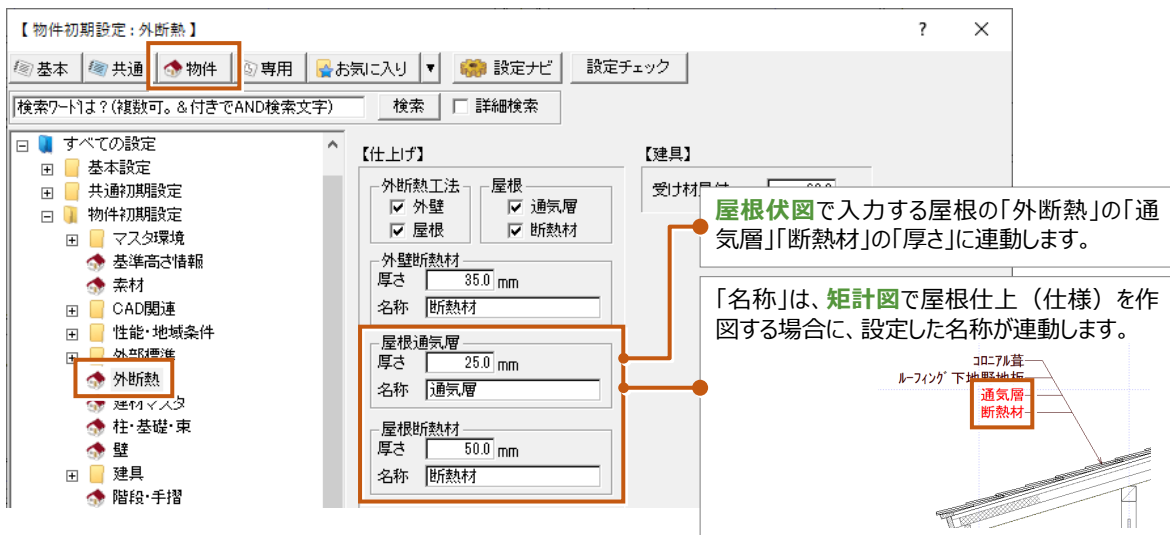
屋根の属性変更ダイアログを表示して、外断熱の設定になっているか確認します。

「2-4 外断熱の厚さを設定しよう ⇒ P.23 参照」で設定を確認し、で事前に外断熱を設定して屋根伏図で屋根を自動作成した場合は、屋根の属性変更ダイアログを表示すると「外断熱」がONになります。「通気層」や「断熱材」の「厚さ」は「物件初期設定」の「外断熱」で設定した値がセットされます。屋根を個別に入力した場合も属性変更ダイアログで「外断熱」をONにすると「物件初期設定」の「外断熱」で設定した値がセットされます。



屋根の通気層と断熱材の厚さと名称について

屋根を自動作成したときにセットされる通気層と断熱材の「厚さ」は、「物件初期設定：外断熱」の「厚さ」で設定した値が連動します。名称についても同様です。

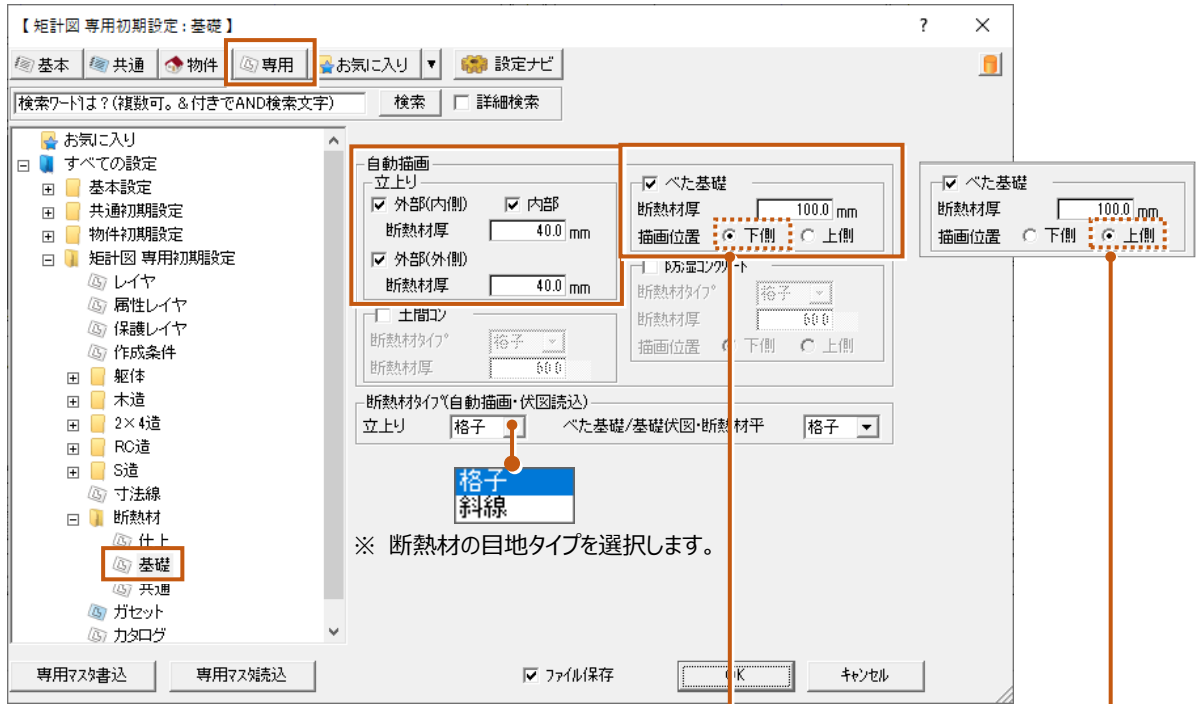


基礎の断熱の描画について（自動描画）

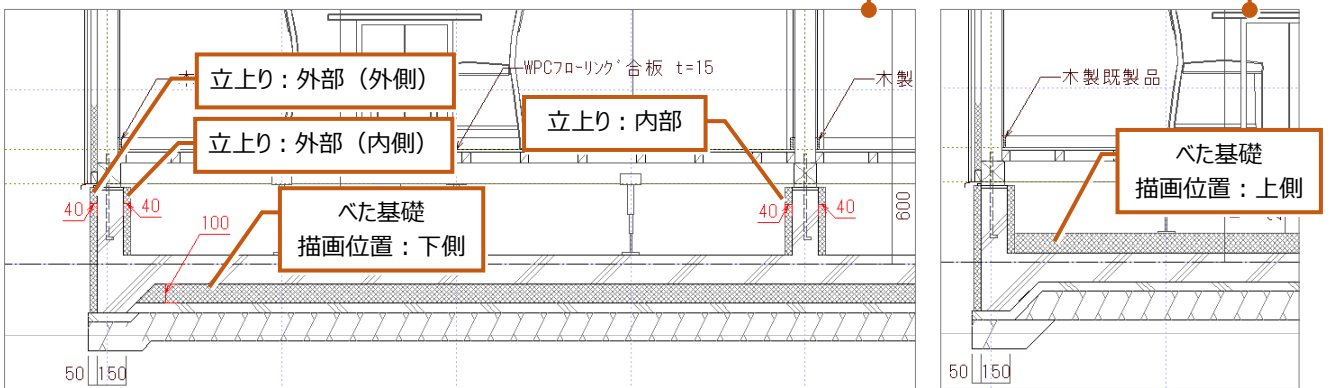
ここでは、伏図データは使用しないで基本図面から矩計図を作成する方法で解説します。

躯体の描画方法が「自動描画」のときの断熱材の描画は、「矩計図専用初期設定」の「断熱材－基礎」で設定します。作図する部位の項目を ON にし、「断熱材厚」を設定して矩計図を自動作成します。「断熱材タイプ（自動描画・伏図読込）」で描画する目地のタイプも設定できます。ここではべた基礎の断熱材の描画を例に作図しています。

● 矩計図専用初期設定 ●



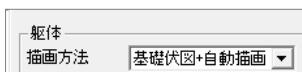
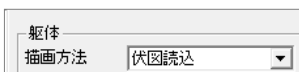
● 矩計図 ●



描画方法が「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」の基礎断熱について

躯体の描画方法を「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」にした場合、基礎断熱の連動元は基礎伏図になります。断熱材に変更があった場合は連動元となる基礎伏図で入力をご確認ください。その後、矩計図を再作成してください。

断熱材の目地タイプは、「矩計図専用初期設定：断熱材－基礎」の「断熱材タイプ（自動描画・伏図読込）」で設定します。



基礎伏図で入力している断熱材を読み込んで描画

6-10 自社用マスタの登録方法を確認しましょう

ZEROでは、プログラムごとに「専用初期設定」があります。設定を変更し自社用マスタとして登録可能ですが、その手順は各プログラムの「専用初期設定」で同じです。手順などは、以下の参照先にてご確認ください。

また、「物件初期設定」についても変更した設定内容を自社用マスタとして物件マスタ登録する場合は、以下の参照先にてご確認ください。

自社の図面専用のマスタとして登録する

専用マスタの登録手順については、「立面図」の P.44 を参照してください。

自社のマスタとして物件マスタ登録する

物件マスタの登録手順については、「立面図」の P.43 を参照してください。

マスタ作成に関する詳しい操作はこちらでチェック！



自社マスタ作成編 「自社の物件マスタ、専用マスタの作成」 P.16～P.22参照

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/manual/81_master.html

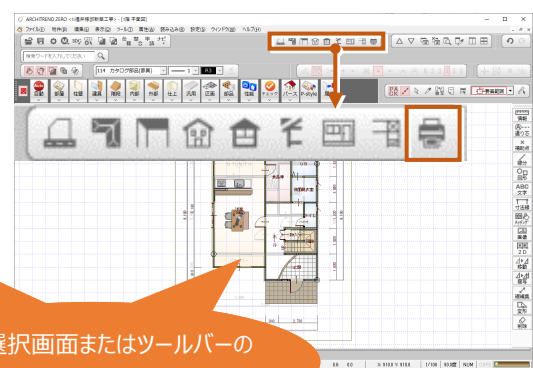
7

オリジナルの図枠を作成しよう

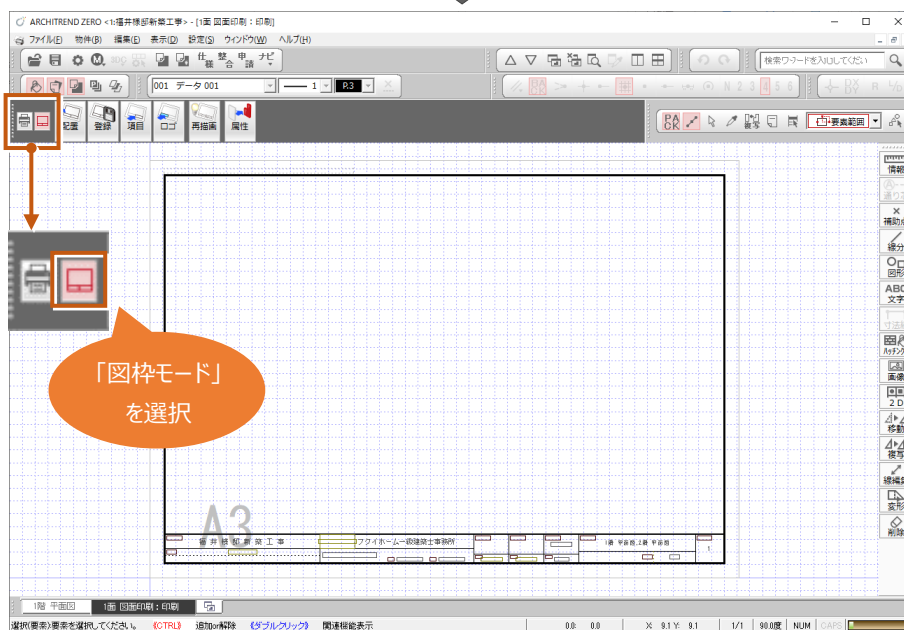
図面印刷時に使用する図枠に会社名やロゴ、住所など自社用の情報を付加して登録する方法をご紹介します。

7-1 図枠作成モードに切り替える

図枠の編集は「図面印刷」にて行います。図面印刷には、**図面のレイアウト等を行う「出カモード」と図枠の編集を行う「図枠モード」**があります。まずは、「図枠モード」で図面印刷を開きましょう。



処理選択画面またはツールバーの「図面印刷」ボタンから起動



7-2 図枠の用紙サイズを設定しよう

用紙サイズとベースとなる図枠のデザインを選択します。

① 「図枠配置」を選択します。



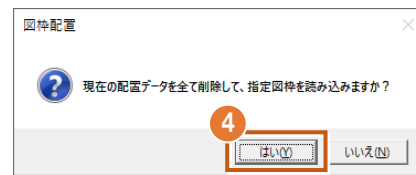
② グループからサイズを選択します。ここでは「A3 サイズ」を選択します。

③ 「1.FCA-A3 サイズ」のAタイプをダブルクリックで選択します。

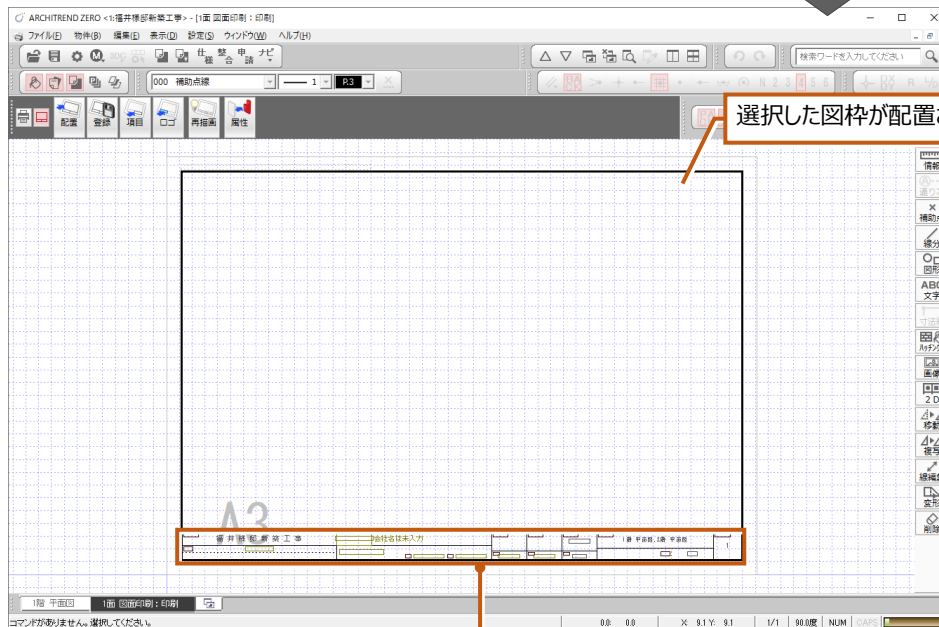


④ 「はい」をクリックします。

配置した図枠には図枠項目が配置されています。



選択した図枠が配置されます。



工事名	福井 様 邸 新 築 工 事	会社ロゴ未登録	会社名は未入力
備考	フリーは未入力	会社住所1は未入力	TEL 会社TELは未入力 FAX 会社FAXは未入力

管理者	設計者	担当者	図面名	1面 図面印刷	図面 No.	1
日付	フリーは未入力	日付	フリーは未入力	縮尺	縮尺は未入力	

7-3 図枠項目を設定する

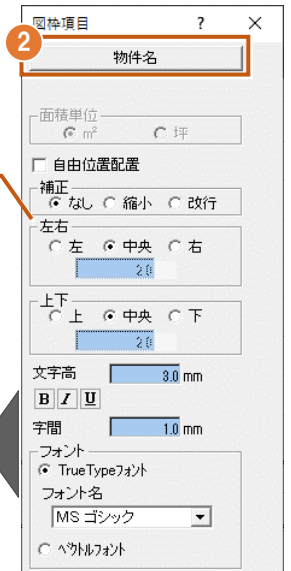
図枠項目とは、物件情報などのデータから連動する項目です。既存の図枠にはあらかじめ設定されていますが、「図枠項目」で変更することも可能です。自社の図枠に項目を設定しておくことで、都度、物件名や会社情報などを手入力する手間を省力化できます。ここでは項目の設定方法と連動元について解説します。

図枠項目の設定方法

1 「図枠項目」を選択します。



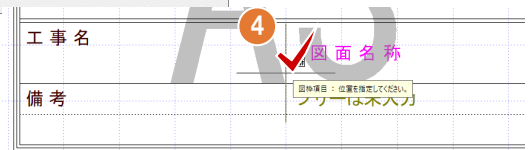
2 項目名をクリックします。



3 「図枠分類選択」から配置したい項目を選択します。



4 項目の配置位置をクリックします。

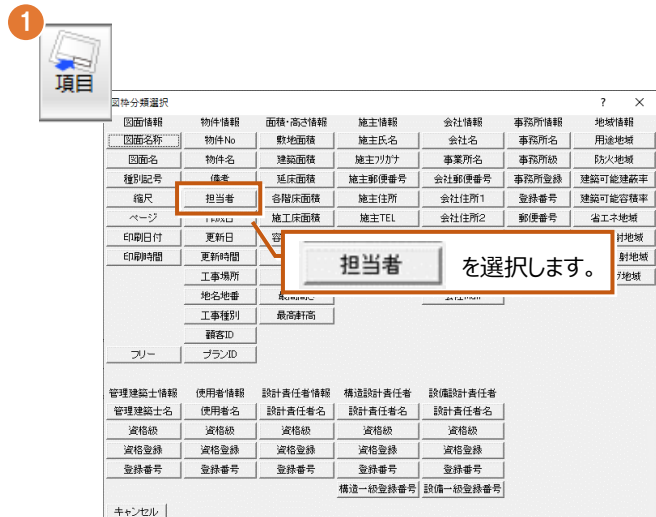


※ここで使用している図枠は「図面名称」を配置済みです。

担当者を設定する

「物件情報」の「担当者名」と連動し、担当者名を設定することができます。ここでは担当者欄が空欄のため、図枠項目の「担当者」を配置してみましょう。

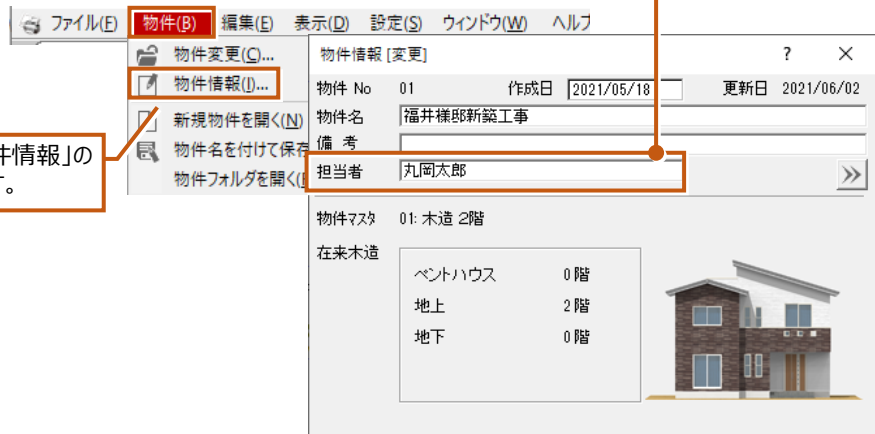
1 「図枠項目」から「担当者」を選択します。



- 2 図枠の配置位置をクリックします。ここでは「担当者」欄に配置します。
- 3 モードを「出力モード」に切り替えると担当者名の反映が確認できます。



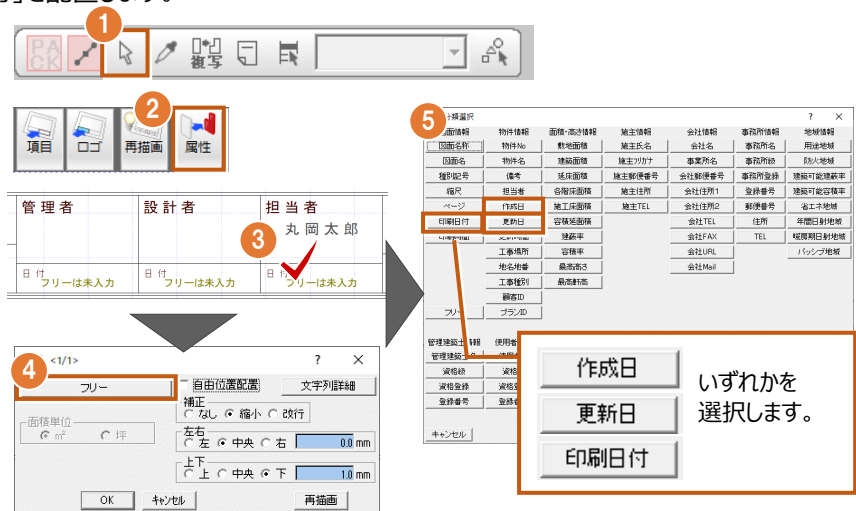
「物件」メニューの「物件情報」の「担当者」が連動します。



日付を設定する

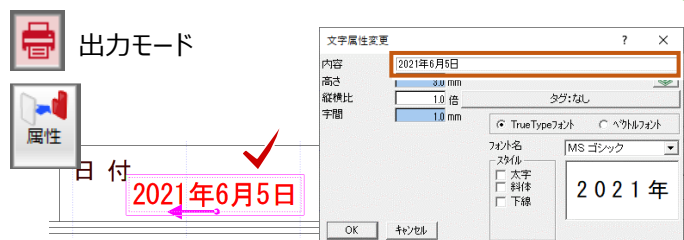
日付は「作成日」、「更新日」、「印刷日付」の3つの項目があります。それぞれデータの作成日、データの更新日、印刷の実施日が入力されます。出力モードに切り替えると日付が反映されたことが確認できます。ここでは、配置済みの図枠項目「フリー」を「日付」を配置します。

- 1 「対象データ選択」をクリックします。
- 2 「属性変更」を選択します。
- 3 配置済みの図枠項目をクリックします。
- 4 図枠項目名を選択します。
- 5 項目一覧から配置する項目を選択します。



図枠項目「フリー」について

図枠項目「フリー」は出力モードに切り替え、「属性変更」で任意の文字列を入力することができます。作成日、更新日、印刷日以外の日付を入力したい場合に使用します。日付以外でも特定の文字列を入力したい場合にも使用できます。



作成日 を配置した場合

「物件」メニューの「物件情報」の「作成日」を表示します。新規に物件を作成した日付となります。

The '図枠項目' dialog shows '作成日' selected in the '日付タイプ' (Date Type) dropdown. A callout box states: 「描画する日付タイプを選択できます。」 (You can select the date type to be drawn).

The '物件情報 [変更]' dialog shows '作成日' (Creation Date) set to 2021/05/18. A callout box states: 「物件情報の「作成日」が連動します。」 (The 'Creation Date' in the object information is linked).

The '図枠モード' (Figure Frame Mode) drawing shows a table with columns for '管理者' (Manager), '設計者' (Designer), and '担当者' (Responsible Person). The '作成日' (Creation Date) is displayed in the bottom right corner.

The '出力モード' (Output Mode) drawing shows the same table, but the '作成日' is now '2021/05/18'.

更新日 を配置した場合

「物件」メニューの「物件情報」の「更新日」を表示します。その物件でいずれかの図面を最後に保存した日付となります。

The '図枠項目' dialog shows '更新日' selected in the '日付タイプ' (Date Type) dropdown. A callout box states: 「描画する日付タイプを選択できます。」 (You can select the date type to be drawn).

The '物件情報 [変更]' dialog shows '更新日' (Update Date) set to 2021/06/16. A callout box states: 「物件情報の「更新日」が連動します。」 (The 'Update Date' in the object information is linked).

The '図枠モード' (Figure Frame Mode) drawing shows a table with columns for '管理者' (Manager), '設計者' (Designer), and '担当者' (Responsible Person). The '更新日' (Update Date) is displayed in the bottom right corner.

The '出力モード' (Output Mode) drawing shows the same table, but the '更新日' is now '2021/06/16'.

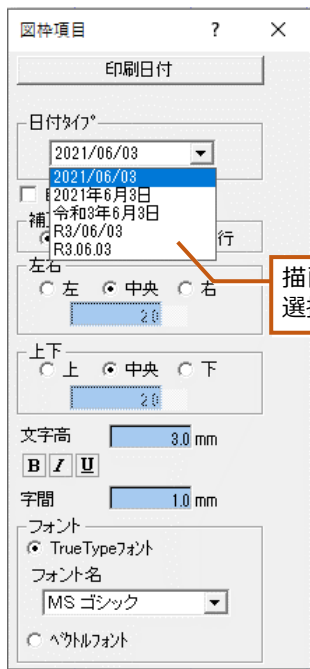
更新日の自動更新について

「図面印刷専用初期設定」の「項目」にある「更新日」を自動更新が ON になっていることで物件情報の「更新日」の日付で、図枠項目の「更新日」を更新します。OFF の場合は、物件情報の「更新日」が更新されても、図枠項目の「更新日」は更新されません。「図枠項目再描画」を実行することで、更新されます。

The '図面印刷専用初期設定' dialog has the '項目' (Item) tab selected. The '更新日' (Update Date) checkbox is checked, indicating that the update date will be automatically updated.

印刷日付 を配置した場合

図面を開いたときに、今日の日付がセットされます



描画する日付タイプを選択できます。

図枠モード

管理者	設計者	担当者	図
		丸岡 太郎	
日付	日付	日付	
フリーは未入力	フリーは未入力	印刷日付(1)	

出力モード

管理者	設計者	担当者	図
		丸岡 太郎	
日付	日付	日付	
フリーは未入力	フリーは未入力	2021/06/03	

会社情報の項目を設定する

図枠に会社情報を設定します。ここで使用している図枠には既に会社名、会社ロゴ、住所、電話番号、FAX 番号の項目は配置済みのため、設定項目を確認しておきましょう。

会社ロゴ未登録	会社名は未入力	会社住所1は未入力	TEL 会社TELは未入力	FAX 会社FAXは未入力
---------	---------	-----------	---------------	---------------

図面情報	物件情報	面積・高さ情報	施主情報	会社情報	事務所情報	用途地域
図面名称	物件No	敷地面積	施主氏名	会社名	事務所名	防火地域
図面名	物件名	建築面積	施主フリガナ	事業所名	事務所級	防火地域
種別記号	備考	延床面積	施主郵便番号	会社郵便番号	事務所登録	建築可能容積率
縮尺	担当者	容積床面積	施主住所	会社住所1	登録番号	建築可能容積率
ページ	作成日	施工床面積	施主TEL	会社住所2	郵便番号	省工不地域
印刷日付	更新日	容積延面積		会社TEL	住所	年間日射地域
印刷時間	更新時間	建築率		会社FAX	TEL	暖房期日射地域
工事場所	容積率			会社URL		バツシブ地域
地名地番	最高高さ			会社Mail		
工事種別	最高軒高					
顧客ID						
フリー	プランID					
管理建築士情報	使用者情報	設計責任者情報	構造設計責任者	設備設計責任者		
管理建築士名	使用人名	設計責任者名	設計責任者名	設計責任者名		
資格登録	資格登録	資格登録	資格登録	資格登録		
資格登録	資格登録	資格登録	資格登録	資格登録		
登録番号	登録番号	登録番号	登録番号	登録番号		
			構造一級登録番号	設備一級登録番号		

会社ロゴは「図枠会社ロゴ項目」を使って配置します。

ロゴを配置する範囲をクリック

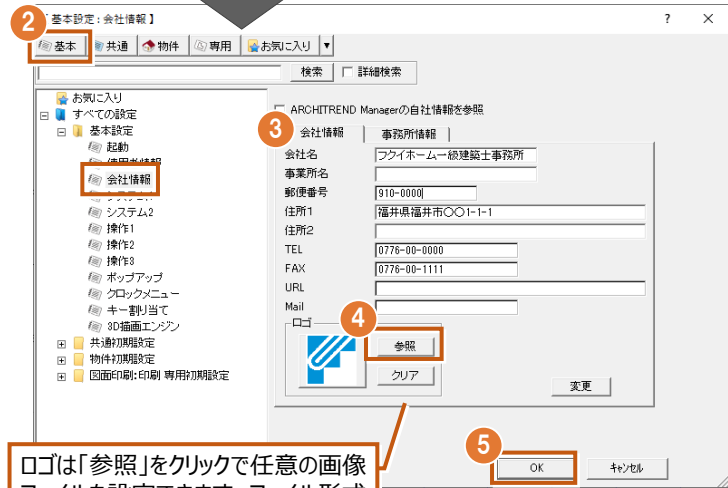
会社情報を登録する

会社名、会社ロゴ、住所、電話番号、FAX 番号の項目は「未入力」と表示されているため、連動元の設定が必要です。会社情報は「基本設定」の「会社情報」で設定します。

① 「設定」をクリックします。



② 「基本設定」の「会社情報」を選択します。



③ 会社名、事業所名、郵便番号、住所1、住所2、TEL、FAX、URL、Mailを設定します。

④ 会社ロゴを設定します。

「参照」をクリックし、画像ファイルの保存先から配置するロゴを選択します。

ロゴは「参照」をクリックで任意の画像ファイルを設定できます。ファイル形式は下記の通りです。

- ・ビットマップ形式 (*.bmp)
- ・JPEG 形式 (*.jpg *.jpeg)
- ・PNG 形式 (*.png)

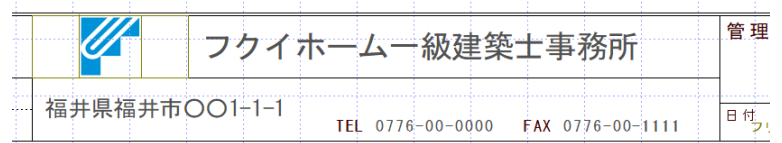
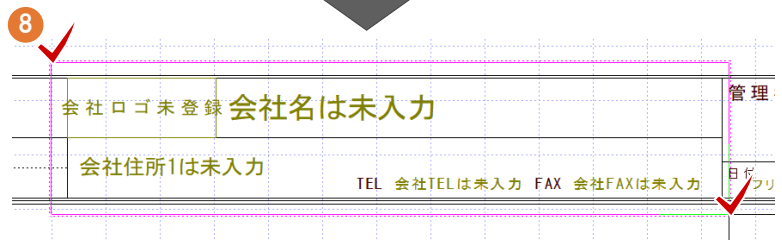
⑤ 「OK」をクリックします。

⑥ 「出力モード」に切り替えます。



⑦ 「再描画」メニューの「図枠項目再描画」を選択します。

⑧ 再描画する範囲をクリックで選択すると、図枠に会社情報が反映されます。



物件名の連動元を確認する

物件名には新規作成時に設定した、「物件名」が連動します。

物件情報 [変更]

物件 No 01 作成日 2021/05/18 更新日 2021/06/03

物件名 福井様邸新築工事

1階 考

担当者 丸岡太郎

物件マスタ 01: 木造 2階

在来木造

ベントハウス 0階

地上 2階

地下 0階

OK キャンセル

図枠分類選択

図面情報 物件情報 面積・高さ情報 施主情報 会社情報 事務所情報 地域情報

図面名 物件名 敷地面積 施主氏名 会社名 事務所名 用途地域

図面名 物件名 建築面積 施主フリガナ 事業所名 事務所級 防火地域

種別記号 備考 延床面積 施主郵便番号 会社郵便番号 事務所登録 建築可能建築率

縮尺 担当者 各階床面積 施主住所 登録番号 建築可能容積率

ページ 作成日 施工床面積 施主TEL 会社住所2 郵便番号 省工地域

印刷日付 更新日 容積率

印刷時間 更新時間 建築 年開日射地域

工事場 容積

地名地番 最高軒高

工事種別 最高軒高

顧客ID

フリー ブランド

管理建築士情報 使用者情報 設計責任者情報 構造設計責任者 設備設計責任者

管理建築士名 使用者名 設計責任者名 設計責任者名 設計責任者名

資格級 資格級 資格級 資格級 資格級

資格登録 資格登録 資格登録 資格登録 資格登録

登録番号 登録番号 登録番号 登録番号 登録番号

構造一級登録番号 設備一級登録番号

キャンセル

新たに図枠に配置する場合は物件名を選択します。

図面名の連動を確認する

図面名には配置した図面の名称が連動します。図面配置前は「面数 図面印刷」で表示されますが、図面配置後に配置した図面の名称が表示されます。

【図面配置前】

図面名 1面 図面印刷

図面 No. 1

縮尺 縮尺は未入力

新たに図枠に配置する場合は図面名称を選択します。

【図面配置後】

図面名 1階 平面図, 2階 平面図

図面 No. 1

縮尺 1/100

図枠分類選択

図面情報 物件情報 面積・高さ情報 施主情報 会社情報 事務所情報 地域情報

図面名 物件名 敷地面積 施主氏名 会社名 事務所名 用途地域

図面名 物件名 建築面積 施主フリガナ 事業所名 事務所級 防火地域

種別記号 備考 延床面積 施主郵便番号 会社郵便番号 事務所登録 建築可能建築率

縮尺 担当者 各階床面積 施主住所 登録番号 建築可能容積率

ページ 作成日 施工床面積 施主TEL 会社住所2 郵便番号 省工地域

印刷日付 更新日 容積率

印刷時間 更新時間 建築 年開日射地域

工事場 容積

地名地番 最高軒高

工事種別 最高軒高

顧客ID

フリー ブランド

管理建築士情報 使用者情報 設計責任者情報 構造設計責任者 設備設計責任者

管理建築士名 使用者名 設計責任者名 設計責任者名 設計責任者名

資格級 資格級 資格級 資格級 資格級

資格登録 資格登録 資格登録 資格登録 資格登録

登録番号 登録番号 登録番号 登録番号 登録番号

構造一級登録番号 設備一級登録番号

キャンセル

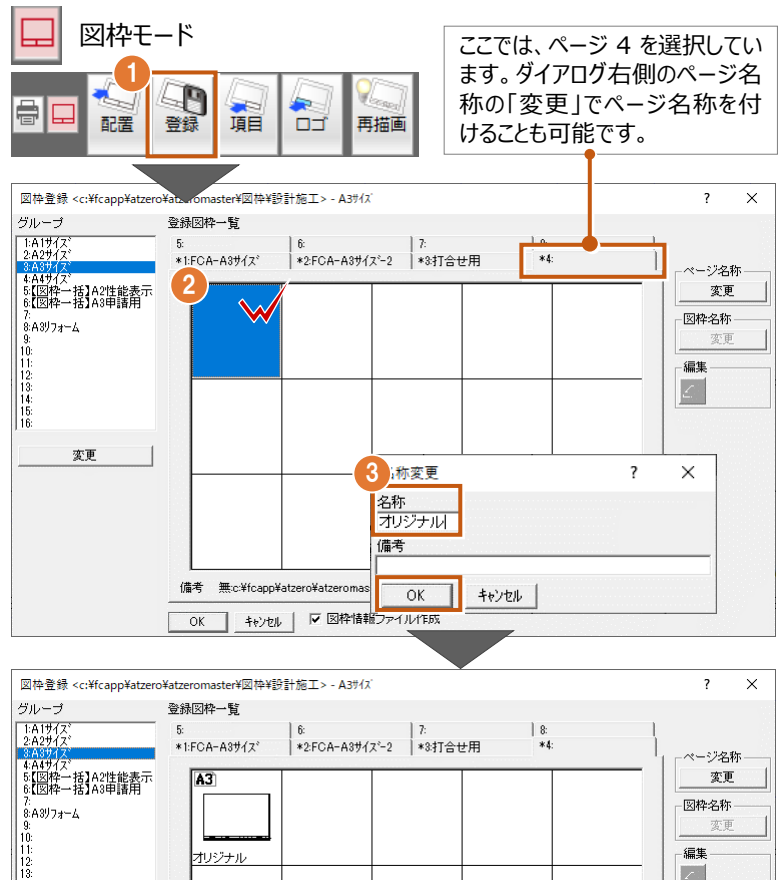
新たに図枠に配置する場合は図面名称を選択します。

7-4 自社用の図枠を保存しよう

図枠を保存する

図枠を編集した場合は、保存し次回以降の物件でも使用できるようにしましょう。図枠モードの「**図枠登録**」から図枠一覧に登録します。

- 1 「図枠モード」の「図枠登録」を選択します。
- 2 図枠の保存先をダブルクリックで選択します。
- 3 名称を入力し、「OK」をクリックします。



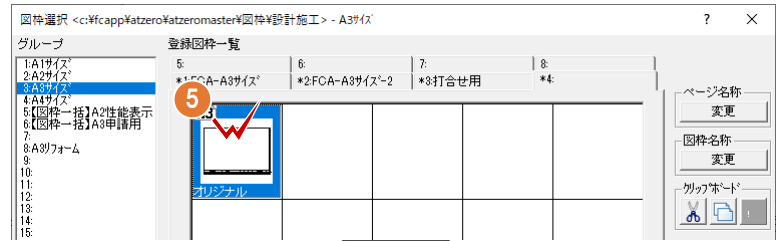
図枠を初期図枠に登録する

図面印刷を開いた時に自社用の図枠が配置されるように、初期図枠に設定しましょう。図枠配置の設定は「**図面印刷専用初期設定**」の「**図枠配置条件**」で行います。

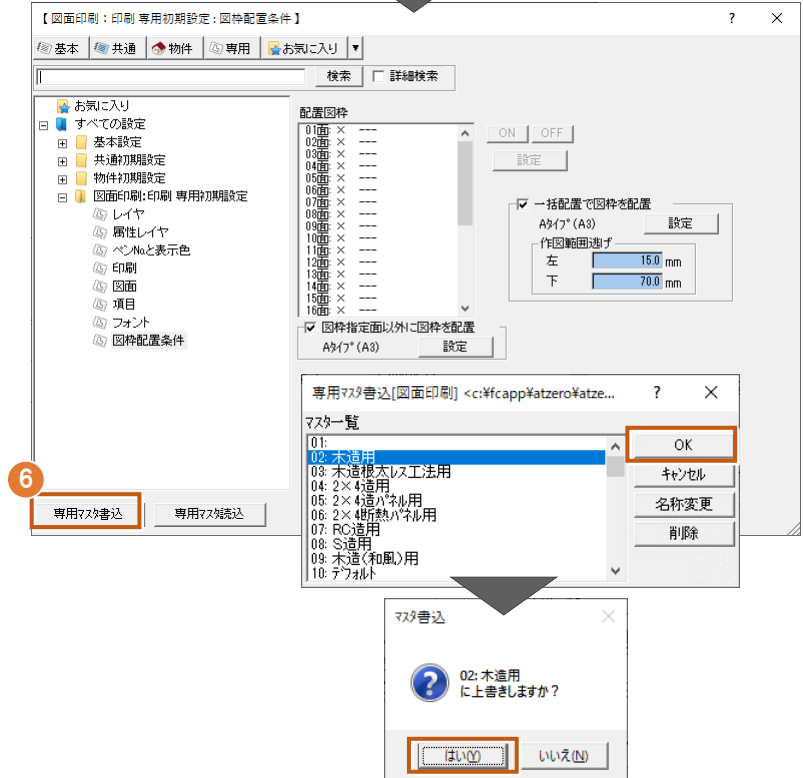
- 1 「設定」をクリックします。
- 2 「図面印刷専用初期設定」の「図枠配置条件」を選択します。
- 3 「配置図枠」がすべて「×」になっていることを確認します。
- 4 「図枠指定面以外に図枠を配置」を ON にして「設定」をクリックします。



5 保存した自社用の図枠をダブルクリックで選択します。



6 「専用マスタ書込」からマスタの上書き保存を行い、別物件でも同じ設定で使用できるようにします。



「図枠配置条件」の配置図枠について

配置図枠は図面印刷の面ごとに配置する図枠を指定することができます。配置する図面ごとに図枠が異なる場合に設定します。
⇒ヘルプ「専用初期設定：図枠配置条件」の「新規作成時に配置する図枠を変更するには」参照

図面印刷の方法はこちらでチェック！

👍 木造初級編 7.図面印刷 P.57~62

<https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver8/guide/uss/m-syokyu.html>

補足

白紙から自社用の図枠を作成する場合

白紙から図枠を作成することもできます。

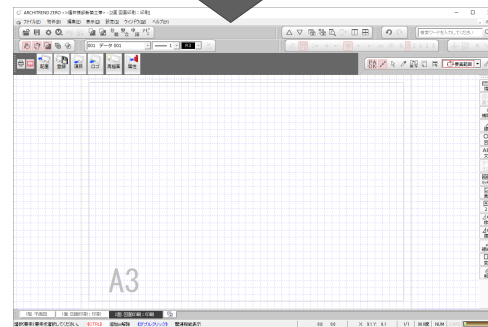
① 図枠モードの「図枠配置」を選択します。



② 「図枠無し」をダブルクリックで選択します。
図面が白紙になります。

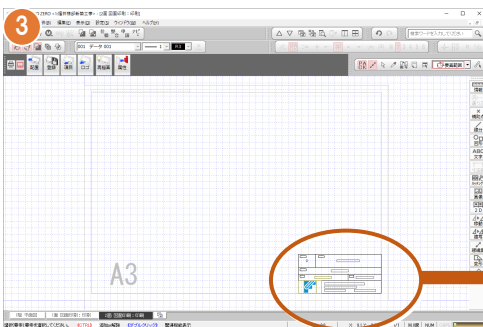


③ 汎用コマンドを使って、図枠を作成します。



図枠を作成後は、図枠登録を行いましょ

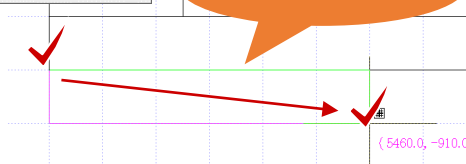
⇒P.89~P.90



枠線：汎用コマンド「図形」の「矩形」で入力

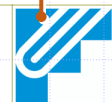


枠線の位置をクリック

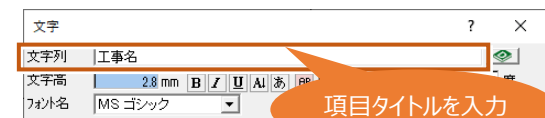


ロゴ：専用コマンド「図枠
会社ロゴ項目」で入力
⇒P.84 参照

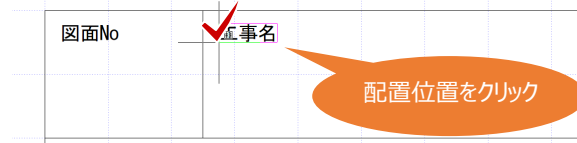
項目：専用コマンド「図枠
項目」で入力
⇒P.81 参照

図面No	1		
工事名	福井様邸新築工事		
図面名	2面 図面印刷		
縮尺	縮尺は未入力	日付	2021/06/16
	 フクイホーム一級建築士事務所 福井県福井市〇〇1-1-1 0776-00-0000 0776-00-1111		

項目タイトル：汎用コマンド「文字」の「文字」で入力



項目タイトルを入力

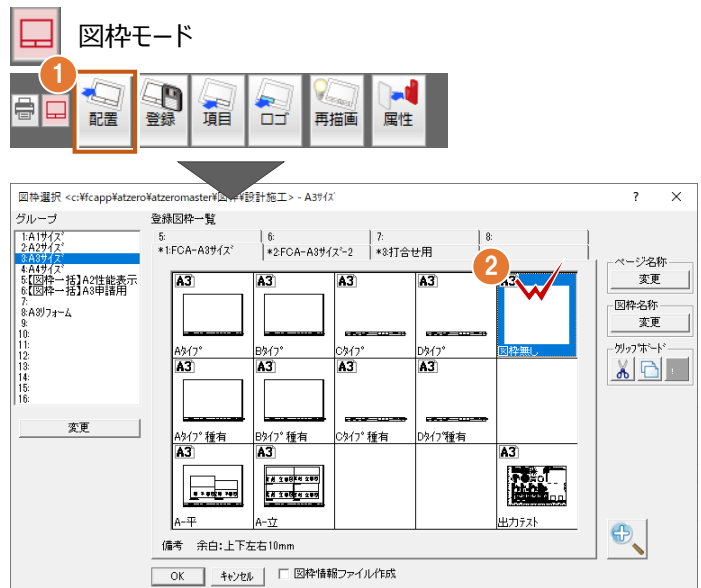


配置位置をクリック

Jw-cad で作成した図枠を登録する

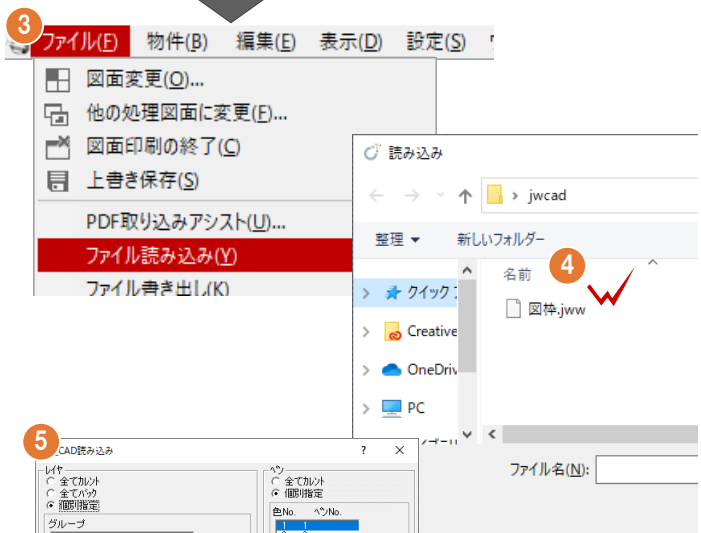
Jw-cad データの図枠がある場合は、ZERO に読み込んで使用することができます。

- 1 図枠モードの「図枠配置」を選択します。
- 2 「図枠無し」をダブルクリックで選択します。



- 3 「ファイル」メニューの「ファイル読み込み」を選択します。

- 4 読み込む Jww データを選択します。



- 5 「OK」をクリックします。

- 6 図枠の配置位置をクリックします。

図枠読み込み後は、物件情報と連動するように「図枠項目」を使い物件名や図面名を配置しましょう。

